

富士市の公共施設に関するアンケート

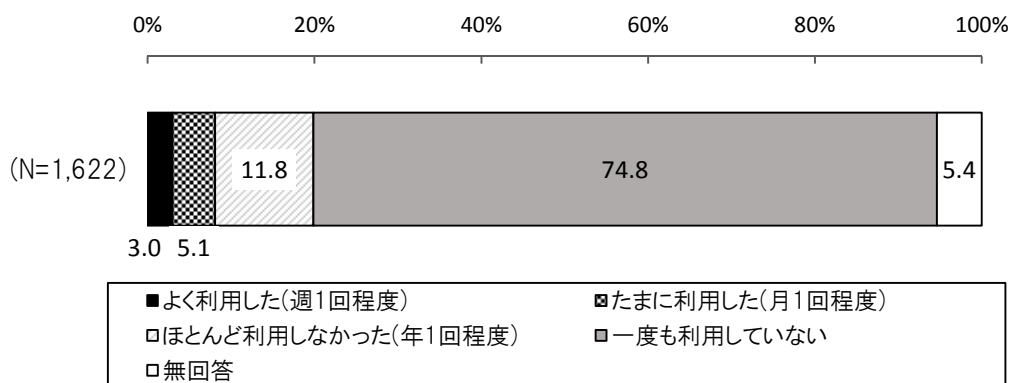
(1) 市の公共施設の利用状況について

問1 あなたは、最近1年間に市の公共施設をどのくらい利用しましたか。それぞれの施設についてお答えください。

問2 問1で「3 ほとんど利用しなかった」「4 一度も利用していない」と回答した施設について、その施設を利用しなかった理由として最もあてはまるものを1つだけ選んでください。

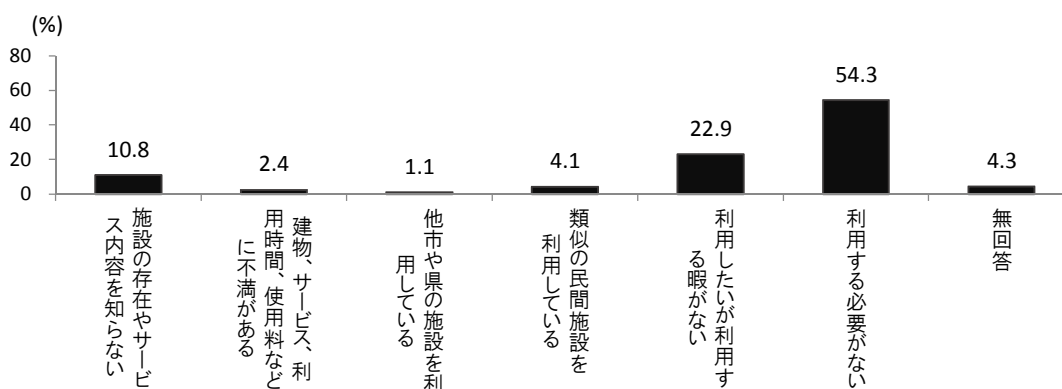
1) 市のスポーツ施設 体育館

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,404)

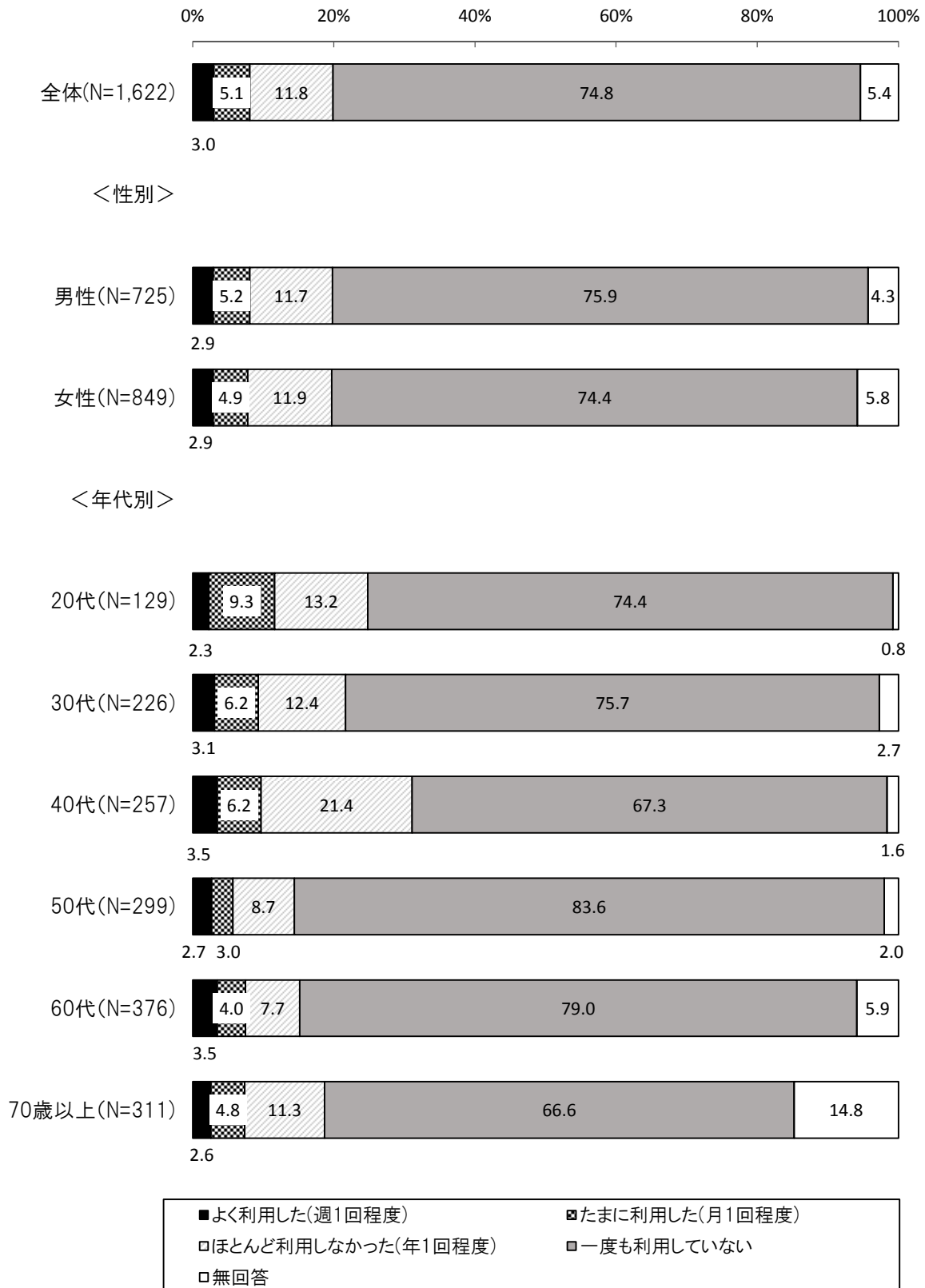


「市のスポーツ施設 体育館」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が3.0%、「たまに利用した」が5.1%となっている。男女間で利用状況に大きな差はみられない。年代別では、40代では「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」が21.4%と高めとなっている。

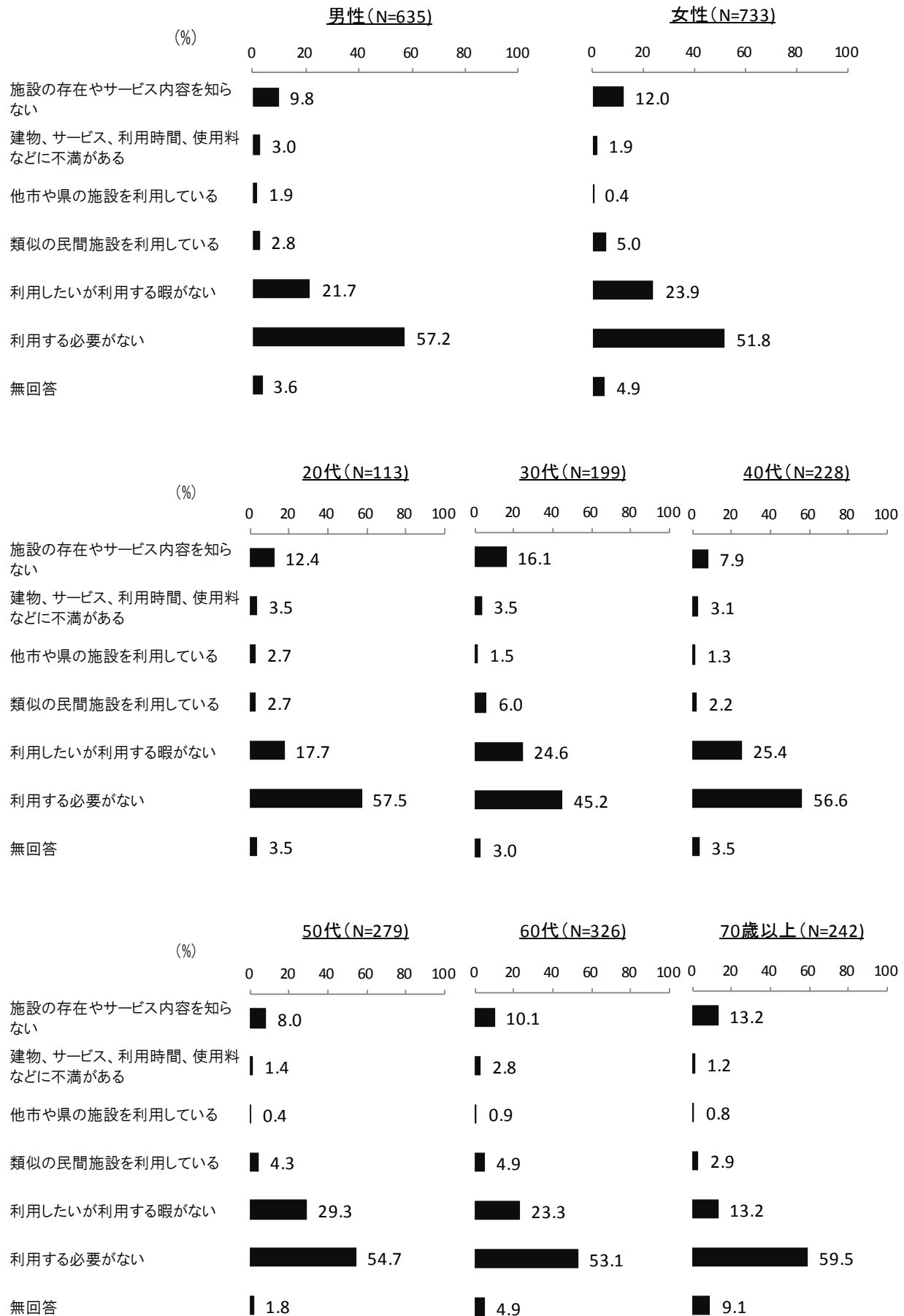
「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が54.3%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」22.9%、「施設の存在やサービス内容を知らない」10.8%と続く。

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

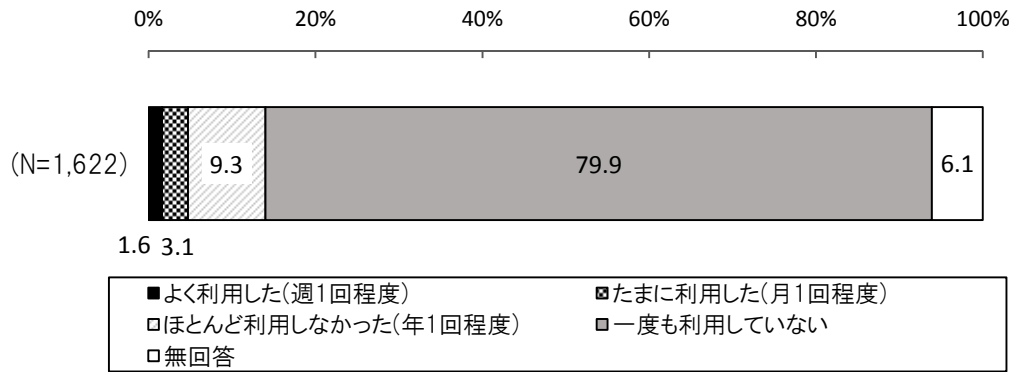


問2 利用しなかった理由



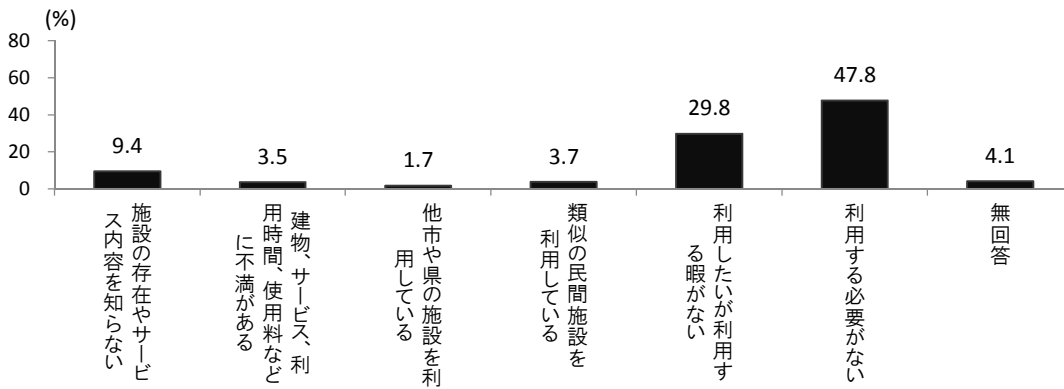
2) 市のスポーツ施設 温水プール

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,447)

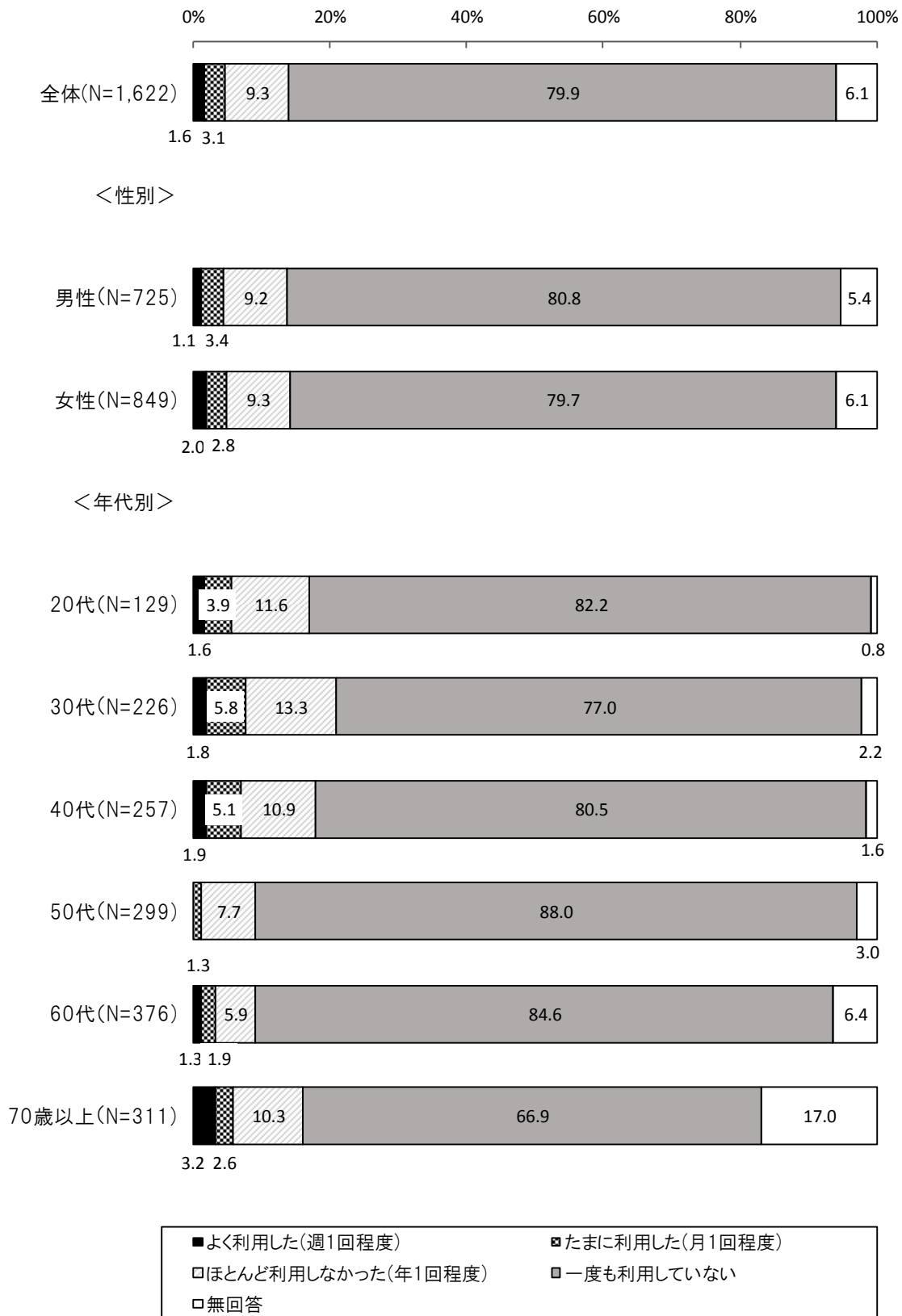


「市のスポーツ施設 温水プール」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が1.6%、「たまに利用した」が3.1%となっている。男女間、年代間では大きな差はみられない。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が47.8%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」29.8%、「施設の内容を知らない」9.4%と続く。

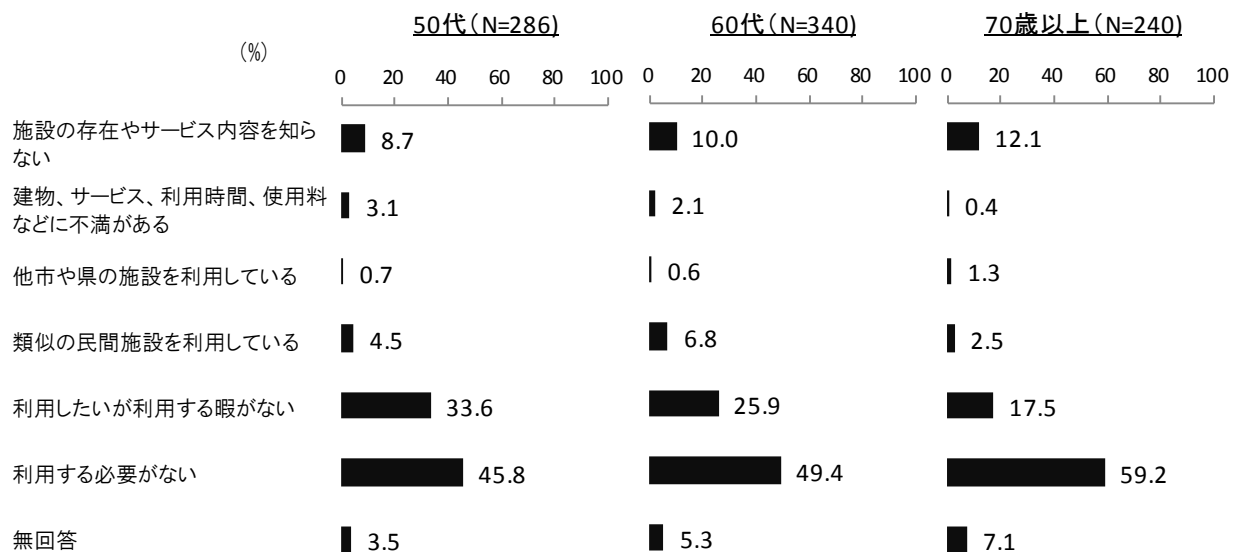
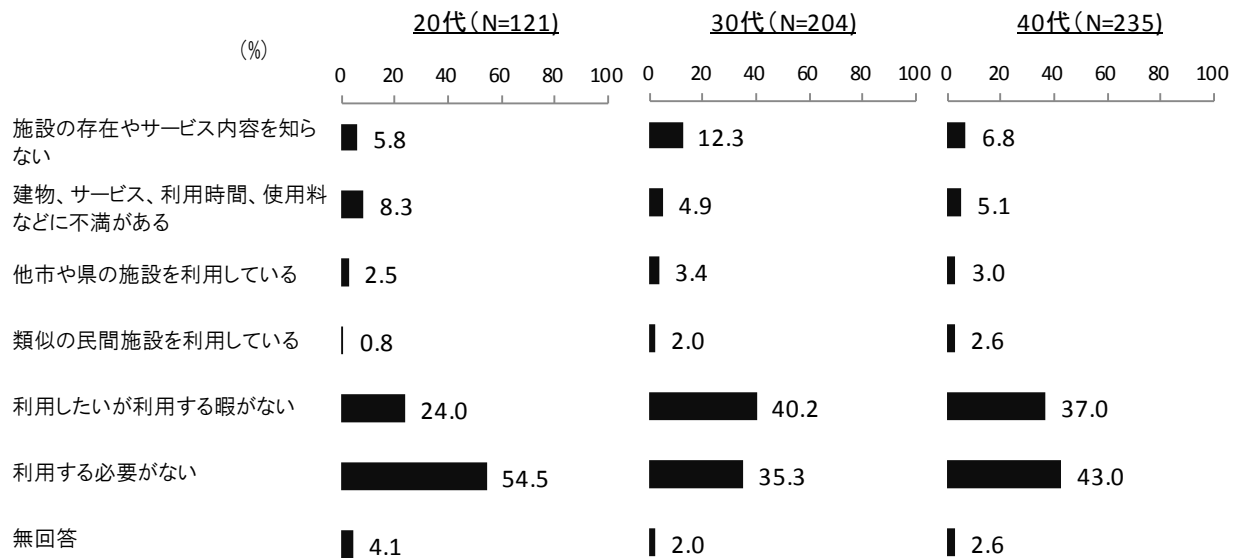
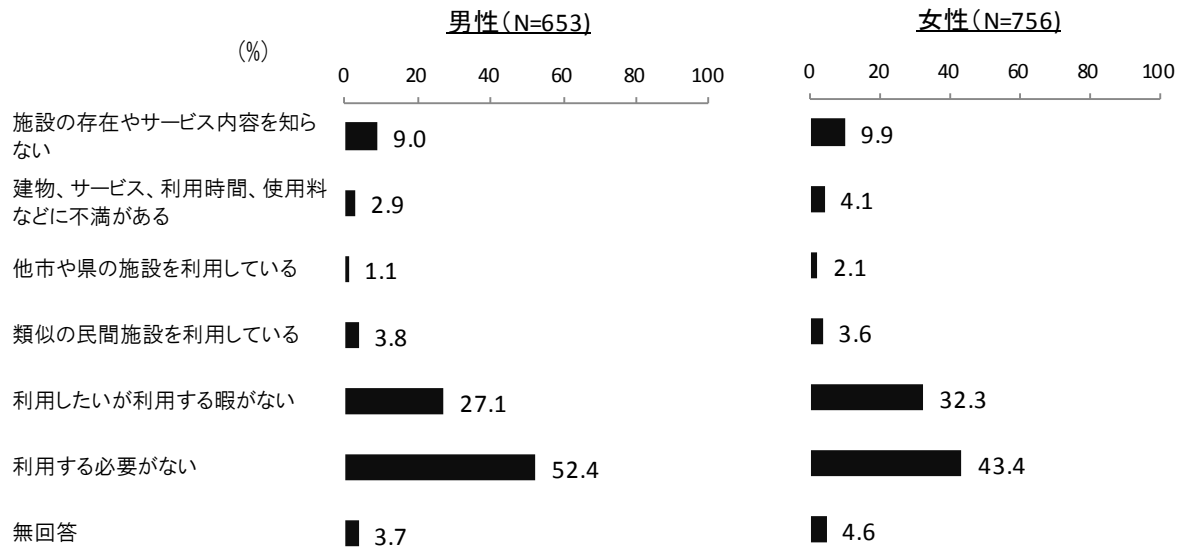
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



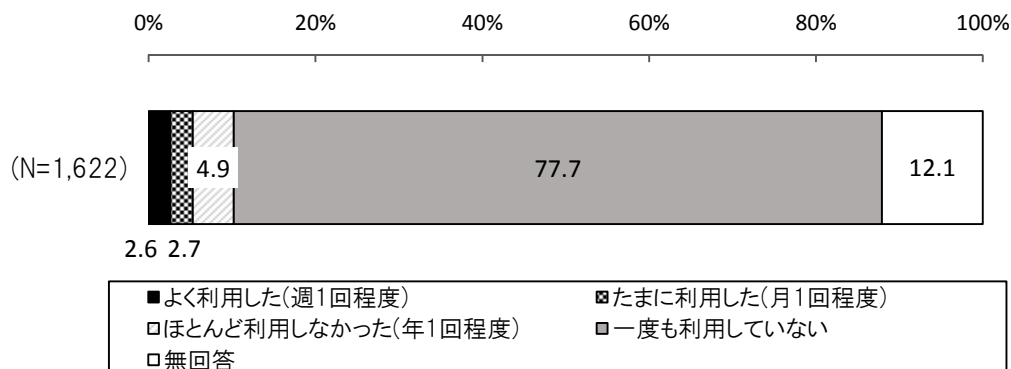
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



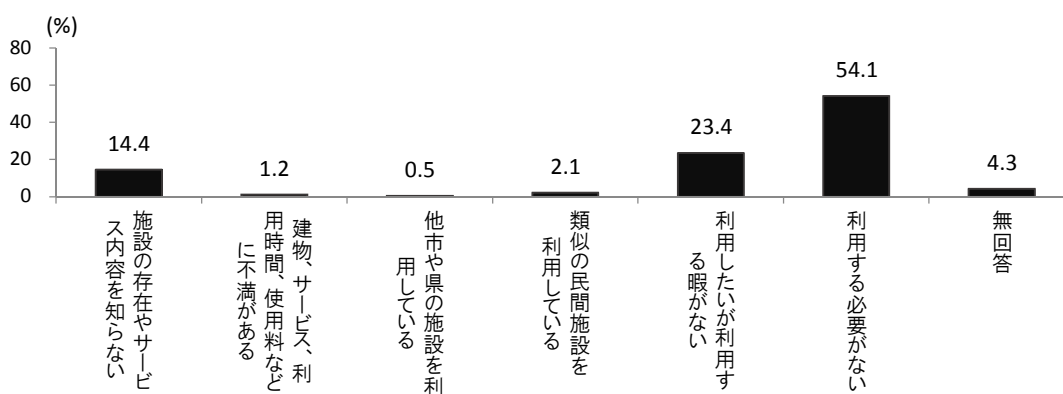
3) 市のスポーツ施設 その他

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,340)

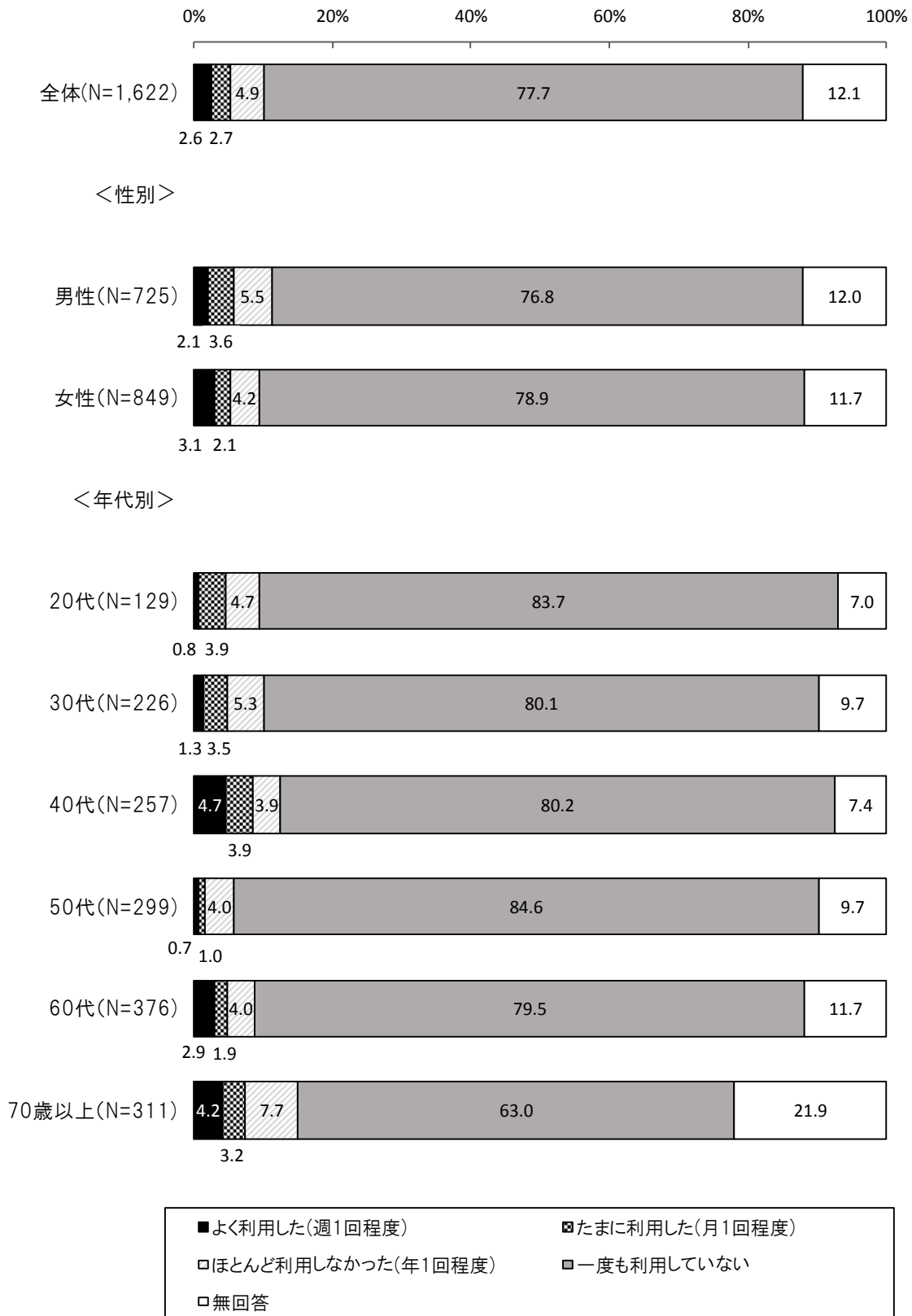


「市のスポーツ施設 その他」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が2.6%、「たまに利用した」が2.7%となっている。男女間、年代間では大きな差はみられない。

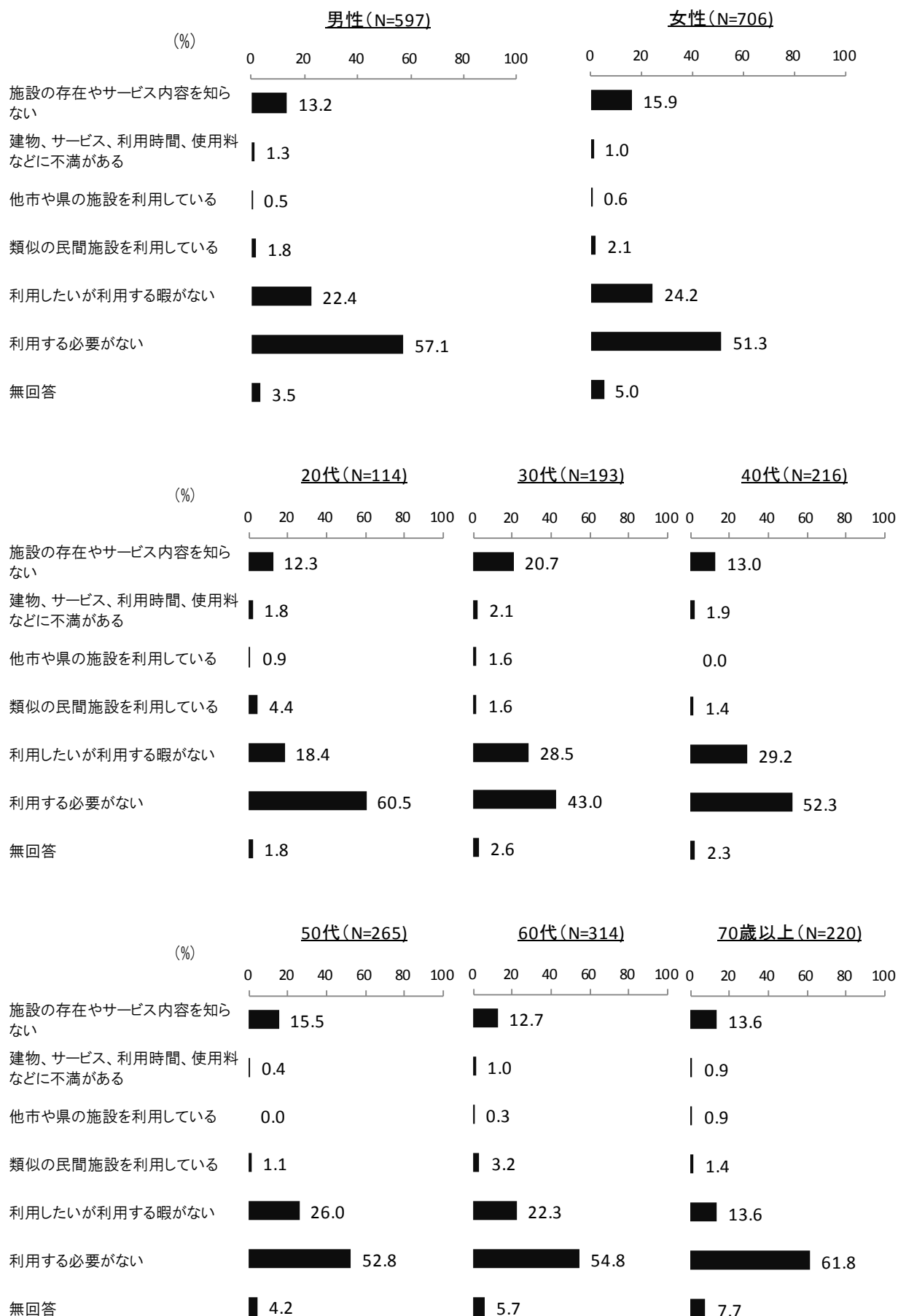
「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が54.1%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」23.4%、「施設の存在やサービス内容を知らない」14.4%と続く。

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

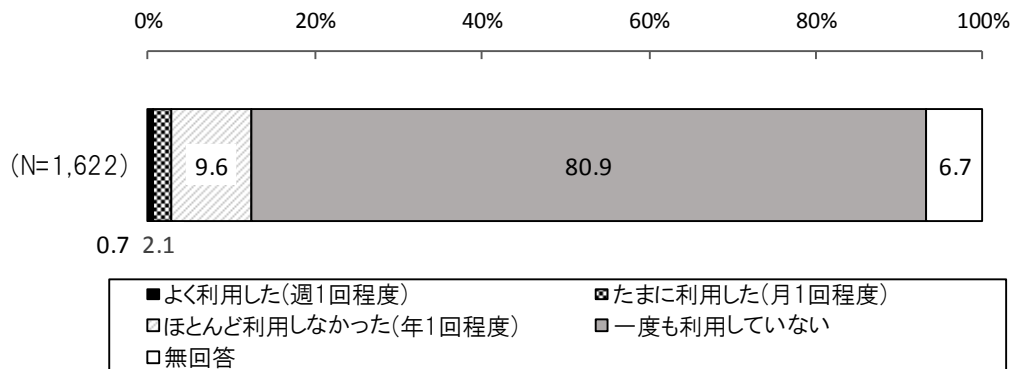


問2 利用しなかった理由



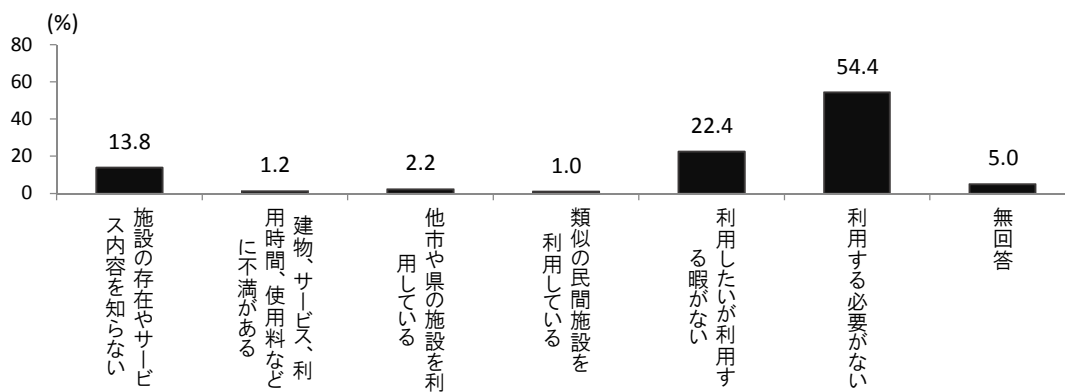
4) 市立博物館

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,468)

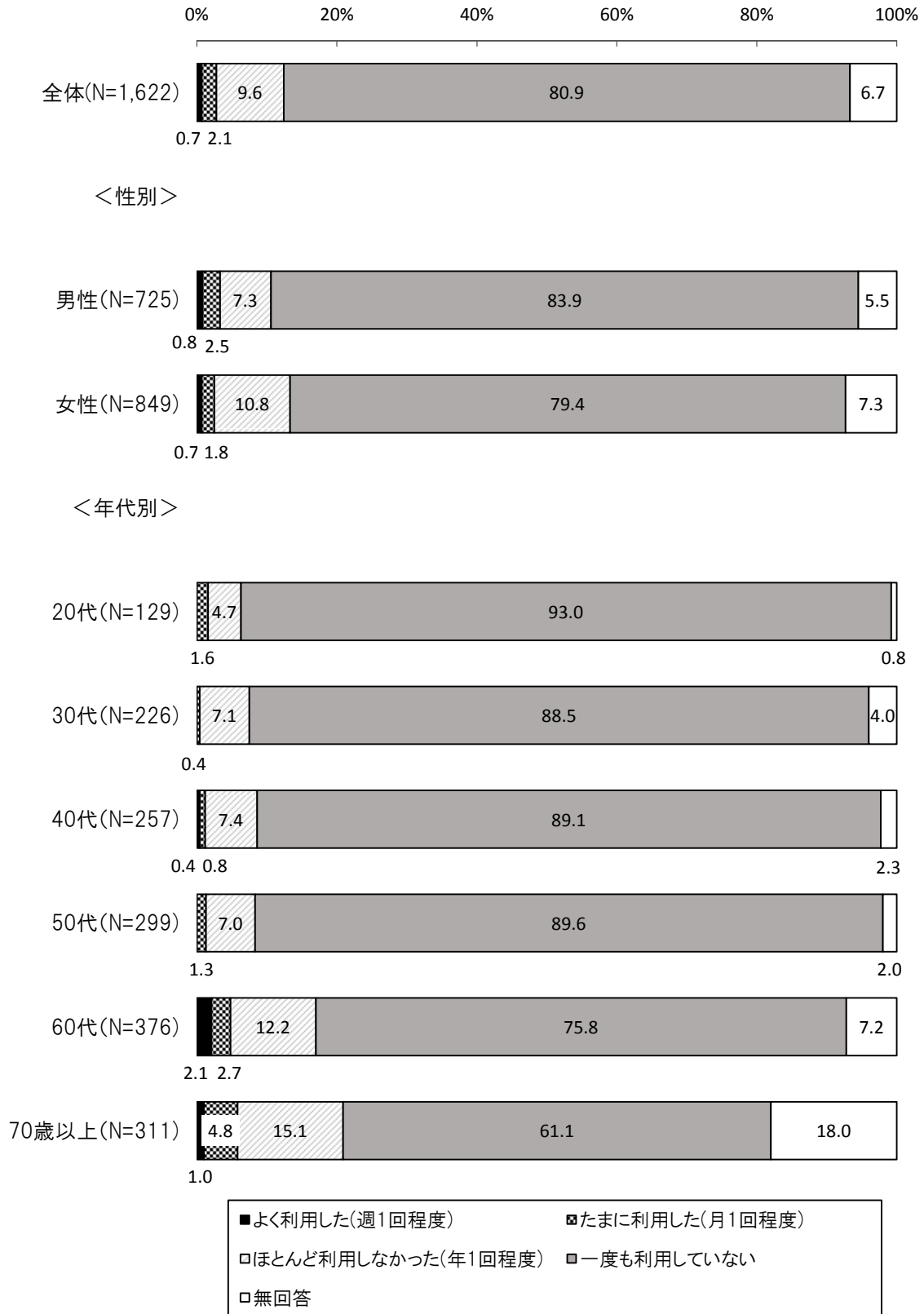


「市立博物館」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が0.7%、「たまに利用した」が2.1%となっている。男女間で大きな差はみられない。年代別でみると60代及び70歳以上では「ほとんど利用しなかった(年に1回程度)」を含めた利用経験者の割合が約2割と、他の年代と比べてやや高くなっている。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が54.4%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」22.4%、「施設の存在やサービス内容を知らない」が13.8%と続く。

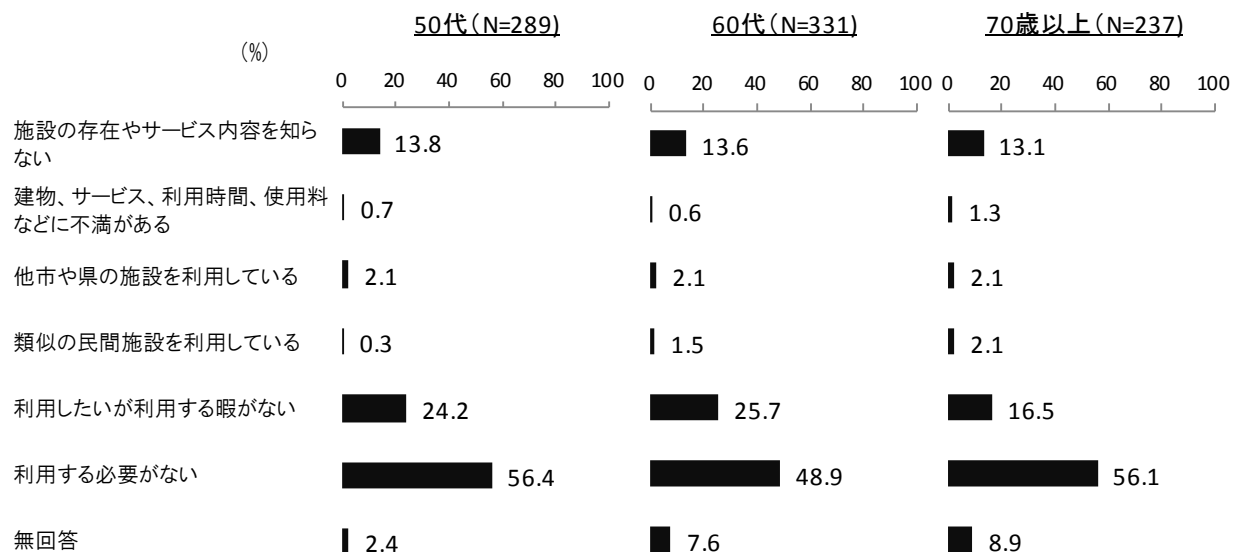
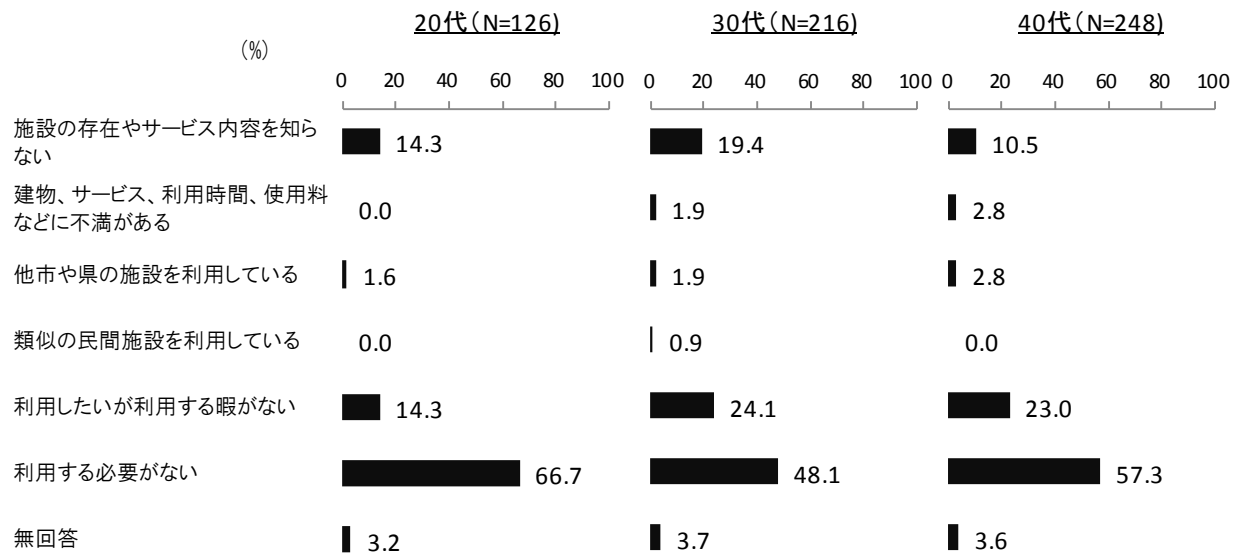
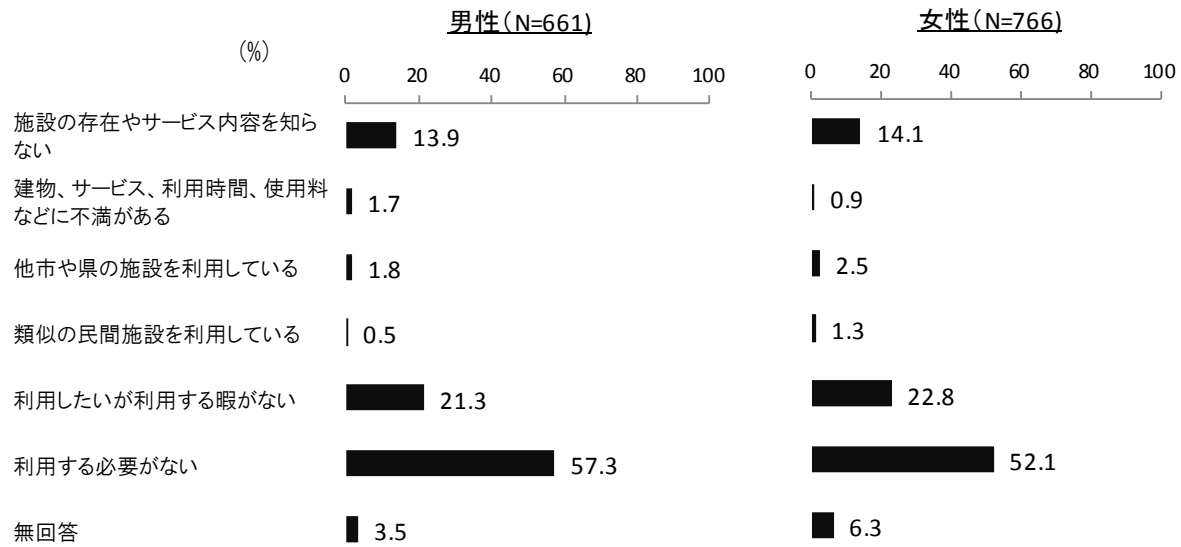
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



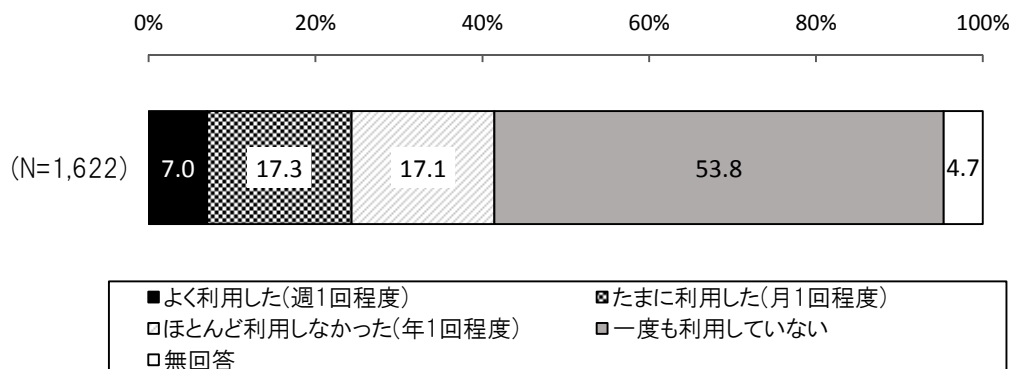
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



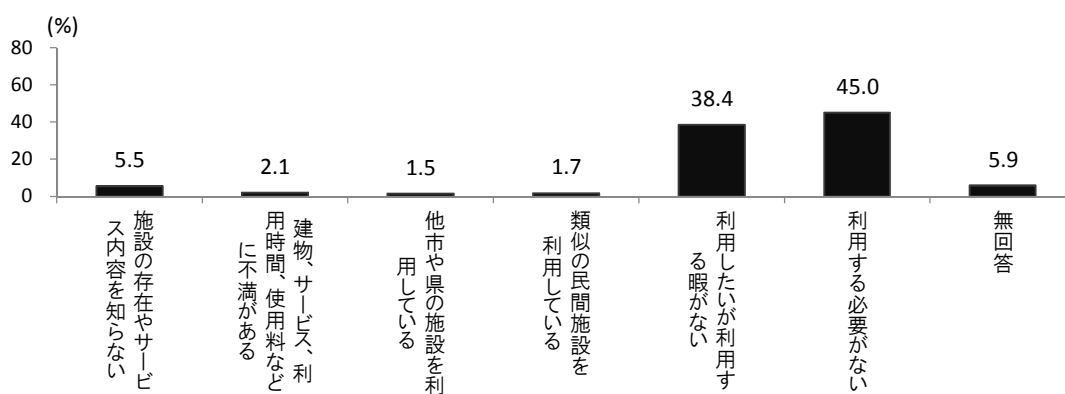
5) 中央図書館・その他市立図書館

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,151)



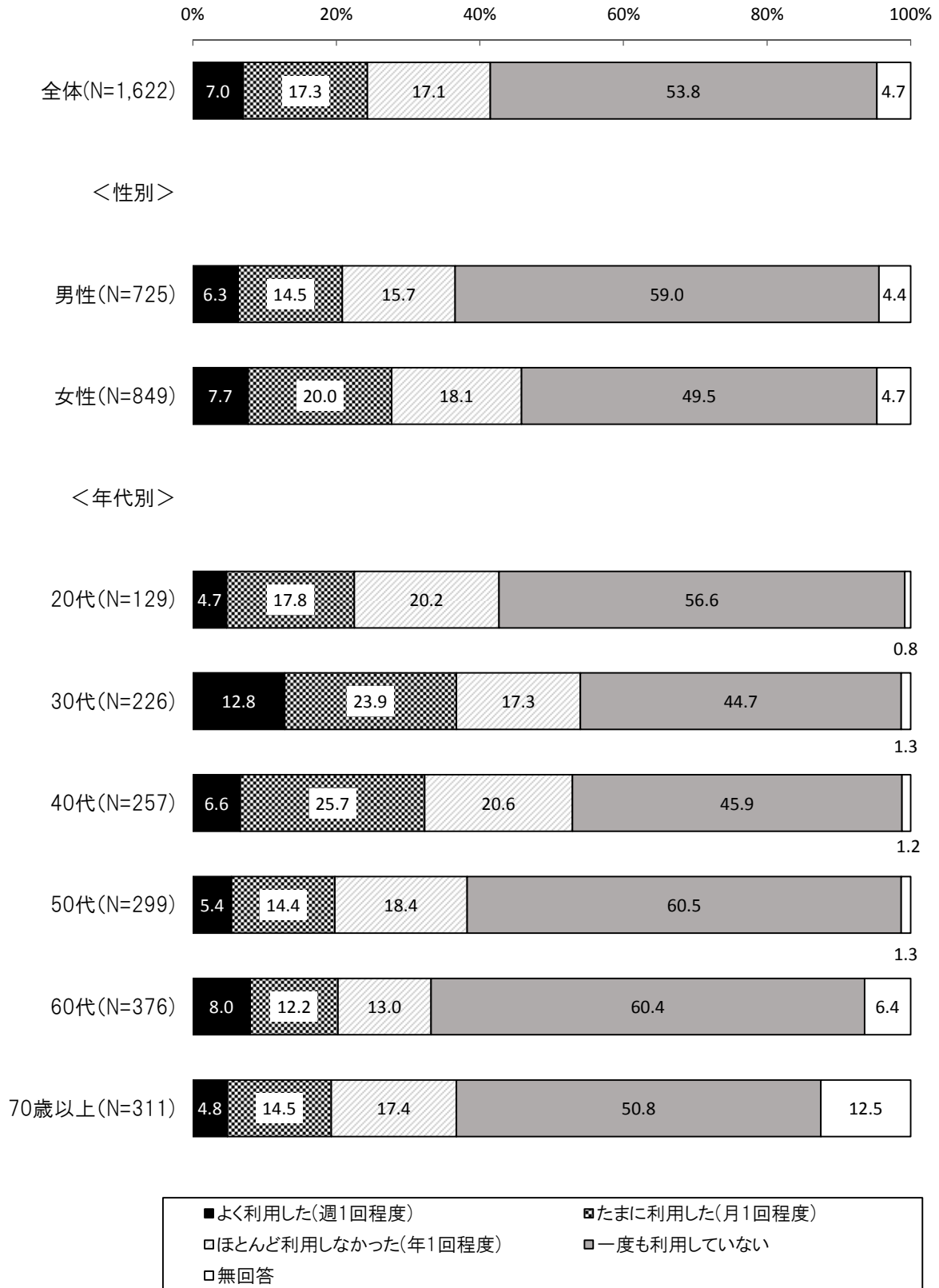
「中央図書館・その他市立図書館」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が7.0%、「たまに利用した」が17.3%となっている。性別では、「よく利用した」と「たまに利用した」を合わせ、男性は20.8%、女性は27.7%とやや女性が高くなっている。年代別では、「よく利用した」と「たまに利用した」を合わせてみると、特に30代及び40代では3割を超し、他の年代と比べて高くなっている。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が45.0%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」38.4%となっている。

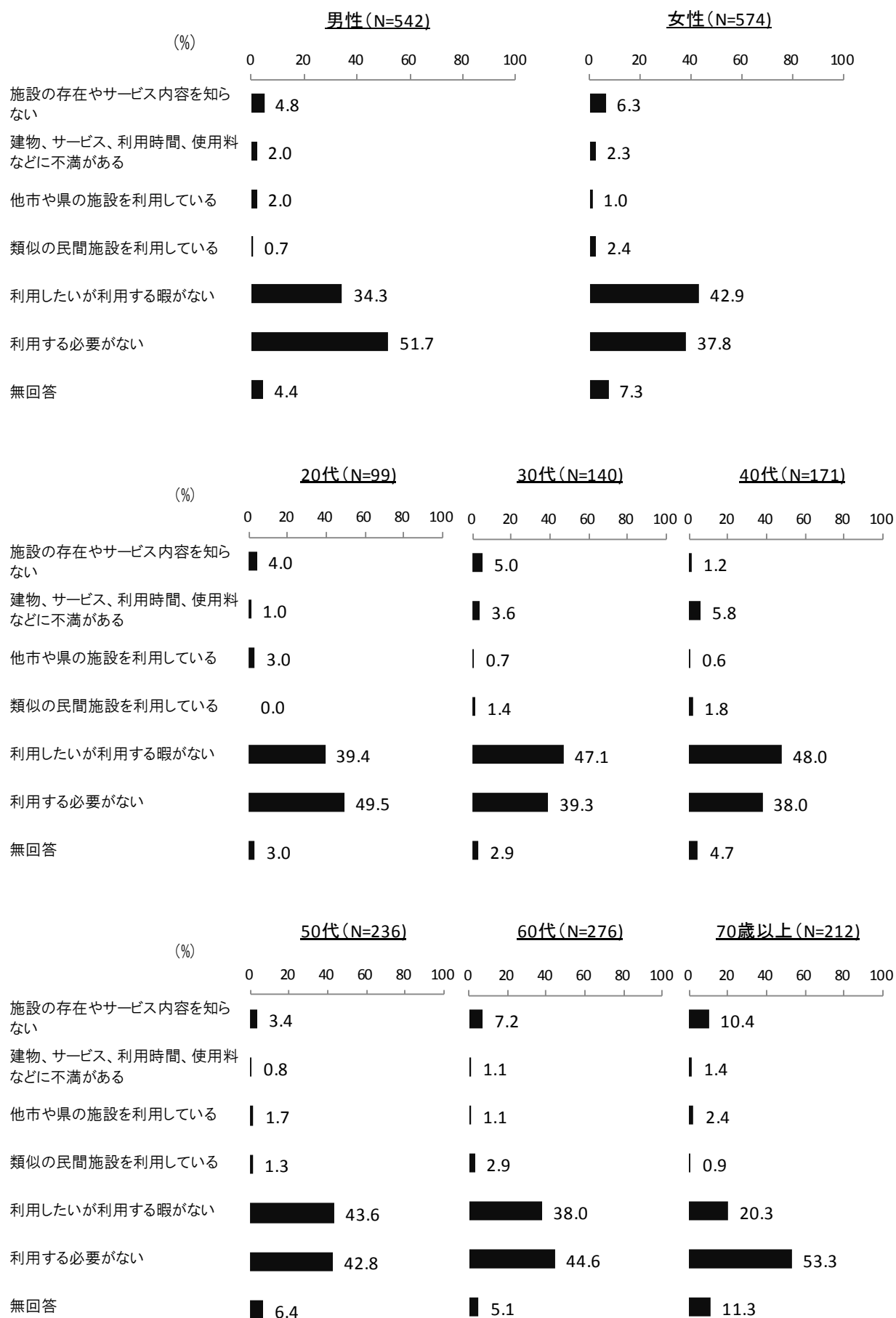
IV 調査結果

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

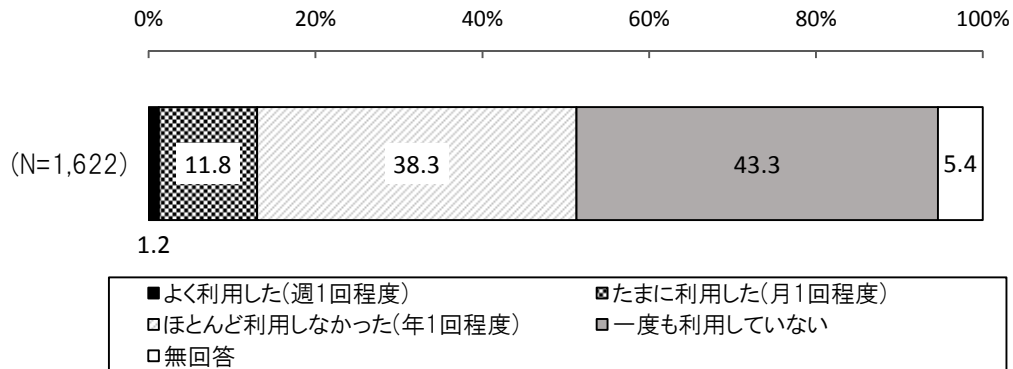


問2 利用しなかった理由



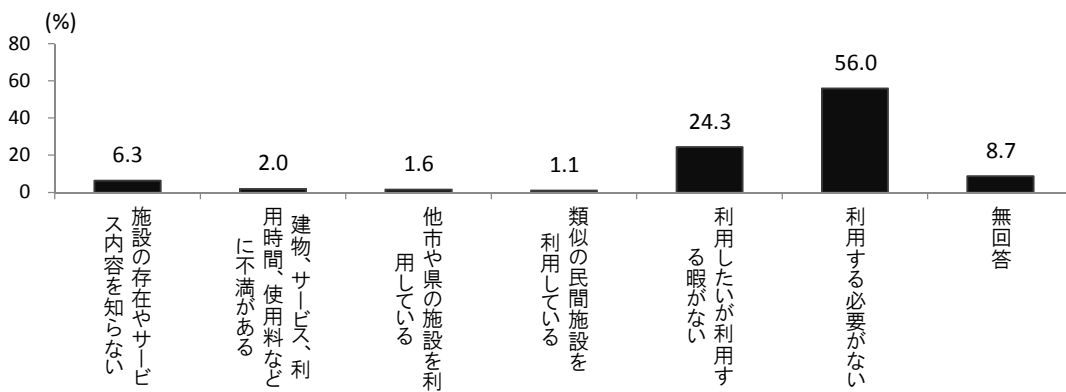
6) ロゼシアター

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,323)

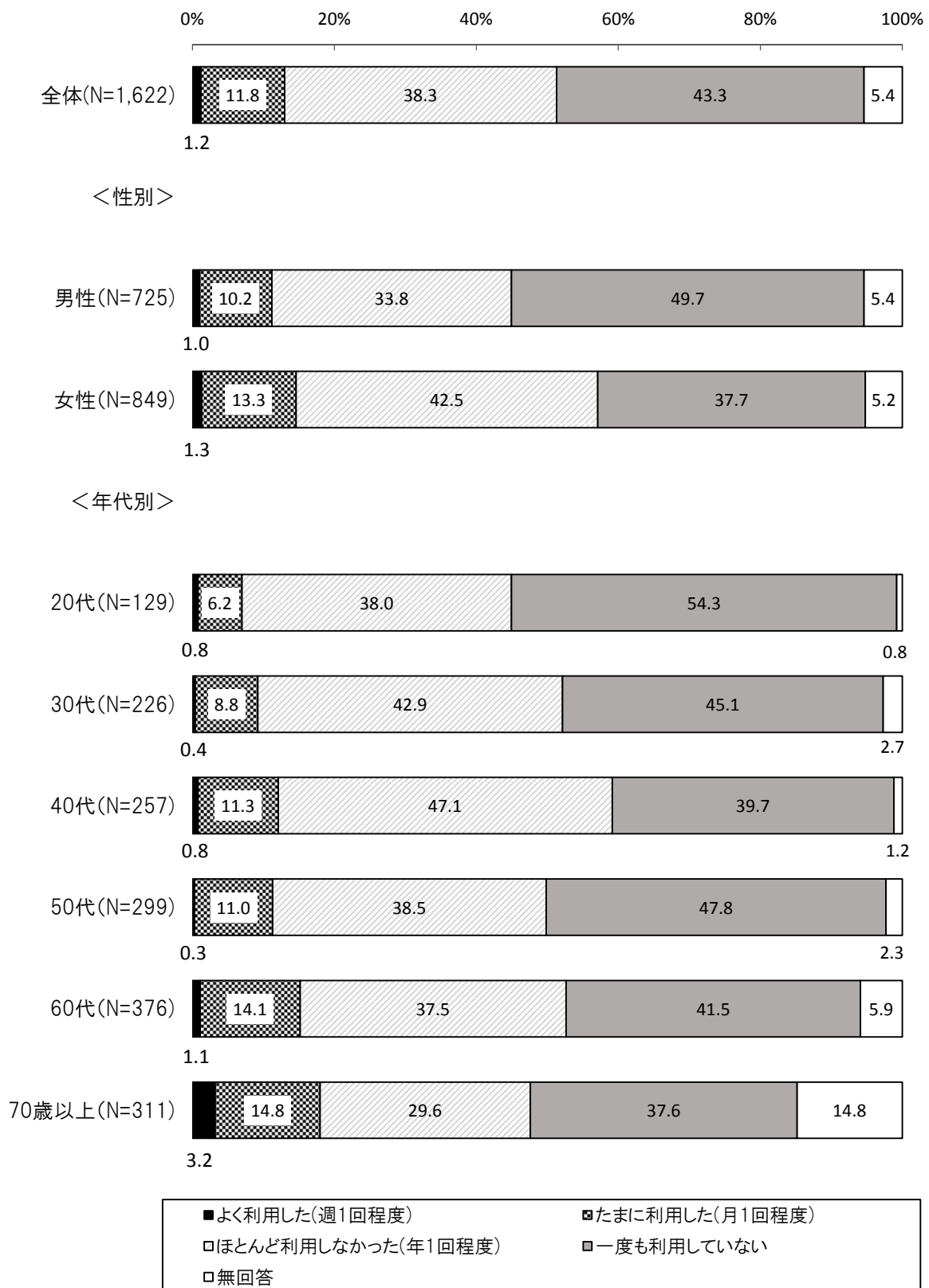


「ロゼシアター」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が1.2%、「たまに利用した」が11.8%となっている。男女間で大きな差はない。年代別では、「よく利用した」と「たまに利用した」を合わせてみると、60代及び70歳以上において他の年代と比べてやや高めとなっている。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が56.0%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」24.3%となっている。

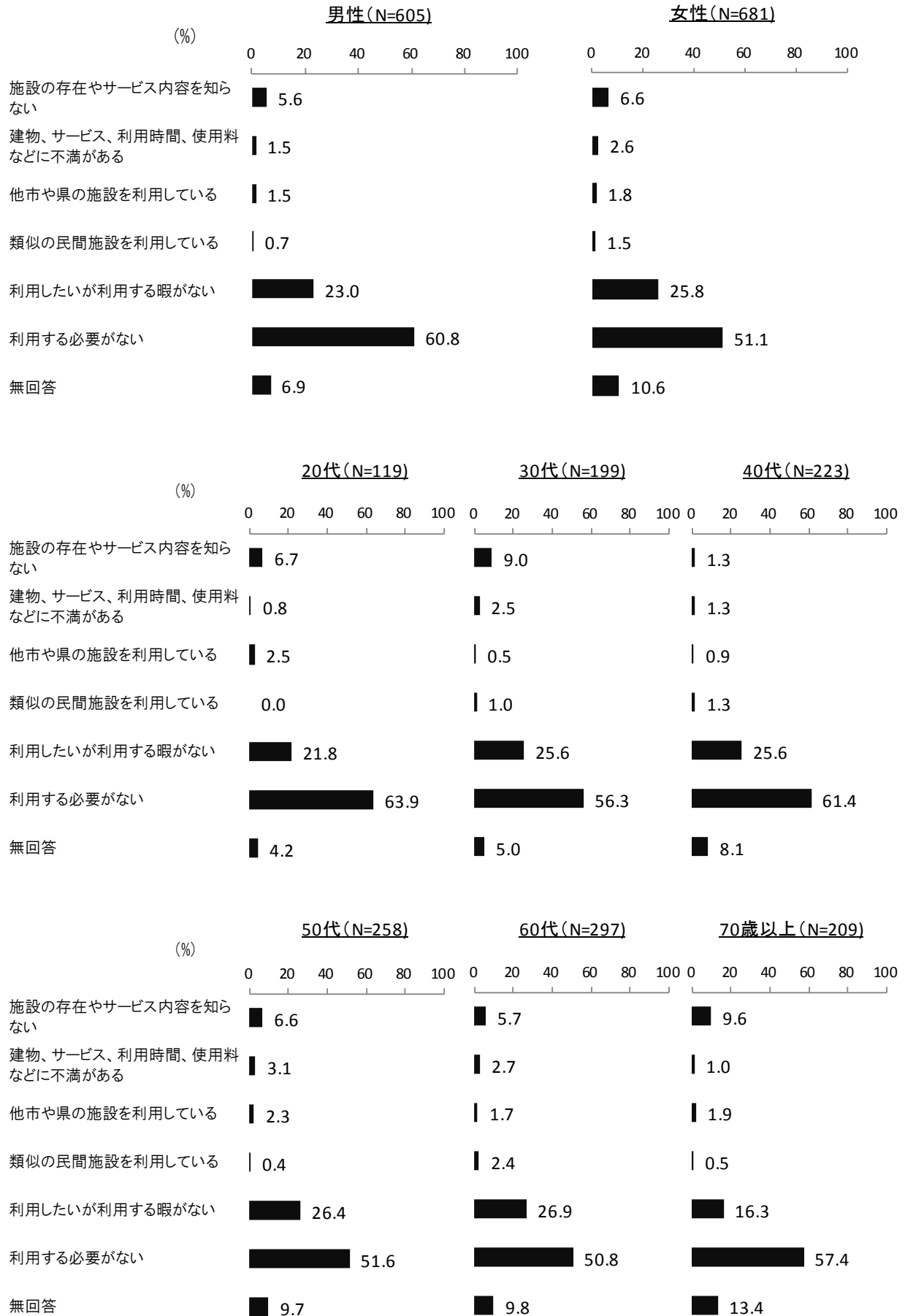
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



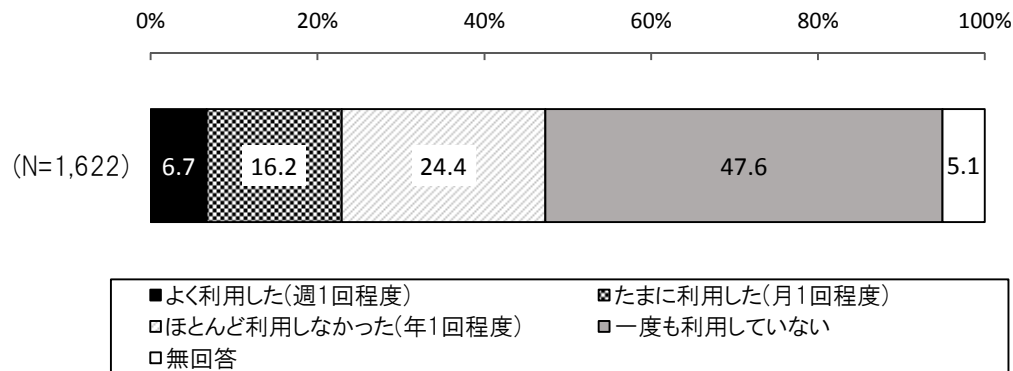
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



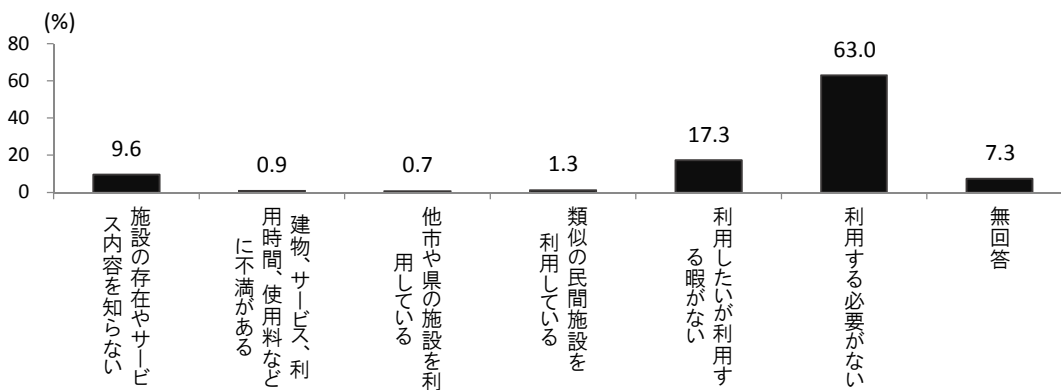
7) 地区まちづくりセンター

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,168)



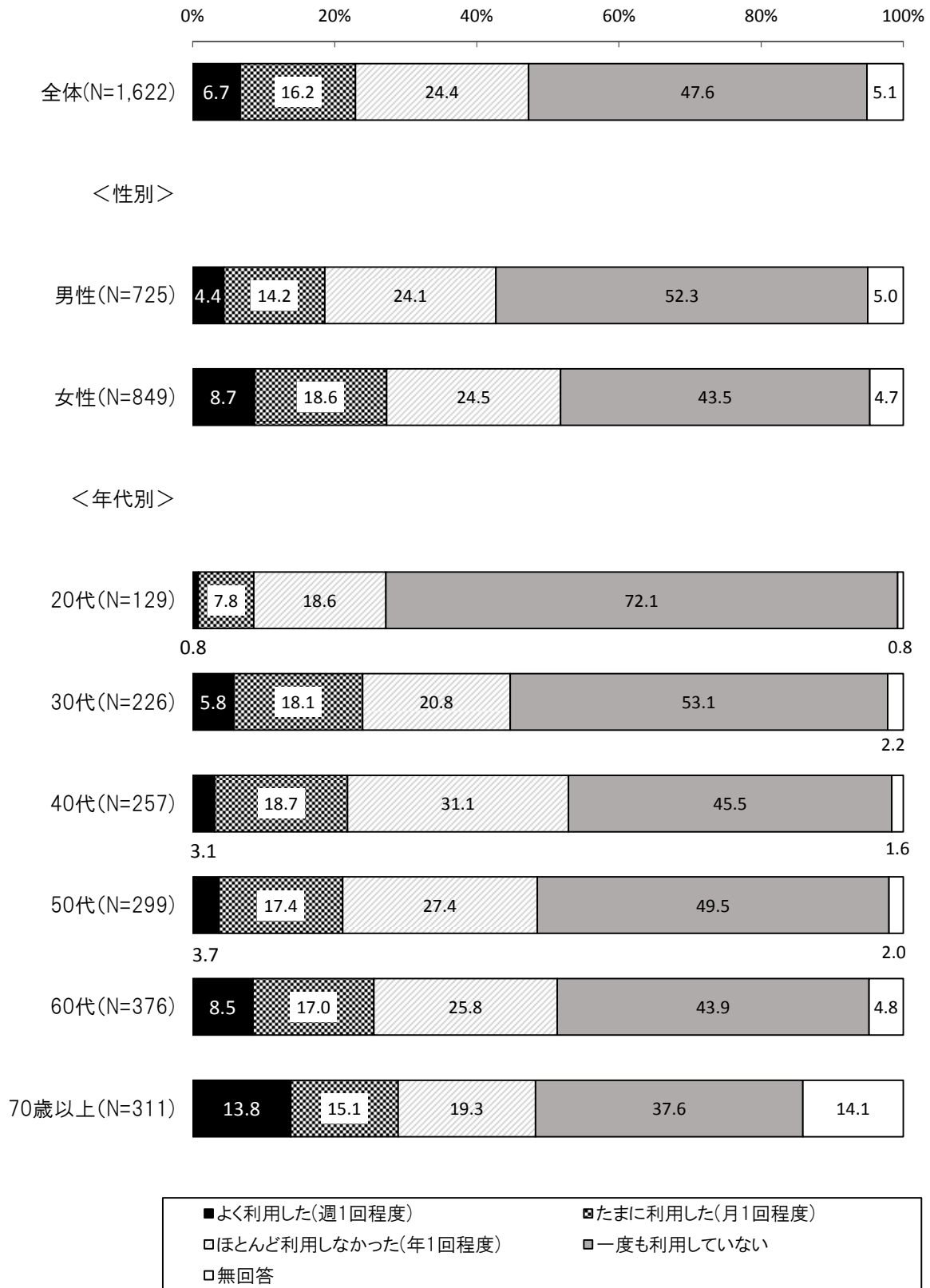
「地区まちづくりセンター」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が6.7%、「たまに利用した」が16.2%となっている。性別で見ると、「よく利用した」と「たまに利用した」を合わせて、男性は18.6%、女性は27.3%と、女性のほうが高くなっている。年代別では、「よく利用した」が60代及び70歳以上でおよそ1割と、他の年代と比べて高くなっている。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が63.0%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」が17.3%、「施設の内容を知らない」が9.6%と続く。

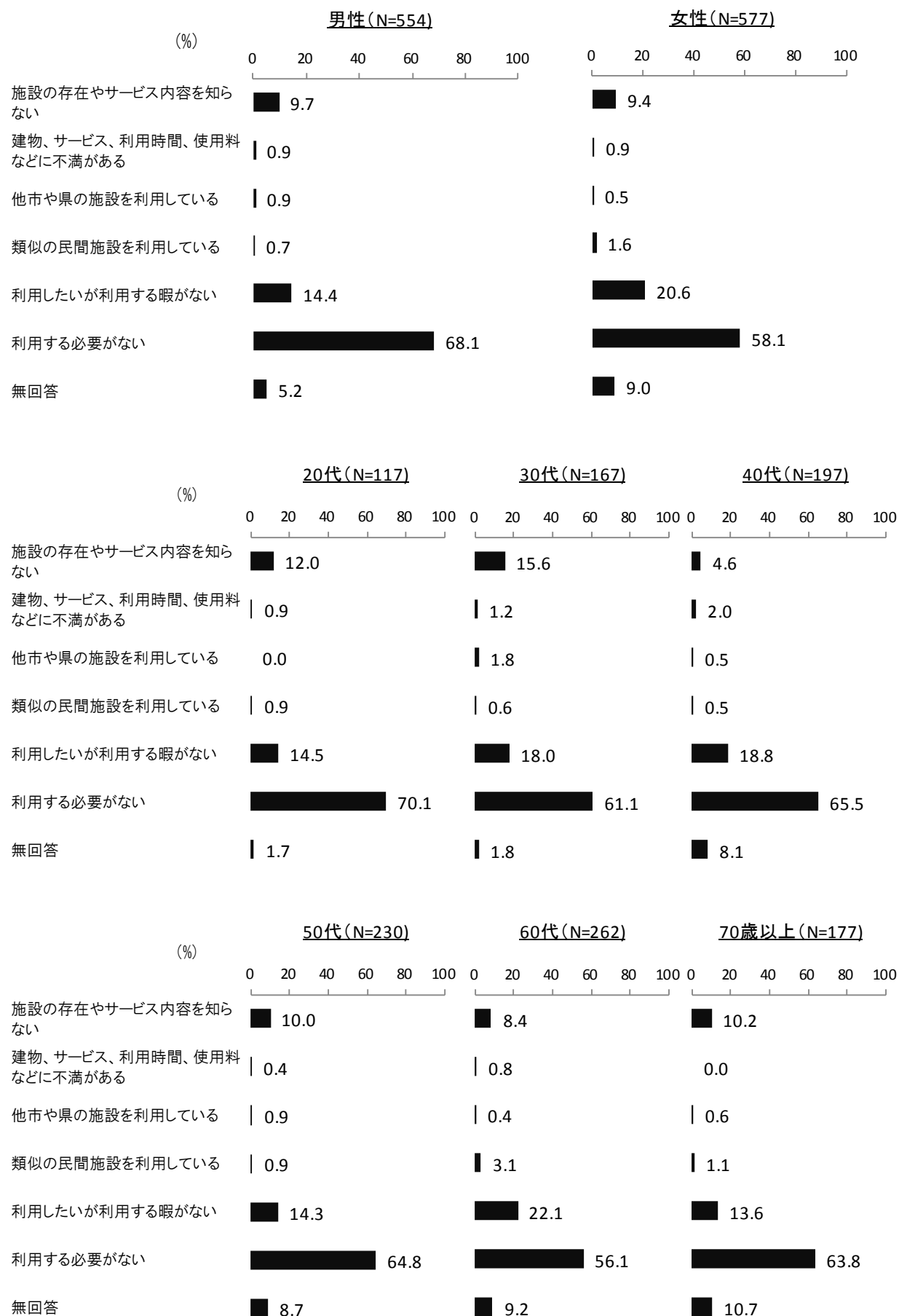
IV 調査結果

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

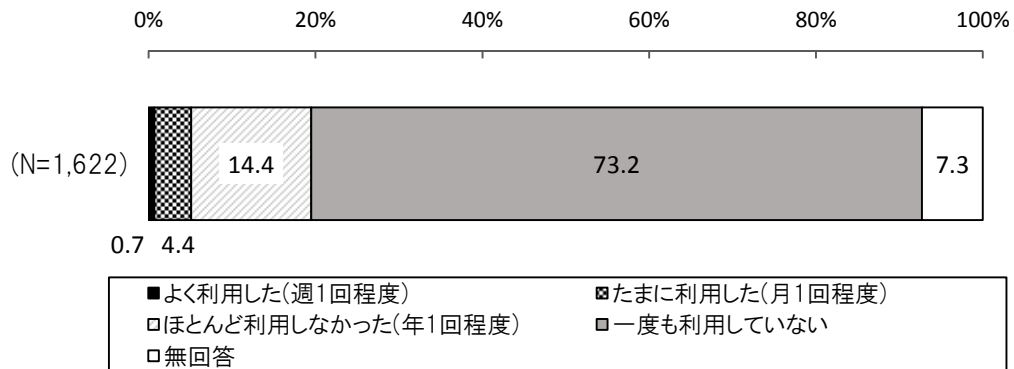


問2 利用しなかった理由



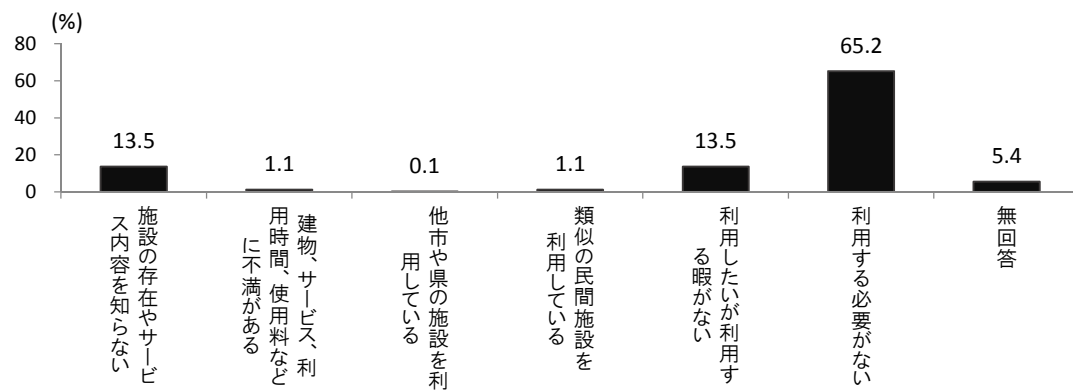
8) 交流プラザ

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,421)

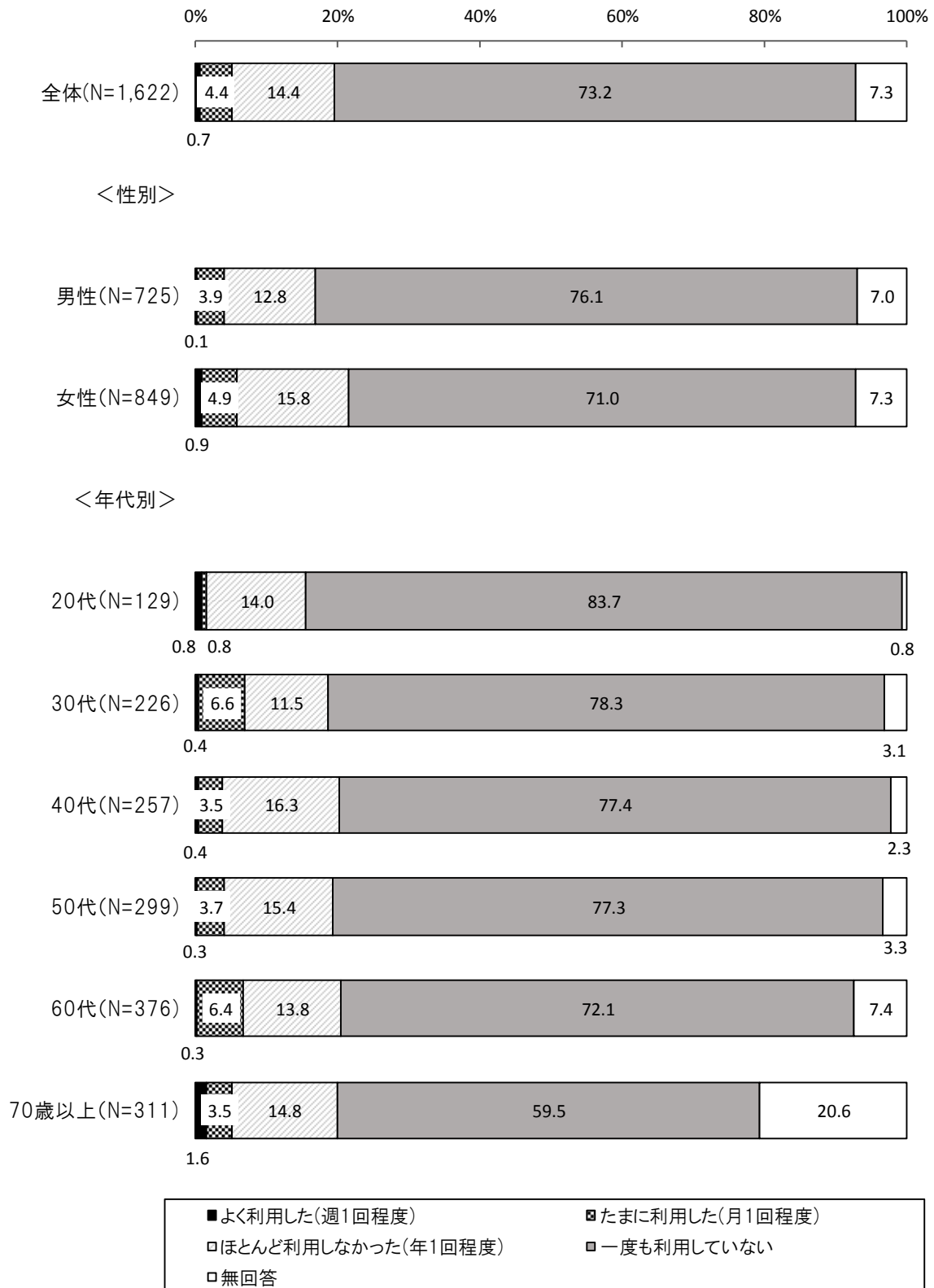


「交流プラザ」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が0.7%、「たまに利用した」が4.4%となっている。男女間及び年代間で利用状況に大きな差はない。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が65.2%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」と「施設の内容を知らない」が13.5%で並んでいる。

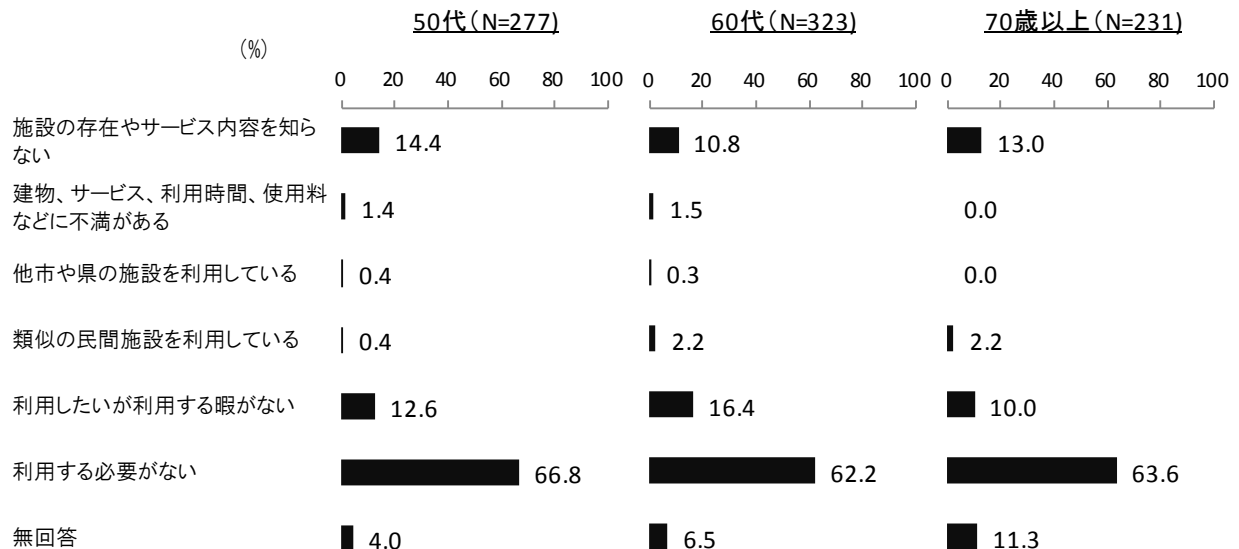
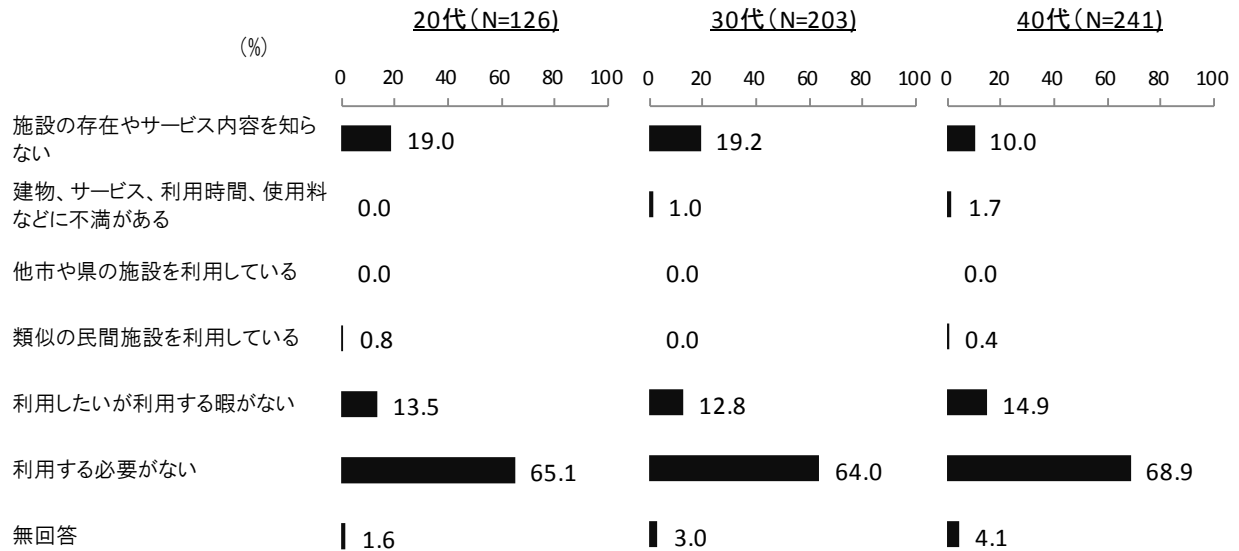
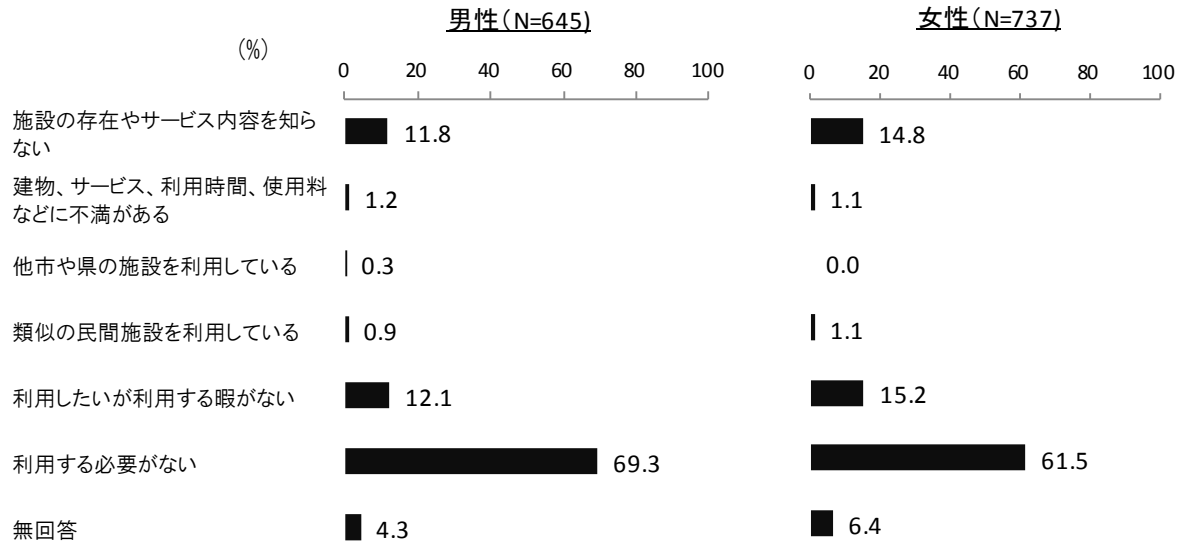
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



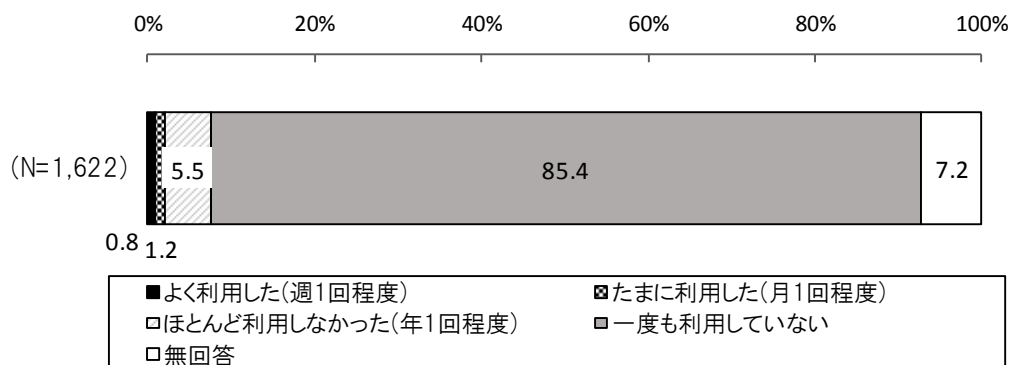
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



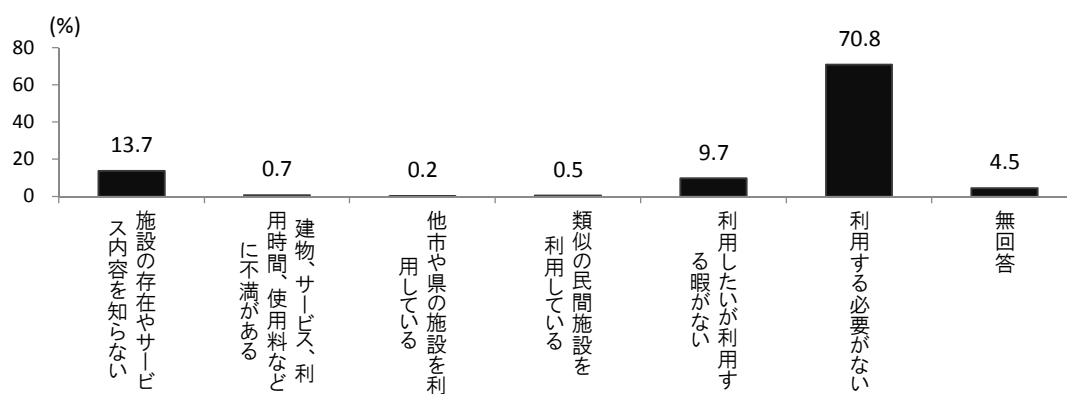
9) 社会福祉センター

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,474)

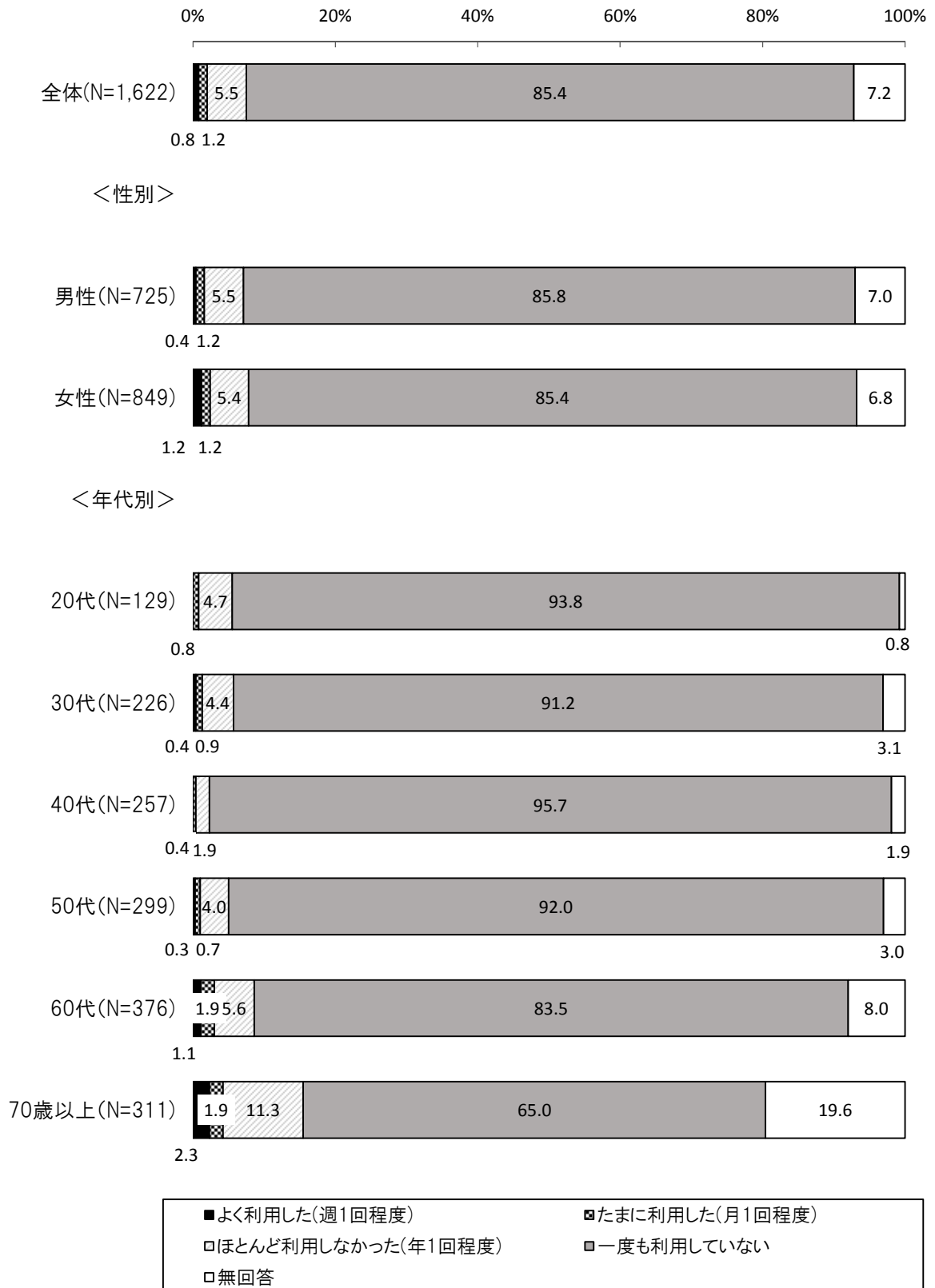


「社会福祉センター」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が0.8%、「たまに利用した」が1.2%となっている。男女間で利用状況に大きな差はない。年代別で見ると、「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」までを含めた利用経験者の割合が、70歳以上では15.5%と他の年代と比べてやや高くなっている。

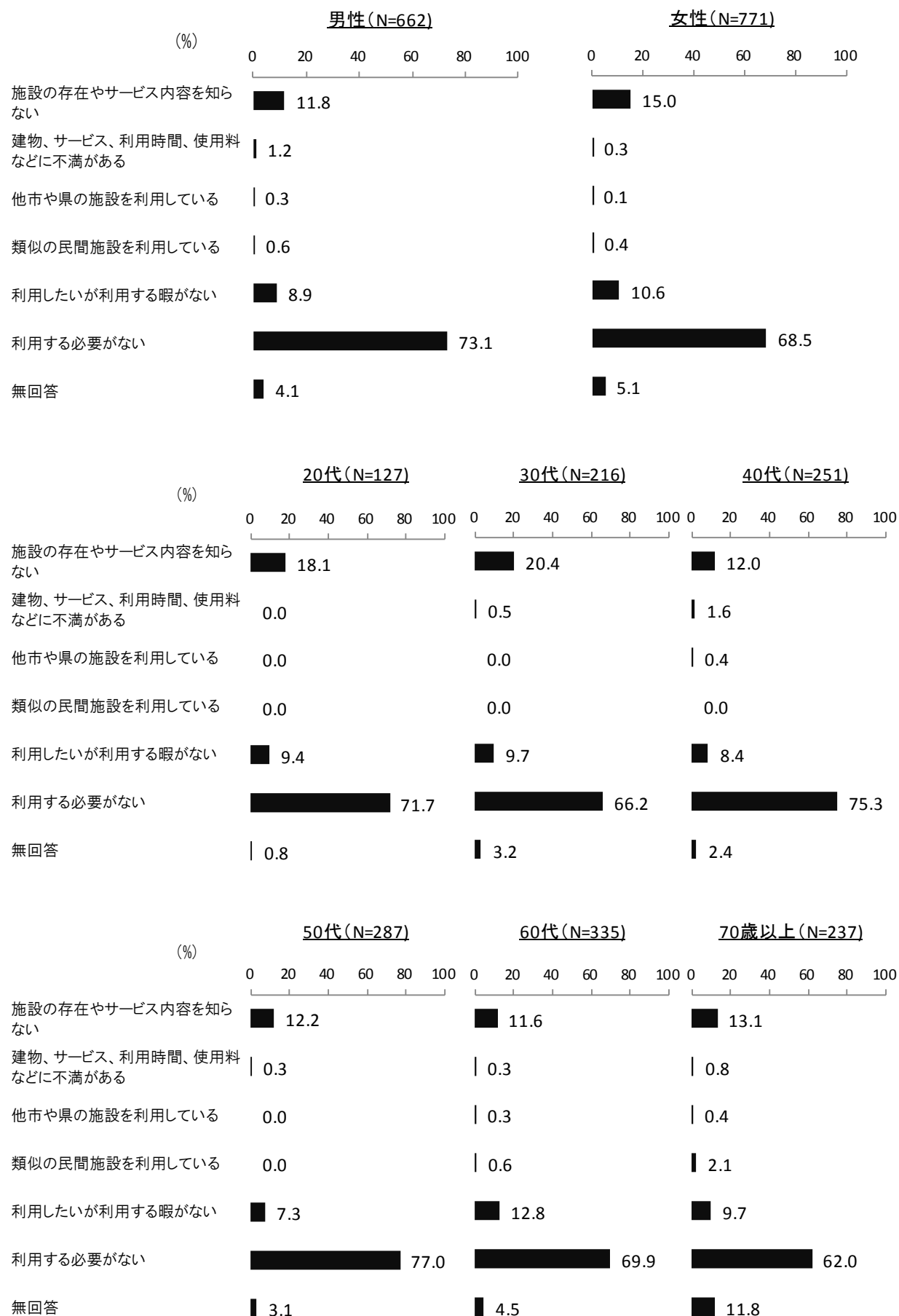
「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が70.8%で最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」が13.7%「利用したいが利用する暇がない」が9.7%と続く。

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

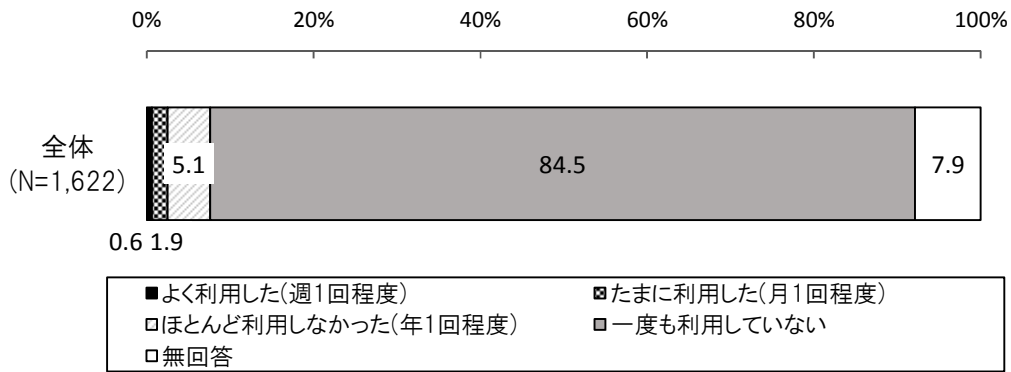


問2 利用しなかった理由



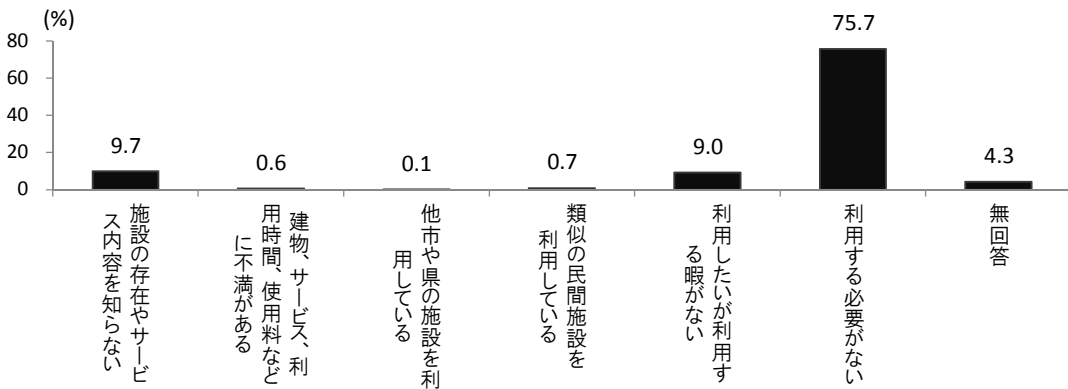
10) 児童館

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,454)

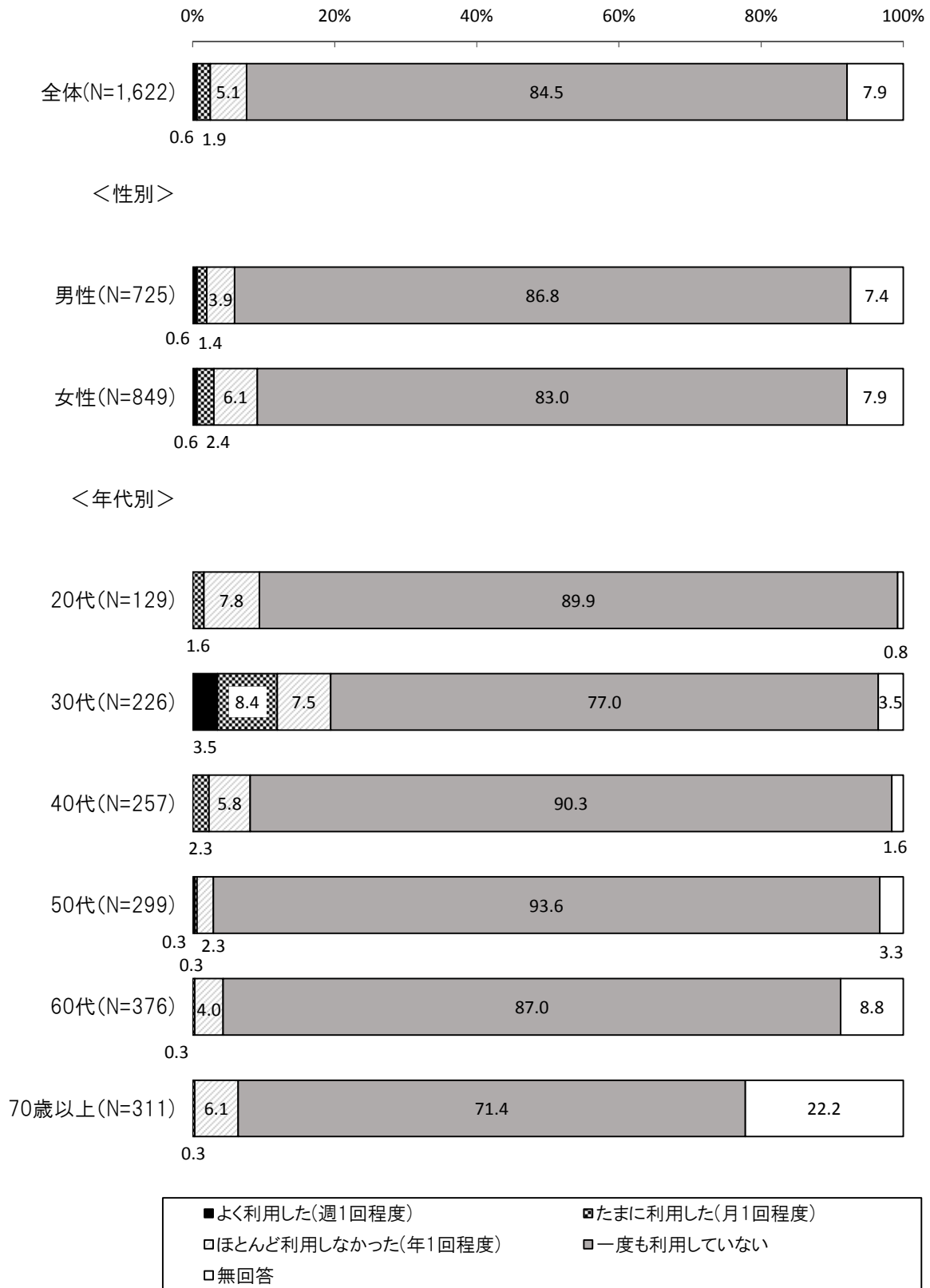


「児童館」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が0.6%、「たまに利用した」が1.9%となっている。男女間で利用状況に大きな差はない。年代別で見ると、30代では「よく利用した」と「たまに利用した」を合わせて1割程度と、他の年代と比べて高くなっている。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がある」が75.7%で最も高く、次いで「施設の内容を知らない」が9.7%、「利用したいが利用する暇がない」が9.0%と続く。

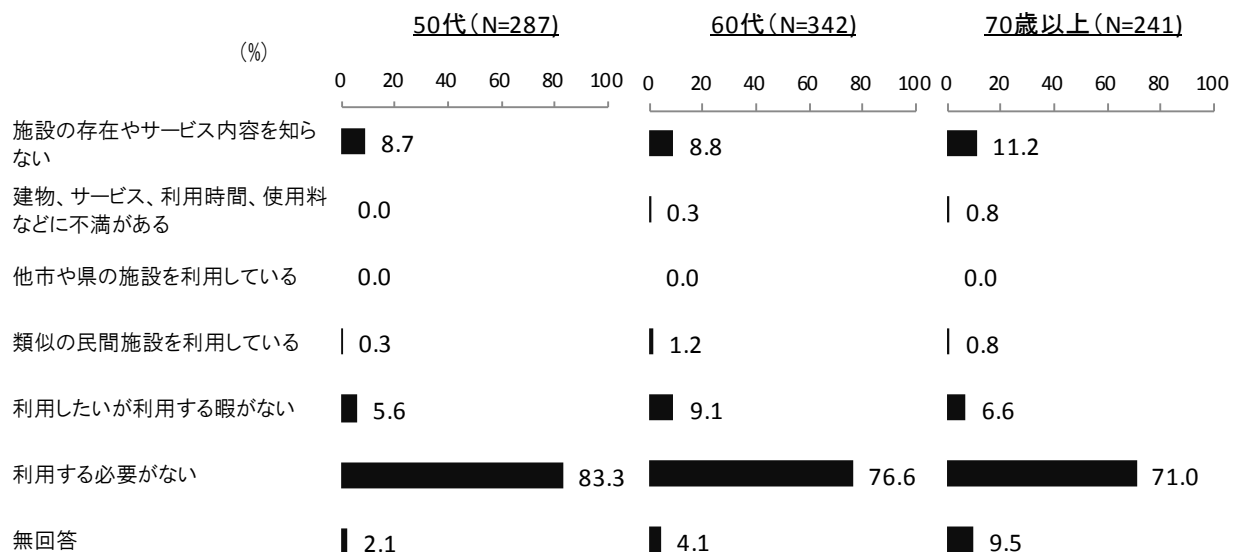
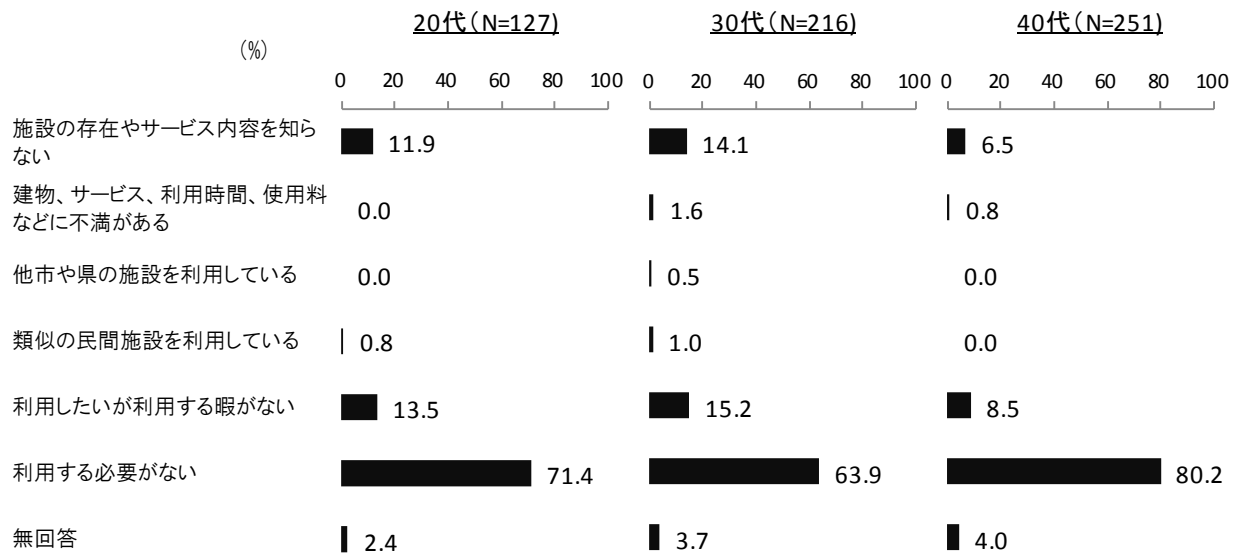
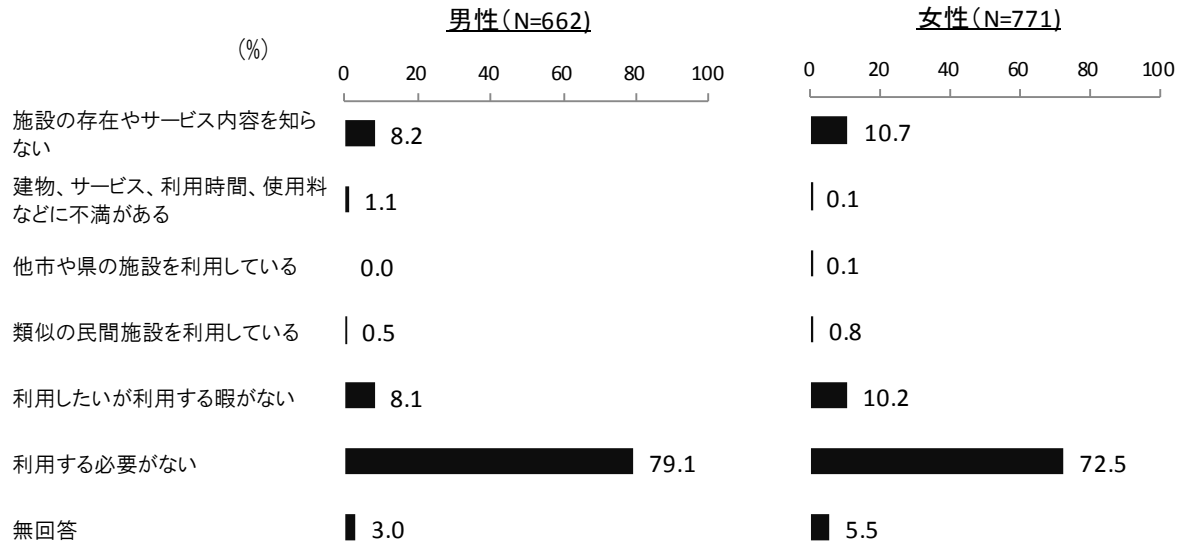
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



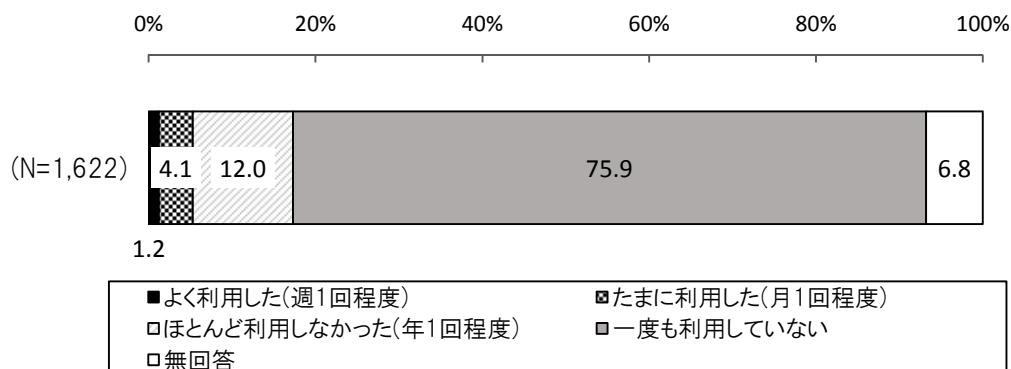
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



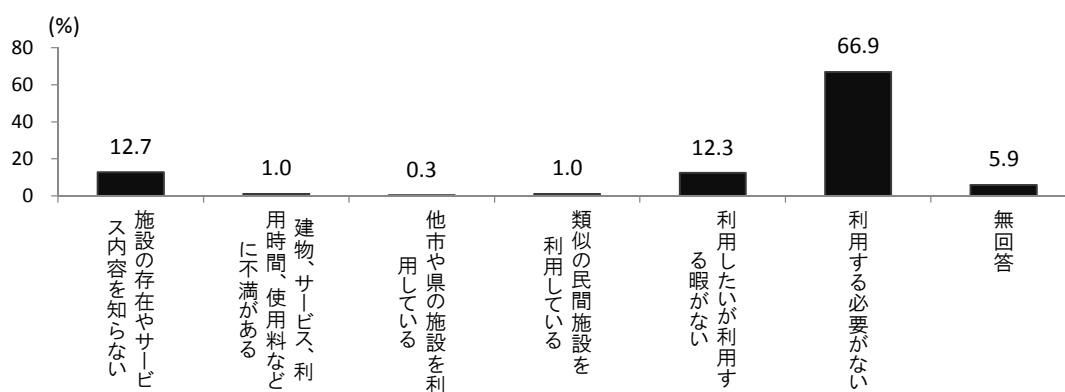
11) ラ・ホール富士

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,426)

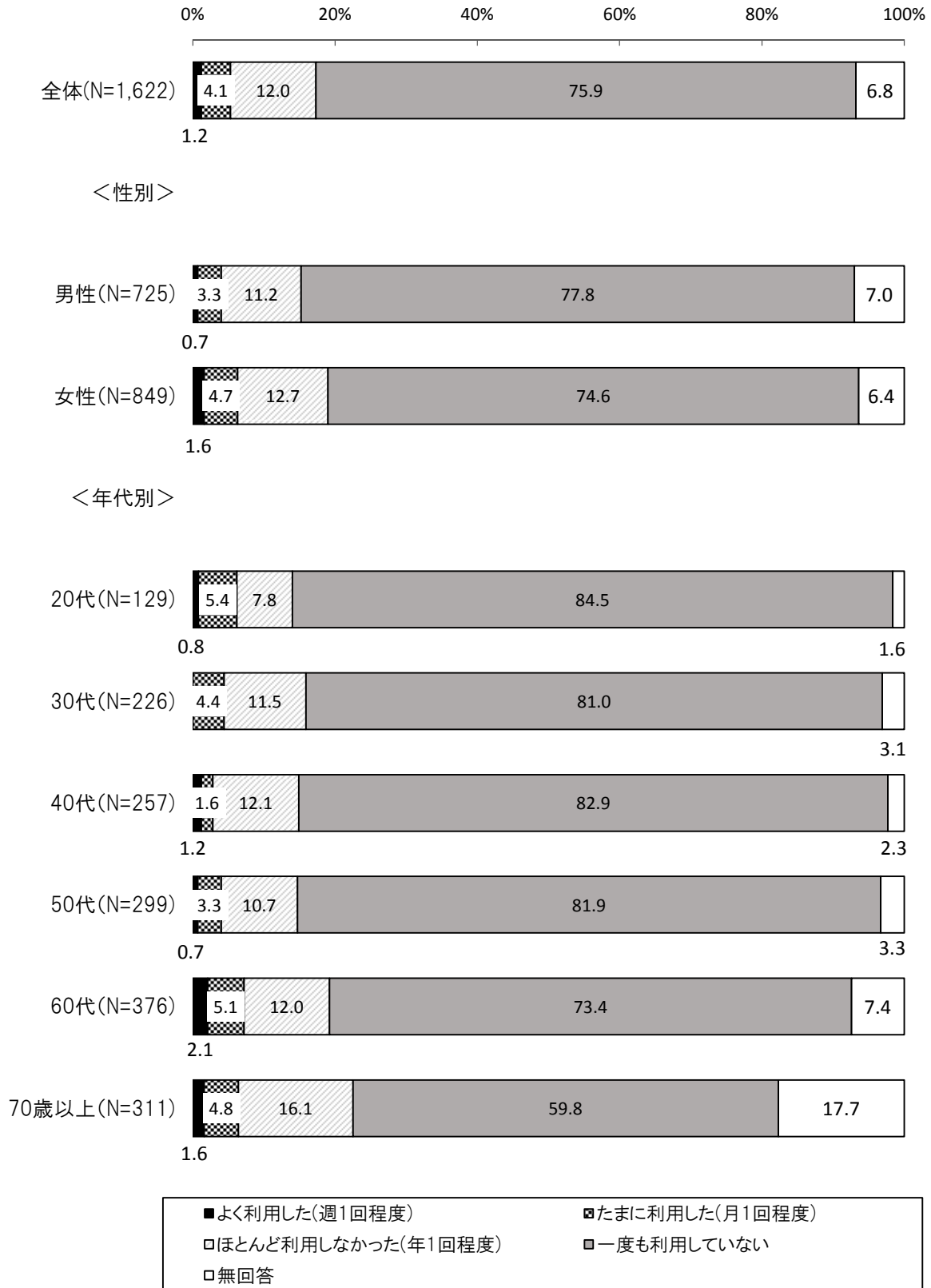


「ラ・ホール富士」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が1.2%、「たまに利用した」が4.1%となっている。男女間及び年代別で大きな差はない。

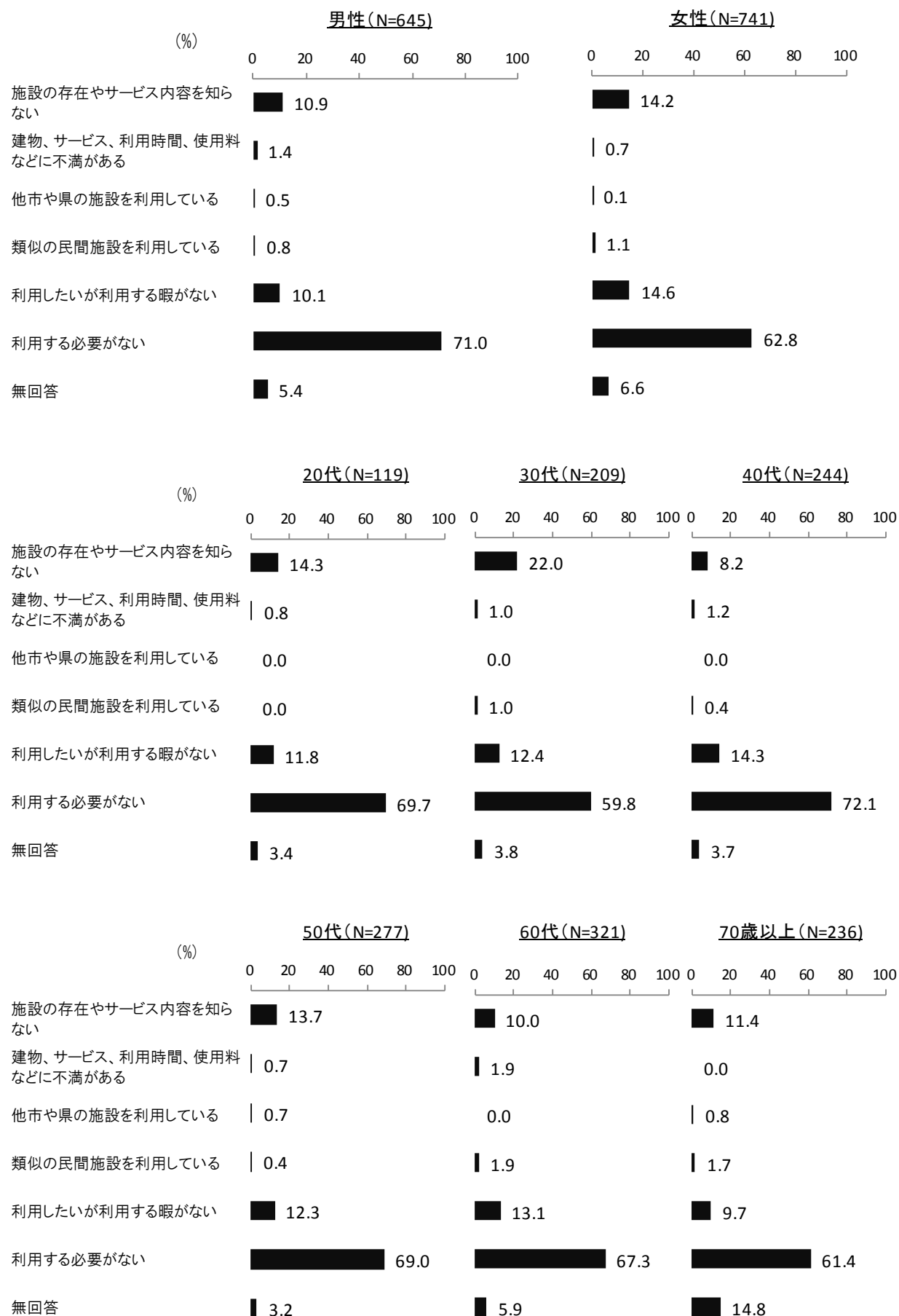
「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がある」が66.9%で最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」が12.7%、「利用したいが利用する暇がない」が12.3%と続く。

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

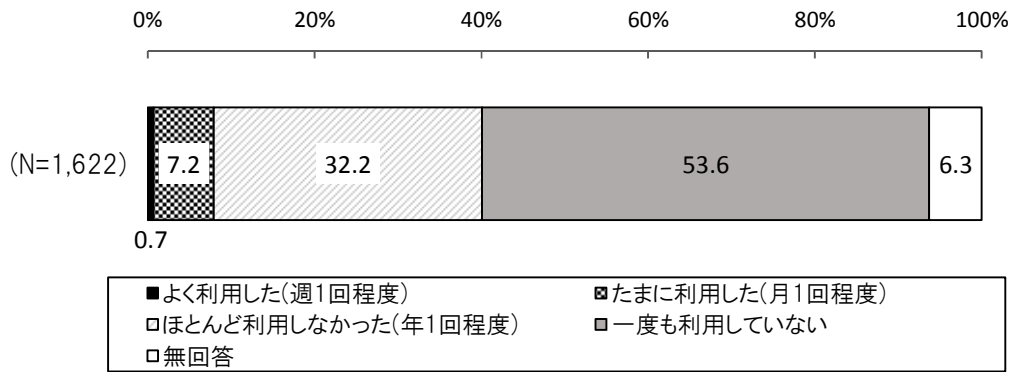


問2 利用しなかった理由



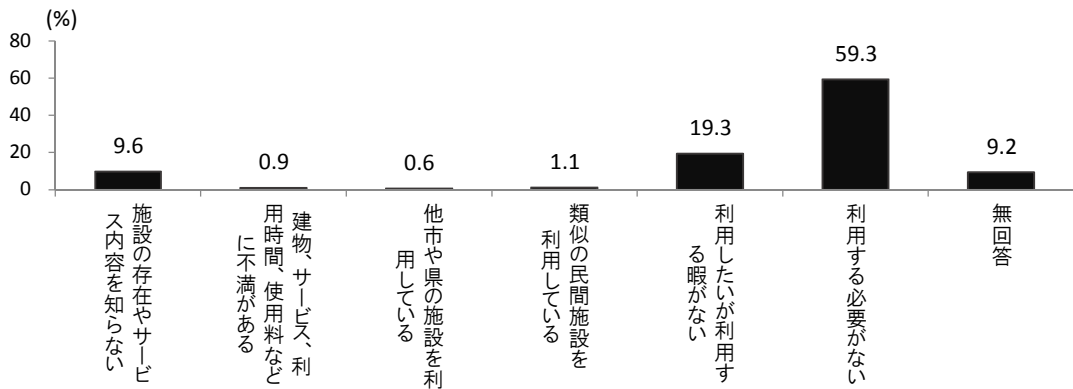
12) ふじさんめっせ

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,392)

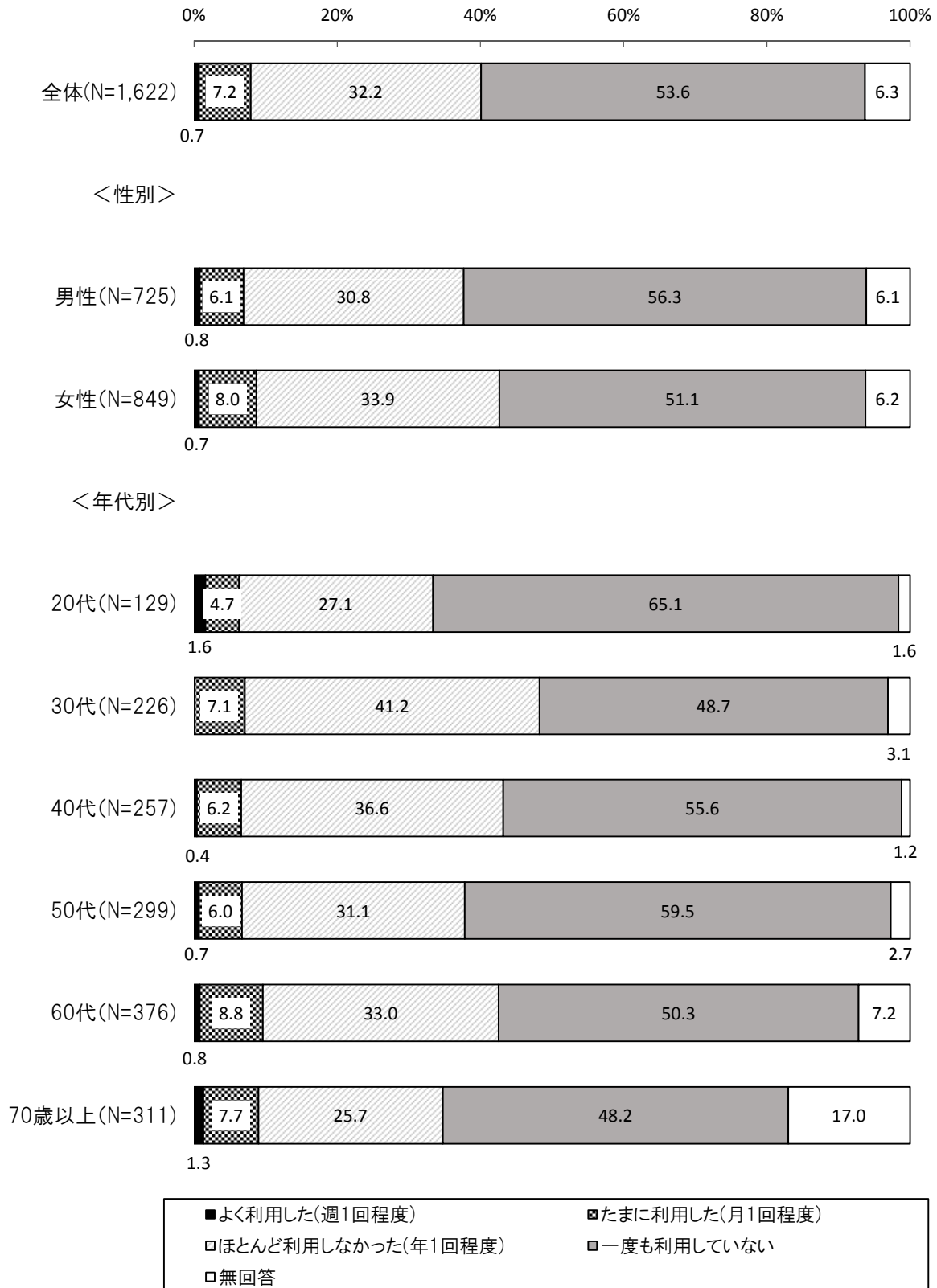


「ふじさんめっせ」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が0.7%、「たまに利用した」が7.2%となっている。男女間及び年代別で大きな差はない。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が59.3%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」が19.3%、「施設の存在やサービス内容を知らない」が9.6%と続く。

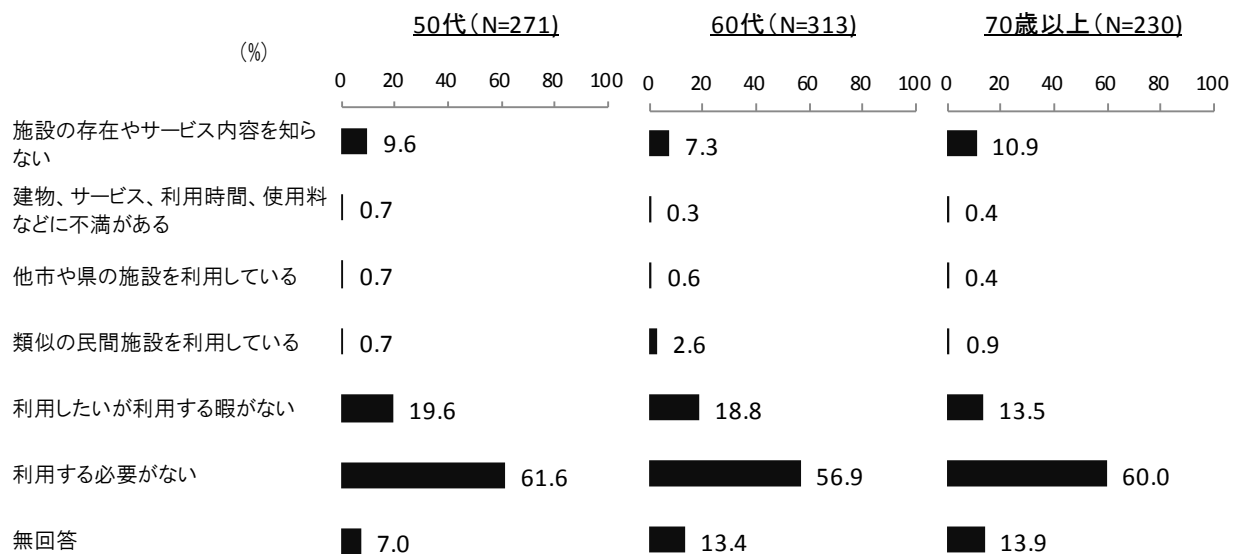
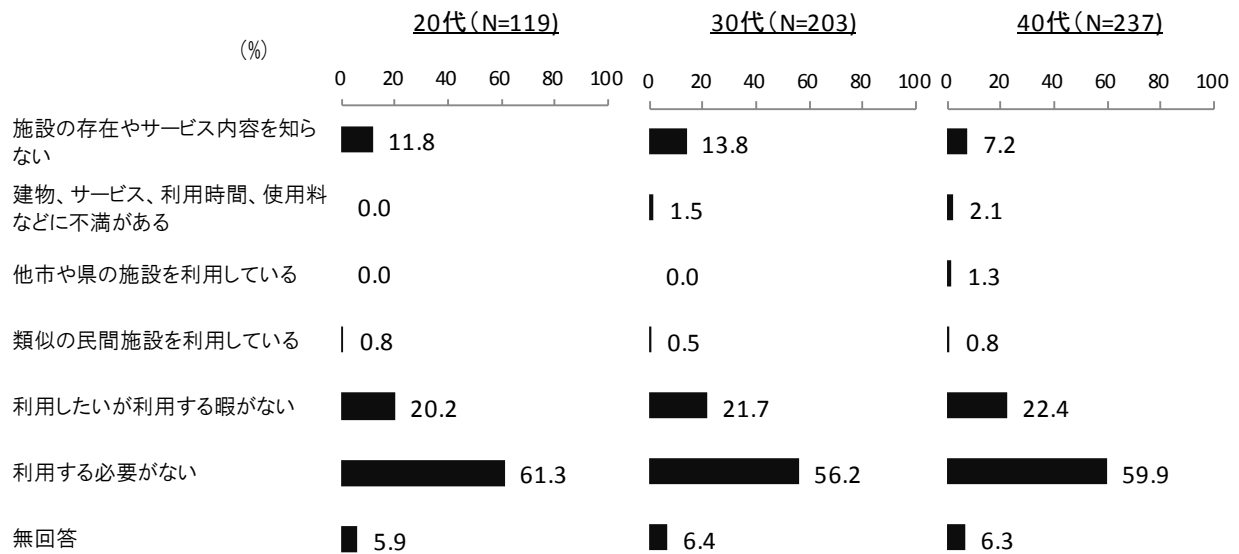
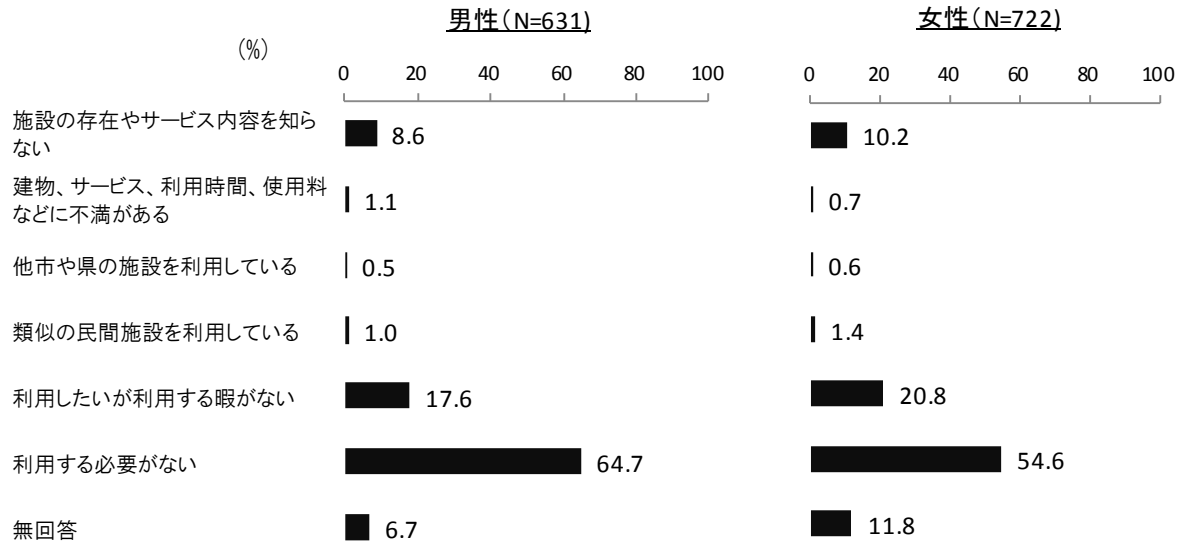
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



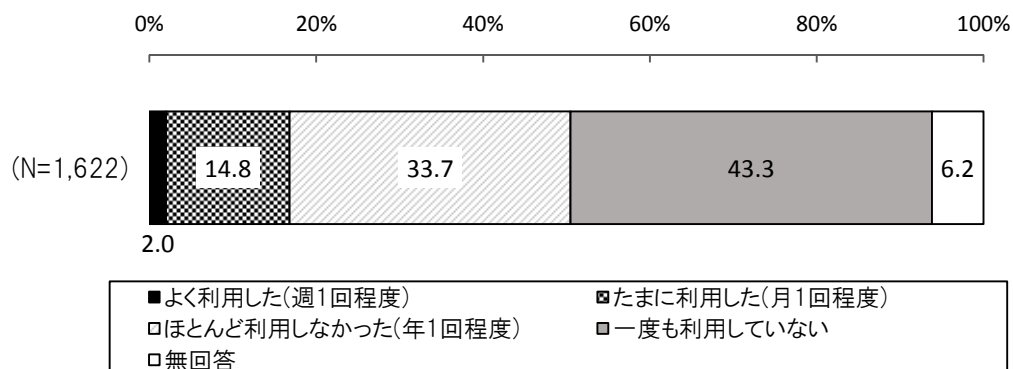
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



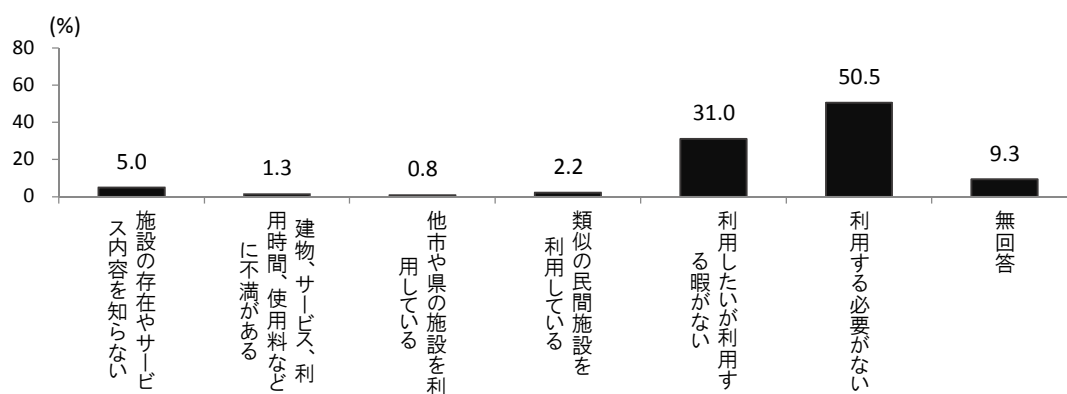
13) 富士川楽座

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,250)

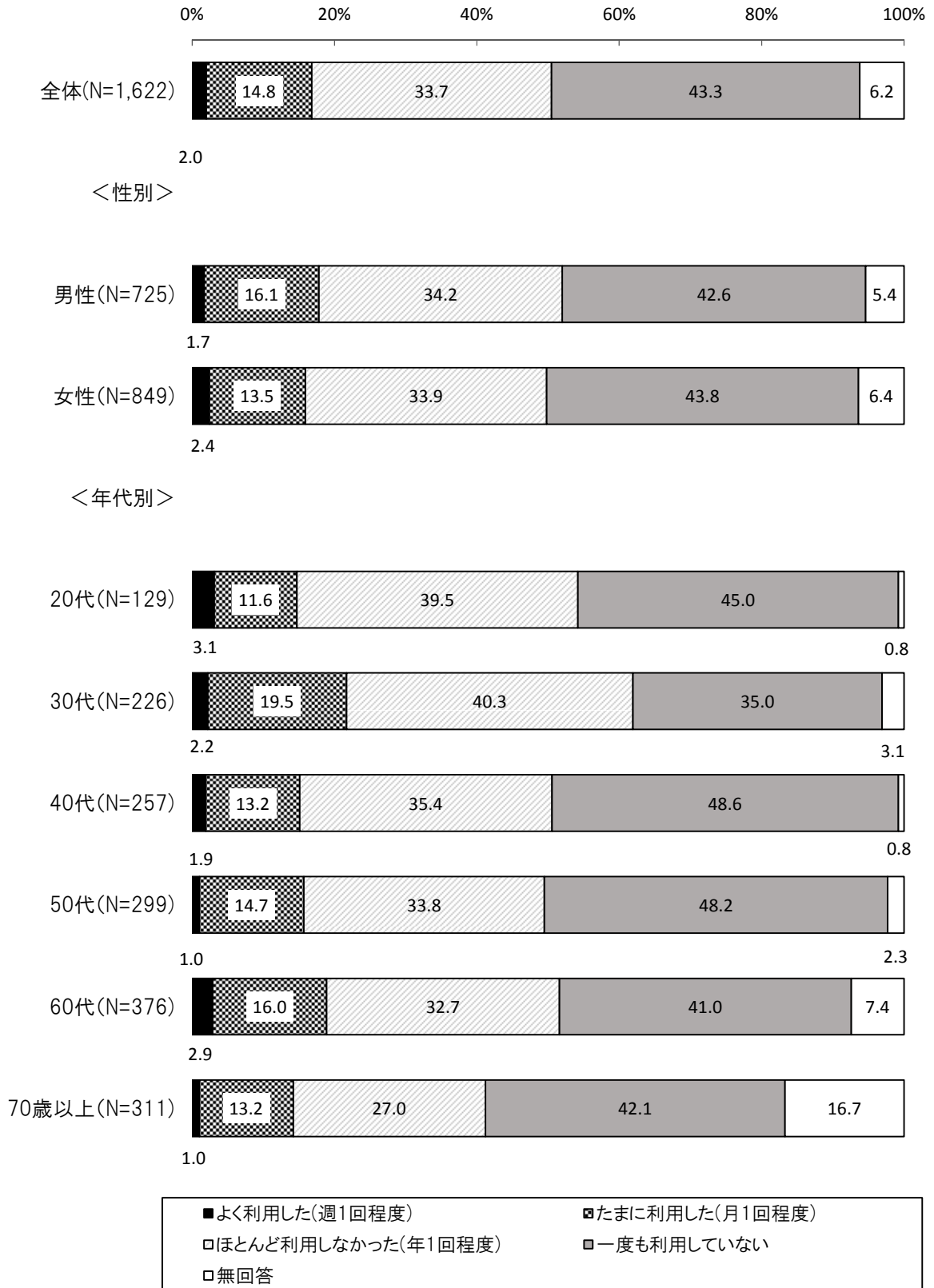


「富士川楽座」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が2.0%、「たまたま利用した」が14.8%となっている。男女間及び年代別で大きな差はない。

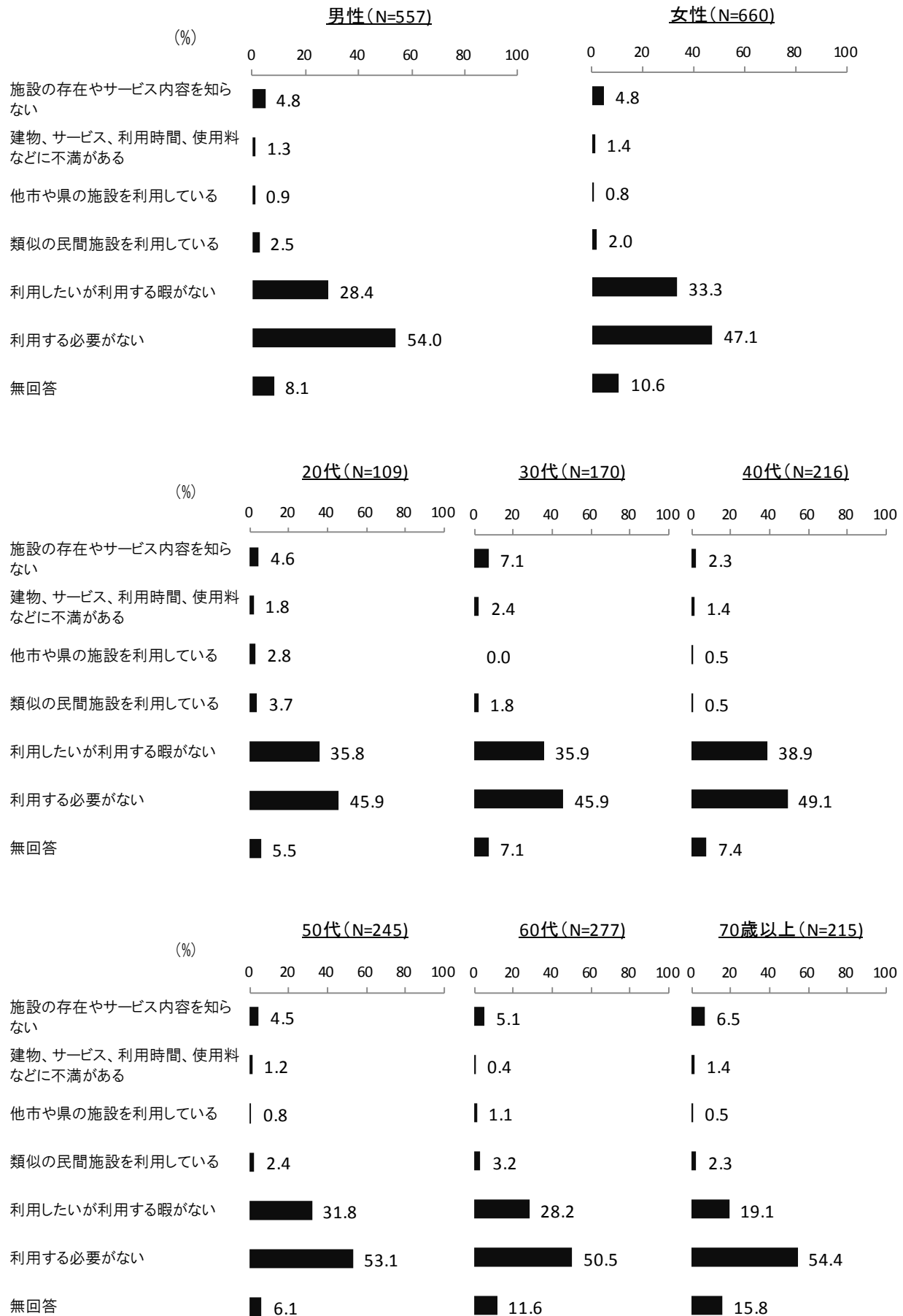
「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がある」が50.5%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」が31.0%と続く。

【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度

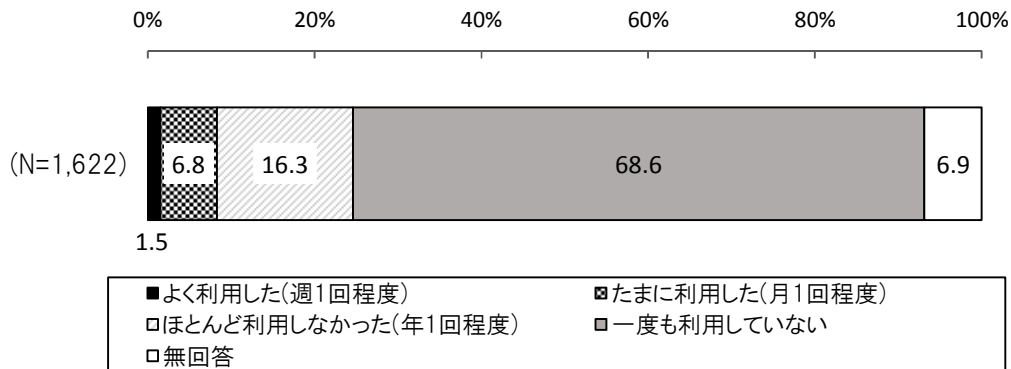


問2 利用しなかった理由



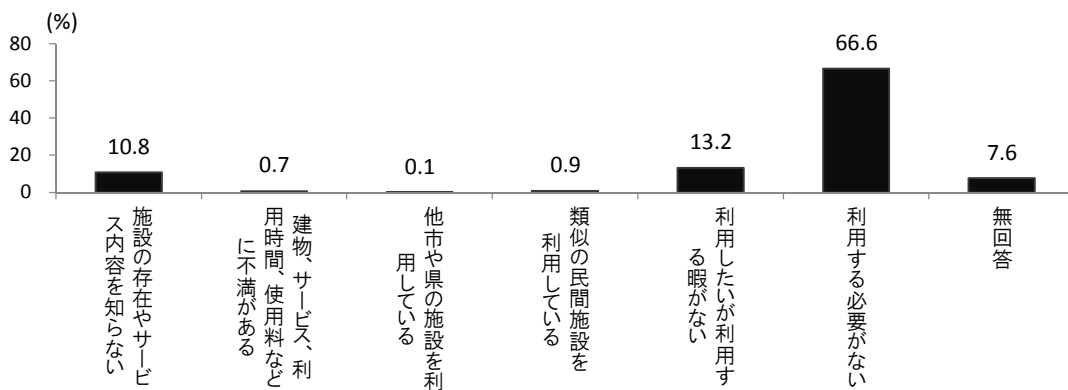
14) フィランセ

問1 1年間の利用頻度



(問1で「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」または「一度も利用していない」と回答した人)

問2 利用しなかった理由 (N=1,376)

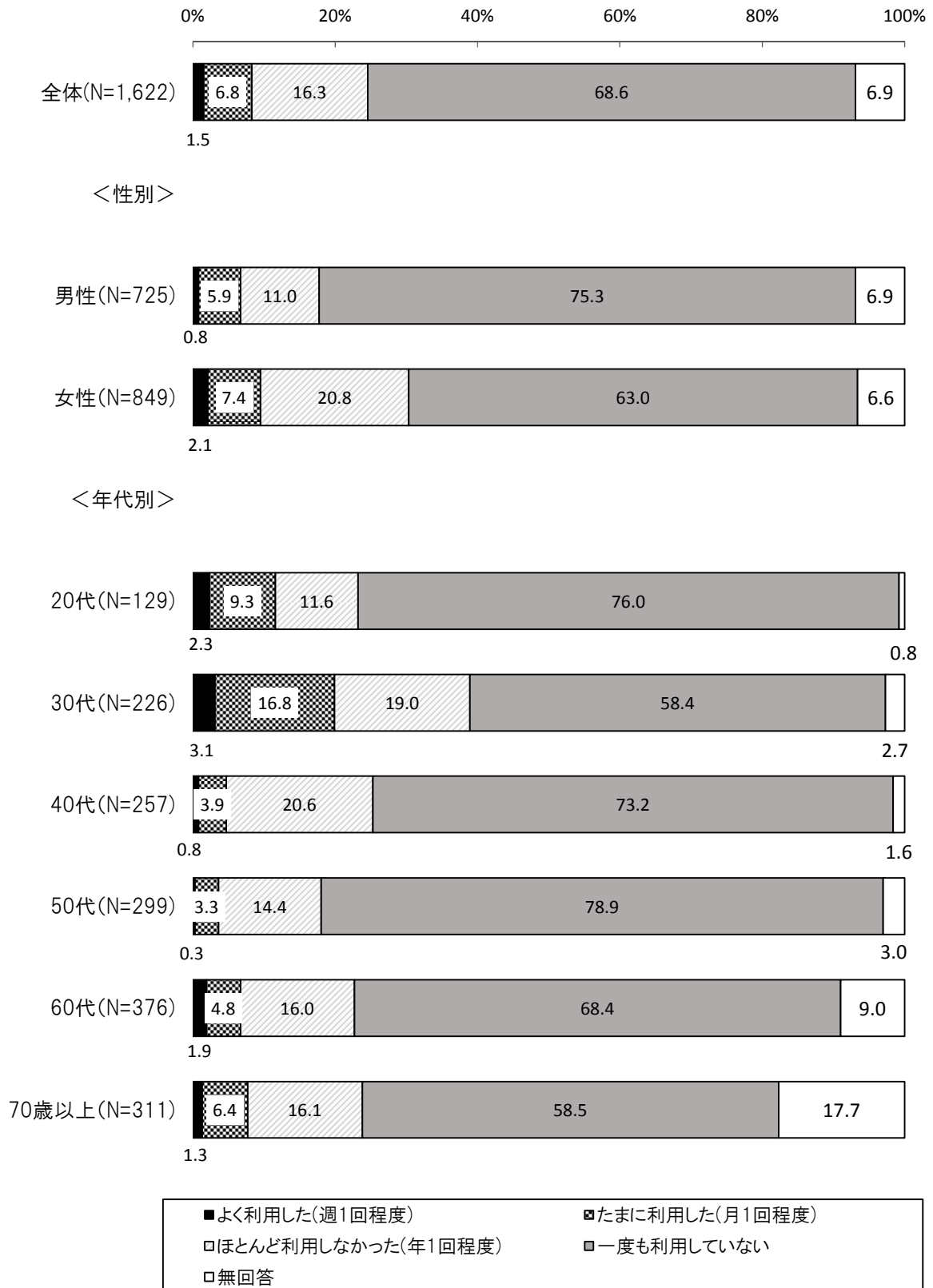


「フィランセ」の1年間の利用頻度は、「よく利用した」が1.5%、「たまに利用した」が6.8%となっている。性別で見ると、「ほとんど利用しなかった(年1回程度)」を含む利用経験者の割合は、男性で17.7%、女性で30.3%と、女性が高くなっている。年代別では、「よく利用した」と「たまに利用した」を合わせた割合で見ると、30代ではおよそ2割を占めており、他の年代と比べて高くなっている。

「ほとんど利用しなかった」または「一度も利用しなかった」と回答した人に利用しなかった理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」が66.6%で最も高く、次いで「利用したいが利用する暇がない」が13.2%、「施設の内容を知らない」が10.8%と続く。

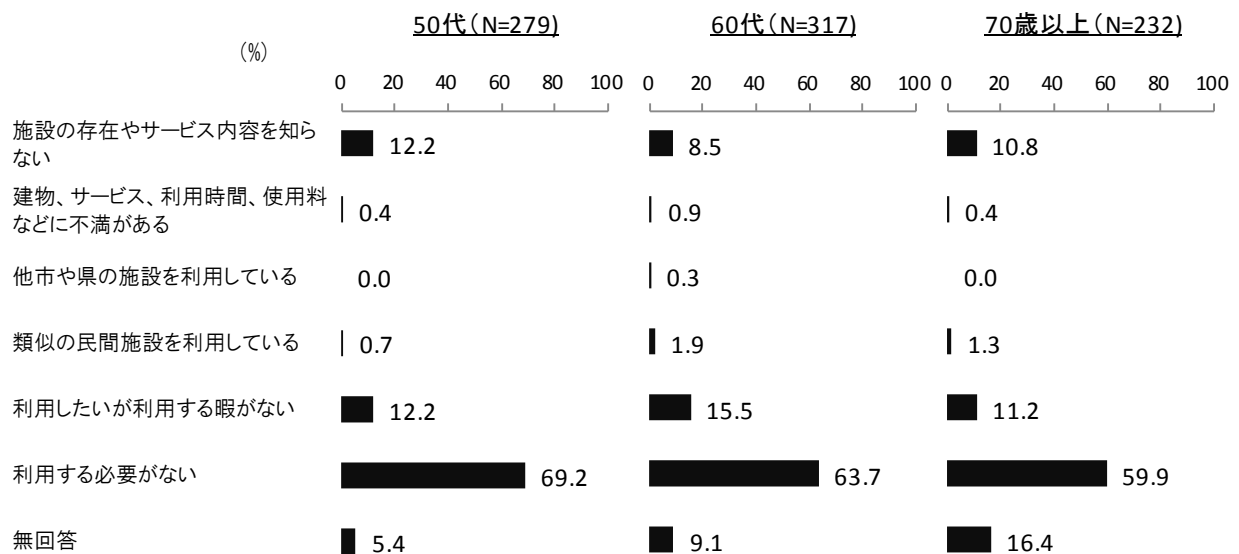
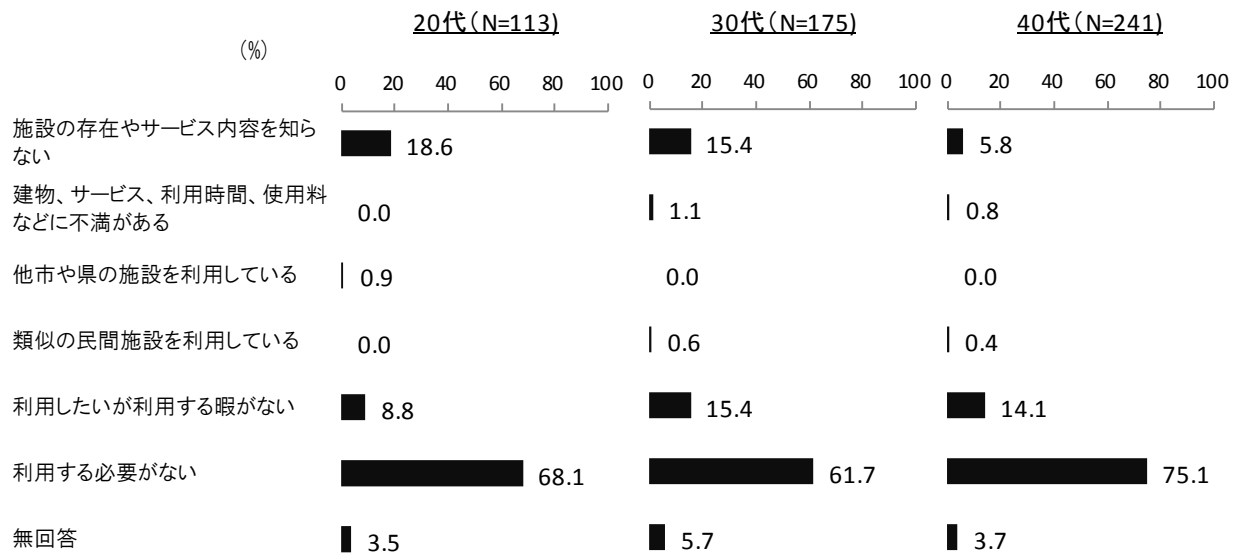
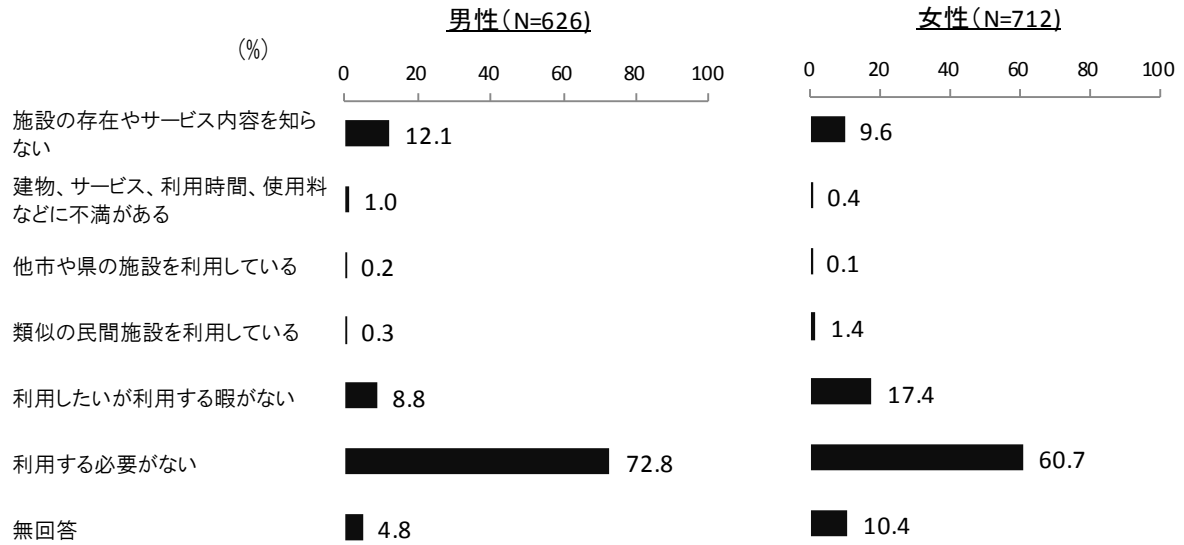
【性別・年代別】

問1 1年間の利用頻度



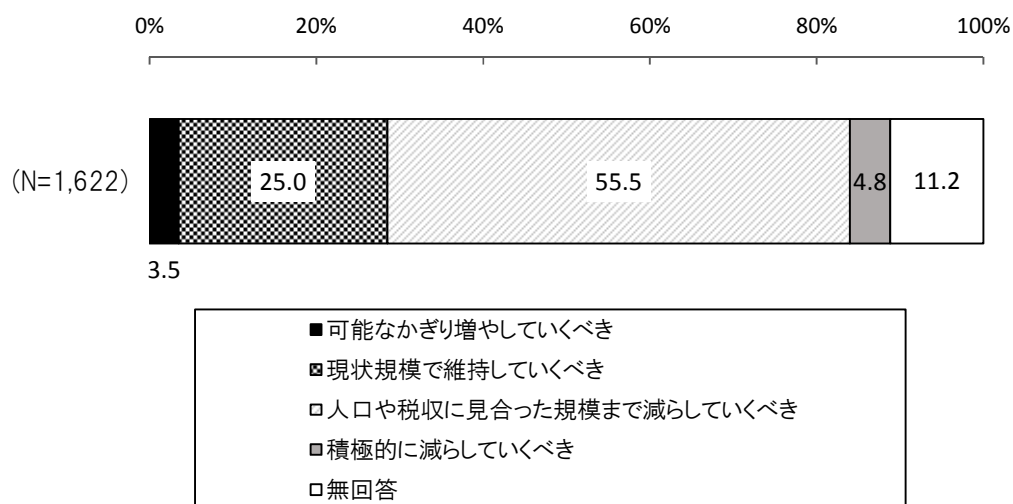
IV 調査結果

問2 利用しなかった理由



(2) 今後の公共施設のあり方について

問3 今後、市の公共施設を現在の規模で維持していくためには、毎年約16億円の予算が不足すると見込まれます。また、少子高齢化などにより財政規模は縮小していくと考えられます。このような状況下で、「公共建築物」という観点（施設の数、面積など）でみた場合、今後の公共施設のあり方について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）



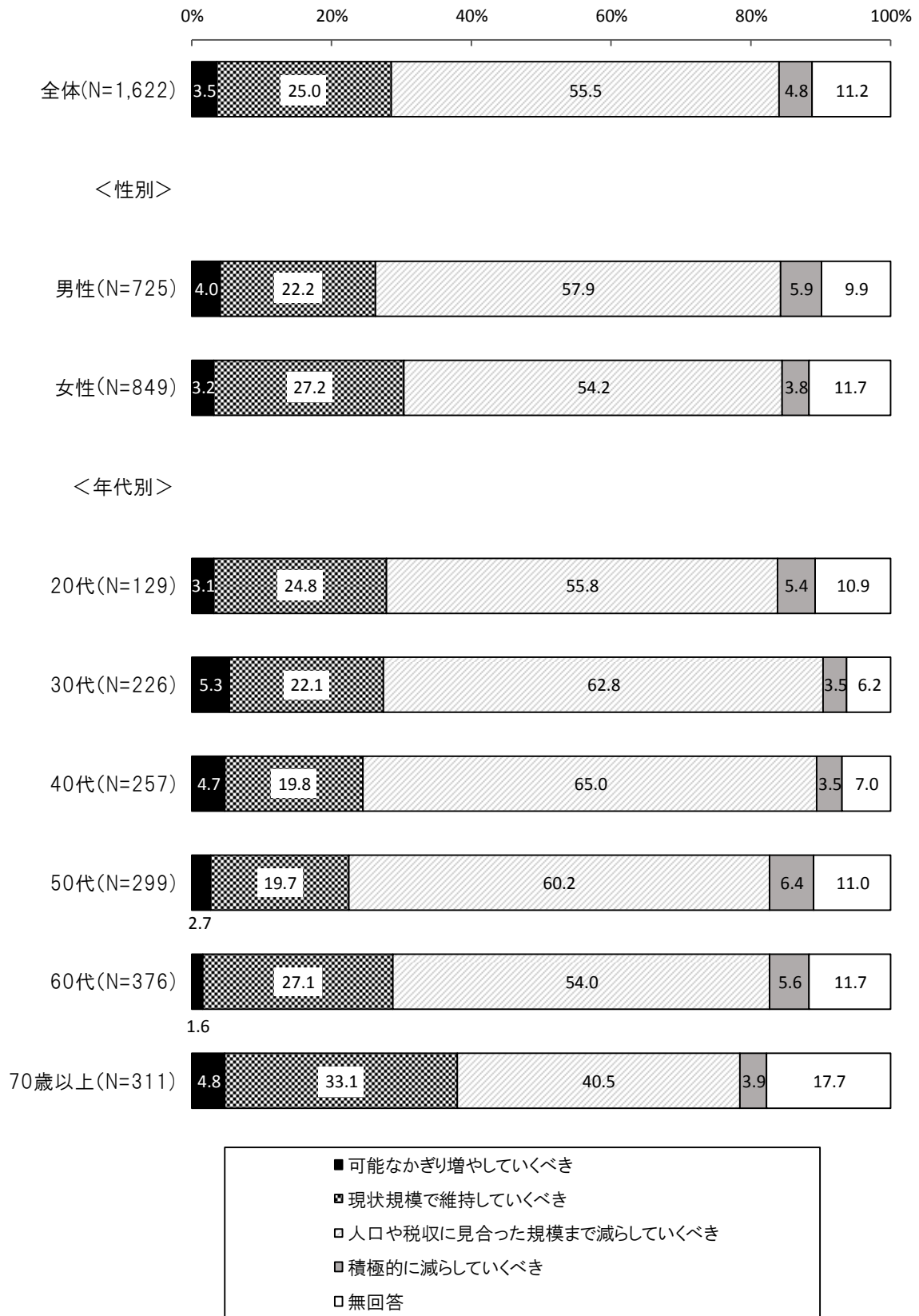
今後の公共施設のあり方について尋ねたところ、「可能なかぎり増やしていくべき」が3.5%、「現状規模で維持していくべき」が25.0%、「人口や税収に見合った規模まで減らしていくべき」が55.5%、「積極的に減らしていくべき」が4.8%となっている。

男女間で大きな差はみられない。

年代別でみると、60代及び70歳以上において「現状規模で維持していくべき」が3割程度と、他の年代と比べてやや高めとなっているものの、いずれの年代も「人口や税収に見合った規模まで減らしていくべき」が多数を占めている。

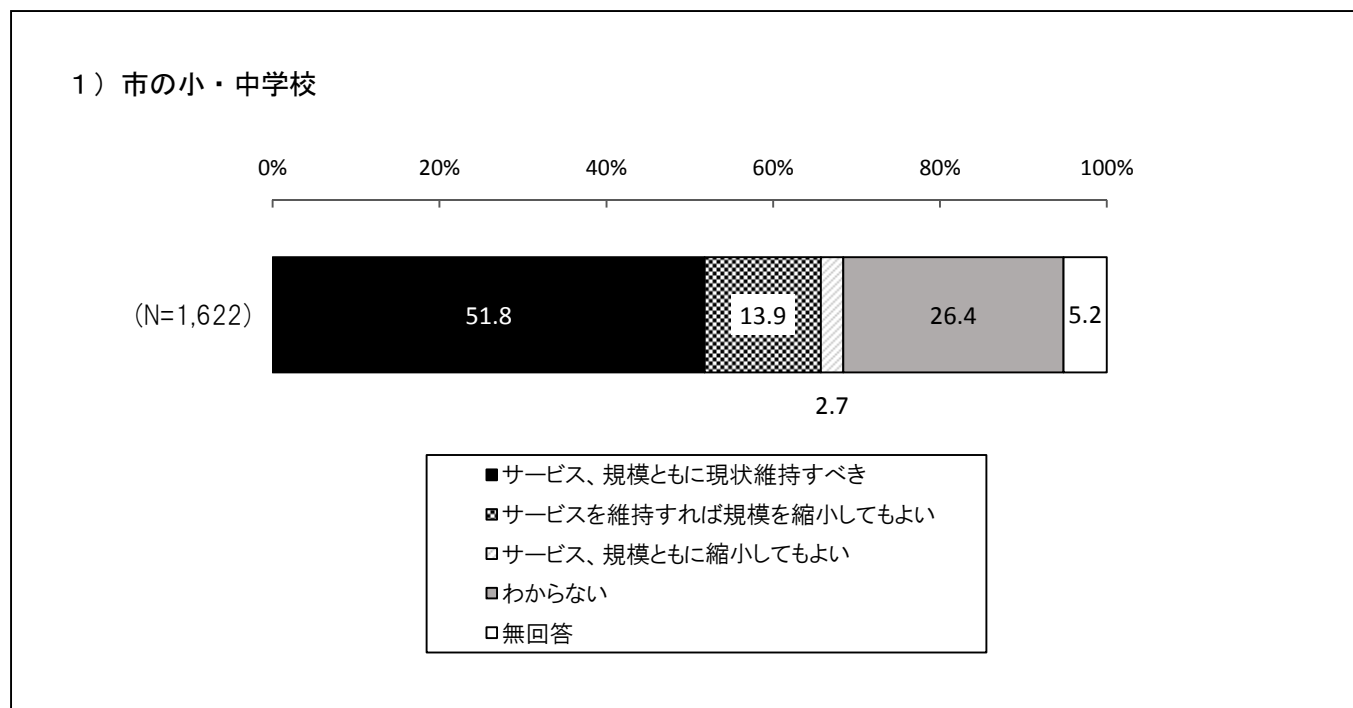
IV 調査結果

【性別・年代別】



(3) 市の公共施設の今後の必要性について

問4 今ある公共施設の今後の必要性について、どのように思いますか。
それぞれの施設についてお答えください。



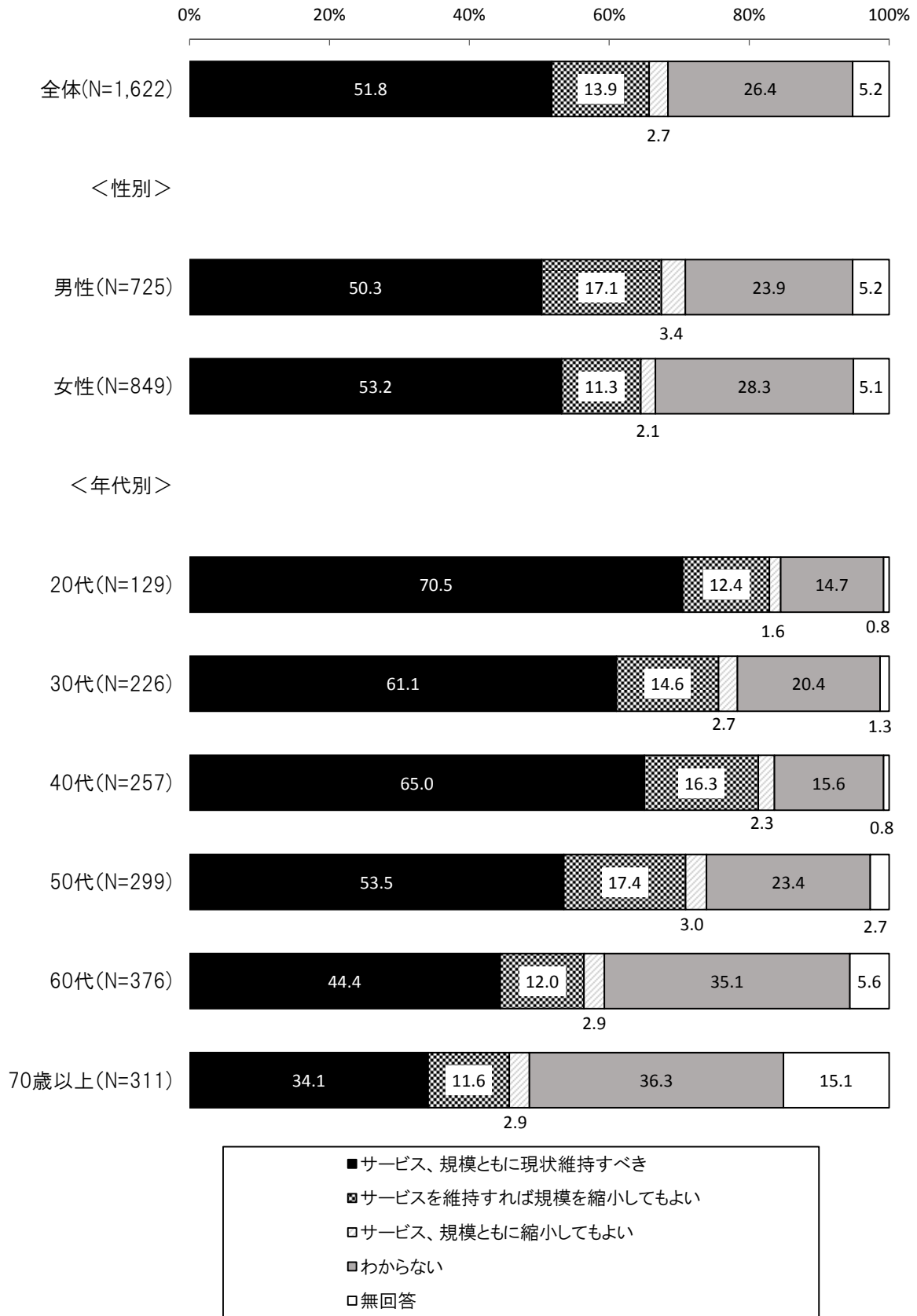
「市の小・中学校」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が51.8%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が13.9%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が2.7%となっている。

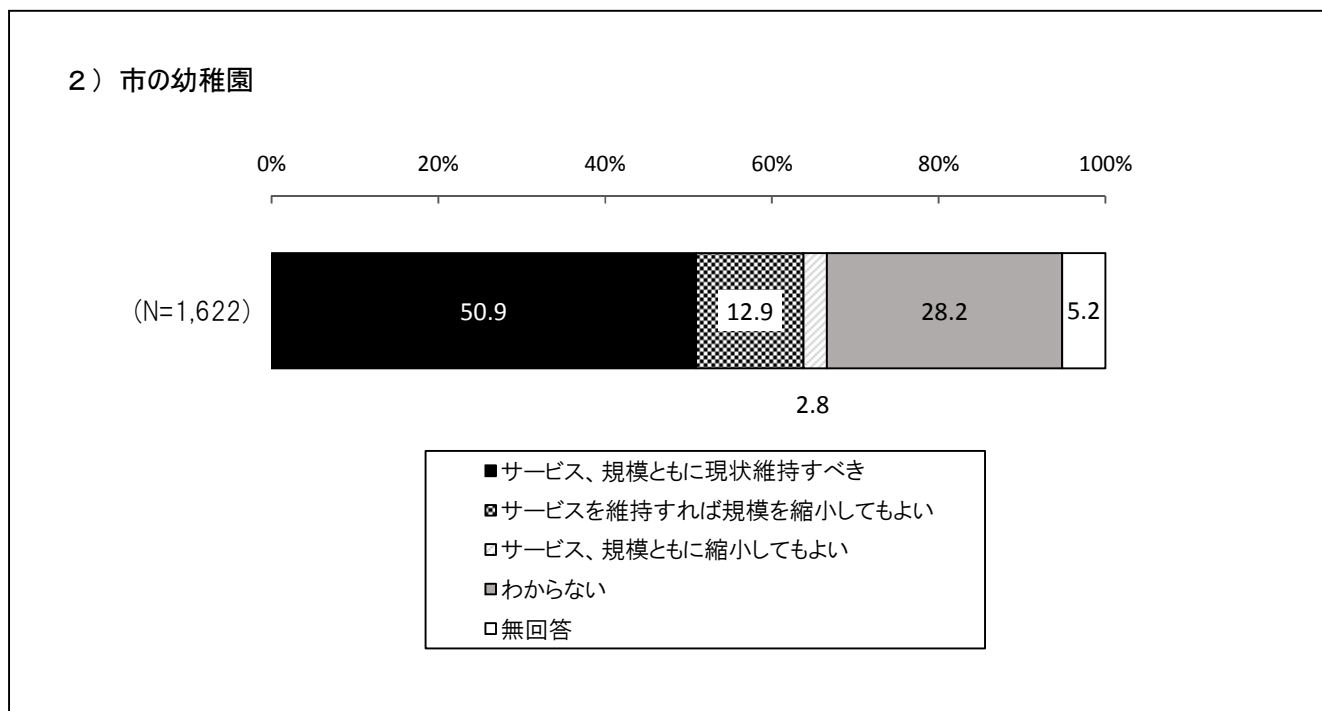
男女間で大きな差はみられない。

年代別で見ると、年代が低くなるほど「サービス、規模ともに現状維持すべき」の割合が高くなっており、40代以下では6割以上となっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





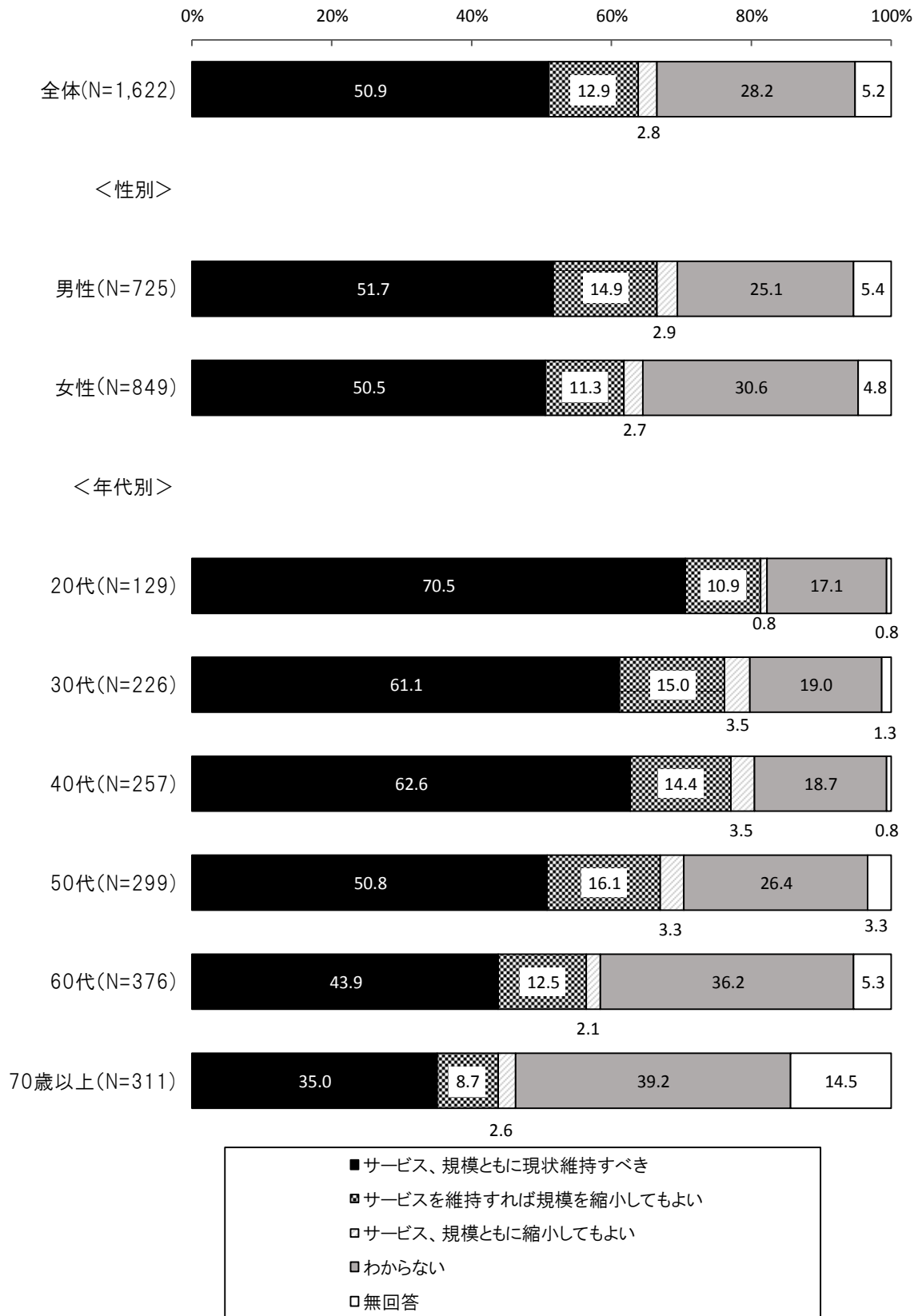
「市の幼稚園」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が50.9%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が12.9%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が2.8%となっている。

男女間で大きな差はみられない。

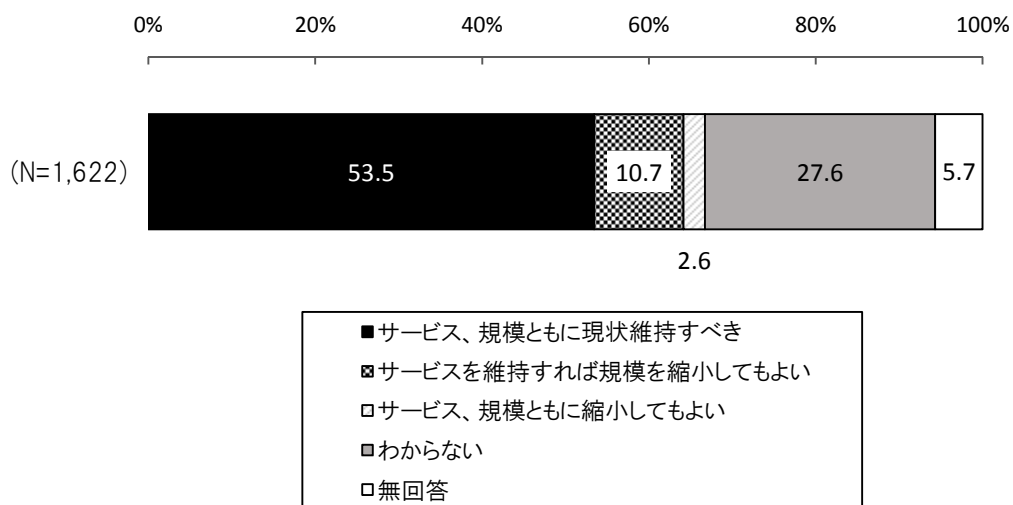
年代別で見ると、年代が低くなるほど「サービス、規模ともに現状維持すべき」の割合が高くなっており、40代以下では6割以上となっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



3) 市の保育園



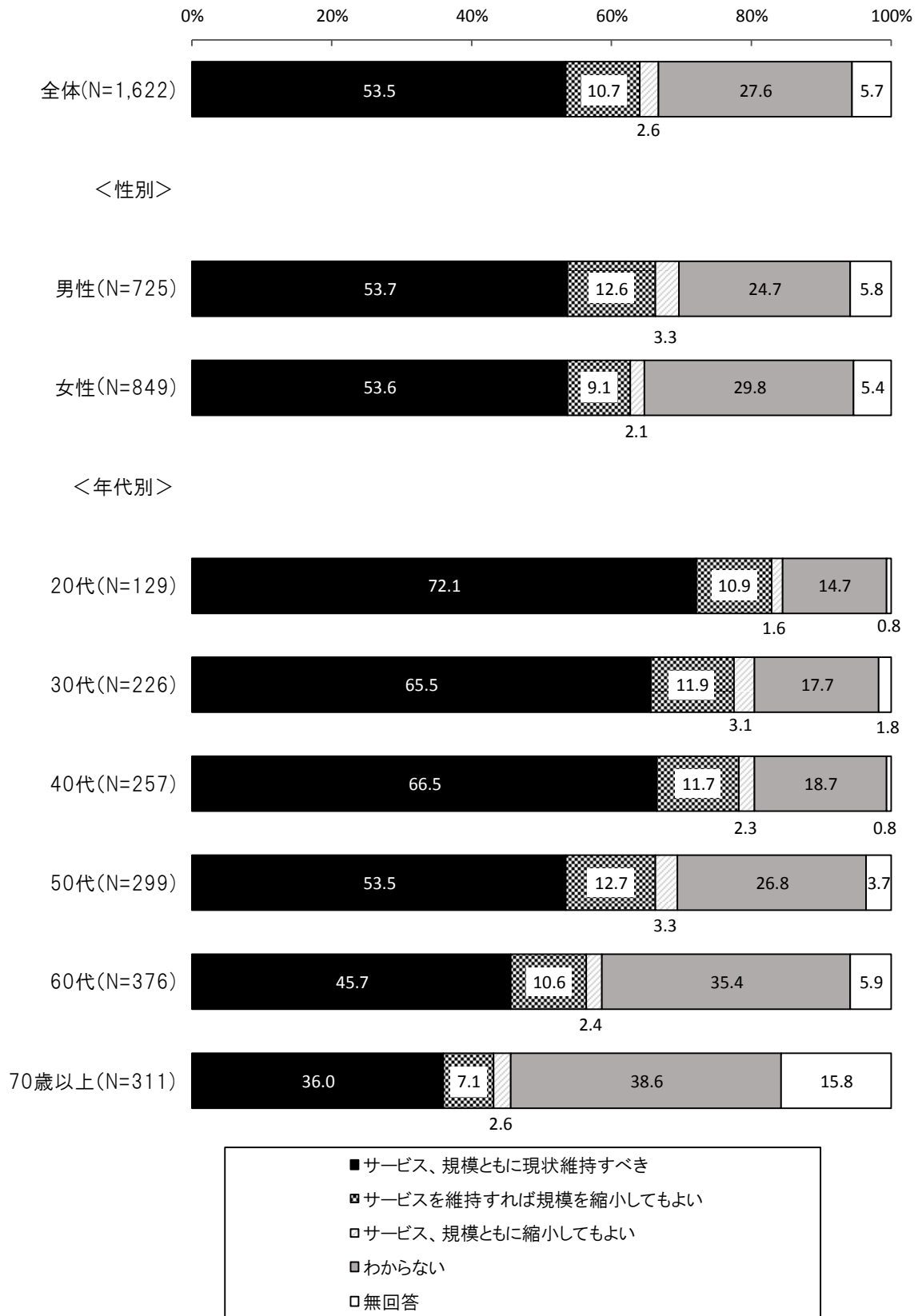
「市の保育園」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が53.5%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が10.7%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が2.6%となっている。

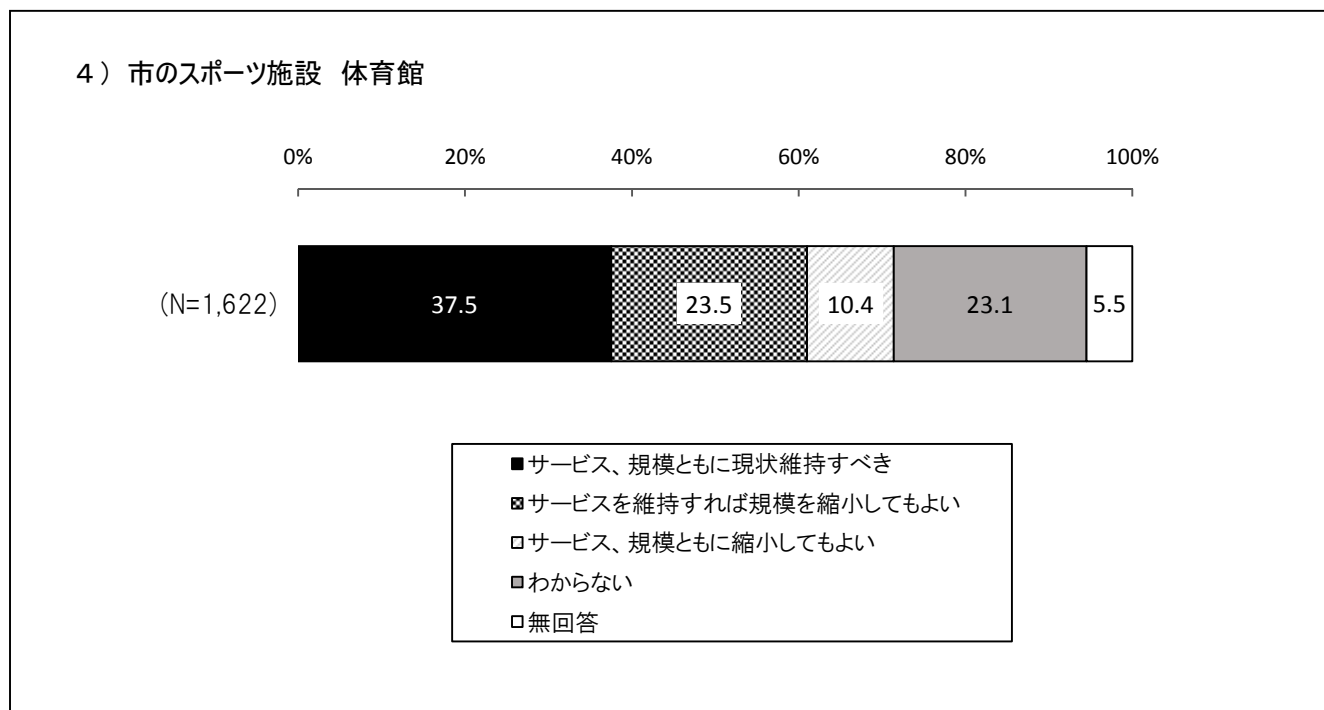
男女間で大きな差はみられない。

年代別で見ると、年代が低くなるほど「サービス、規模ともに現状維持すべき」の割合が高くなっており、40代以下では6割以上となっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





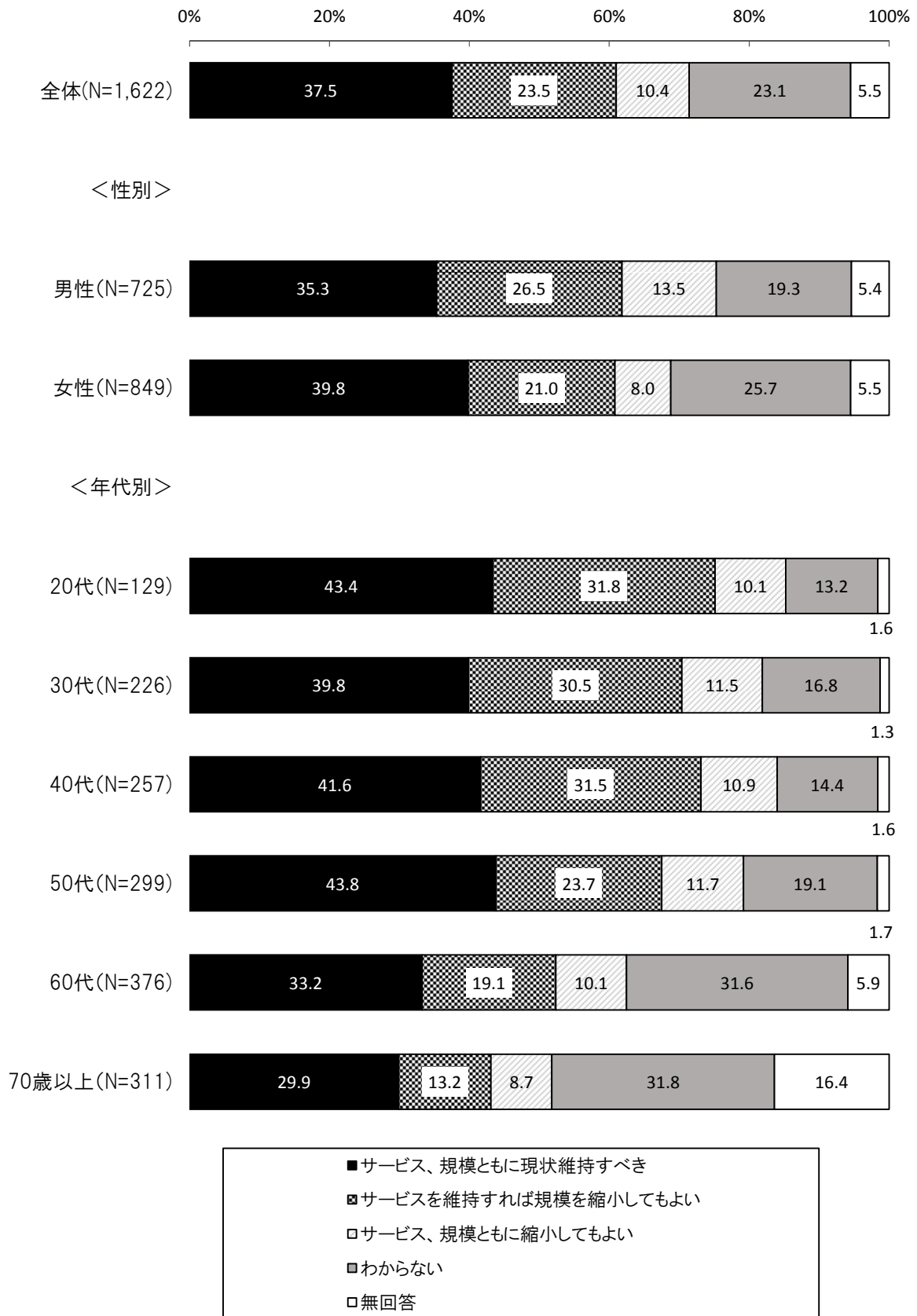
「市のスポーツ施設 体育館」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が37.5%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が23.5%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が10.4%となっている。

男女間で大きな差はみられない。

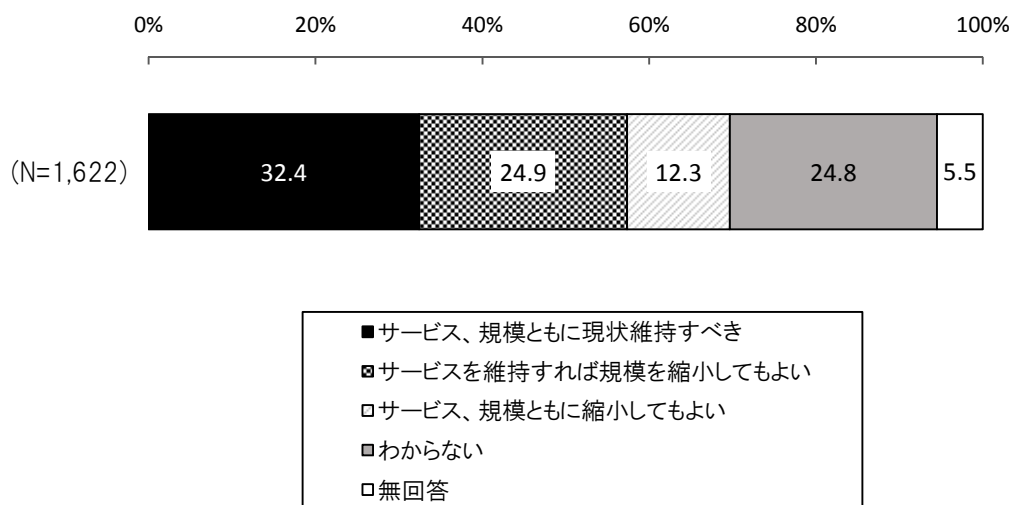
年代別で見ると、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めるが、20～40代では「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」も3割程度と高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



5) 市のスポーツ施設 温水プール



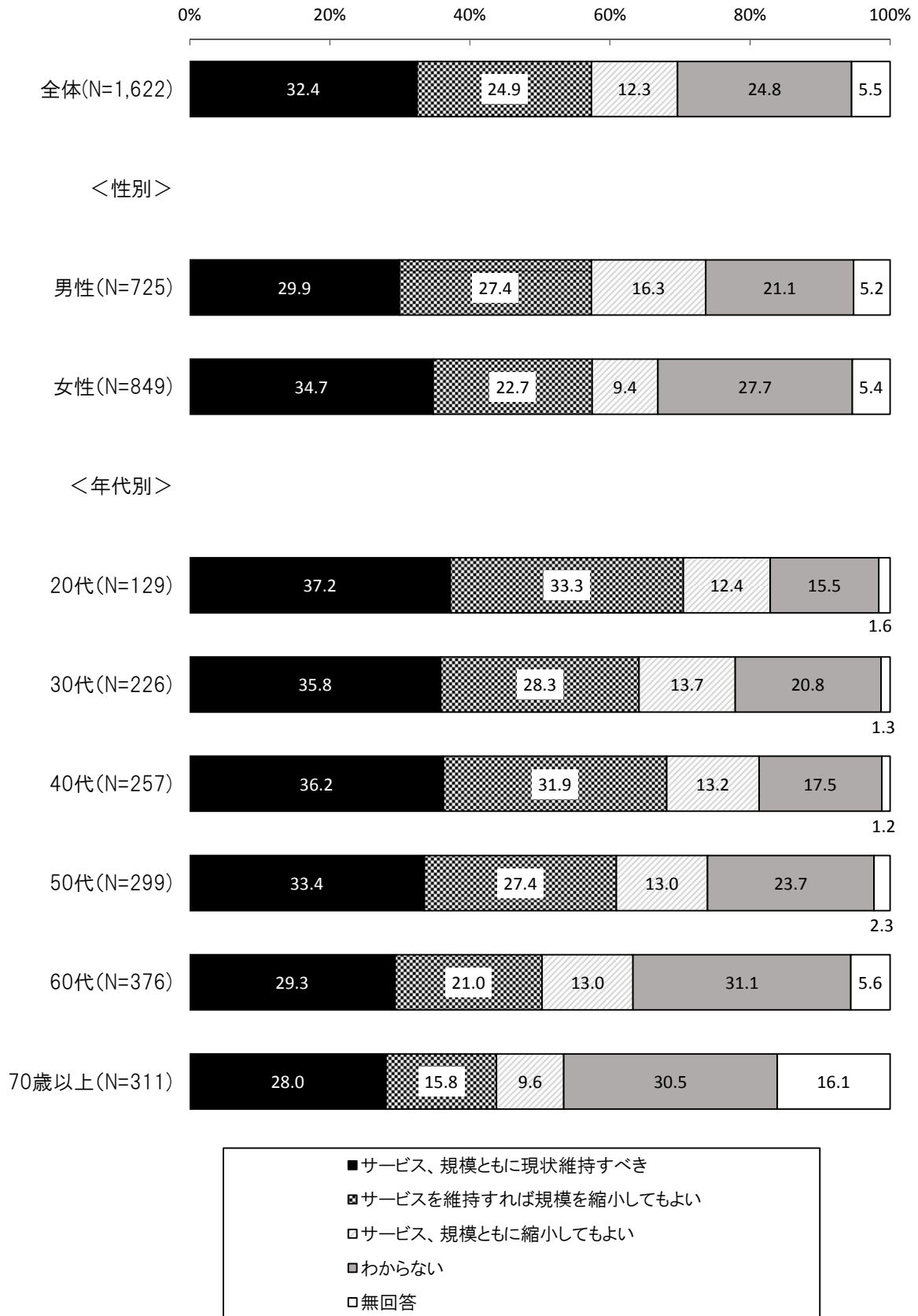
「市のスポーツ施設 温水プール」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が32.4%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が24.9%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が12.3%となっている。

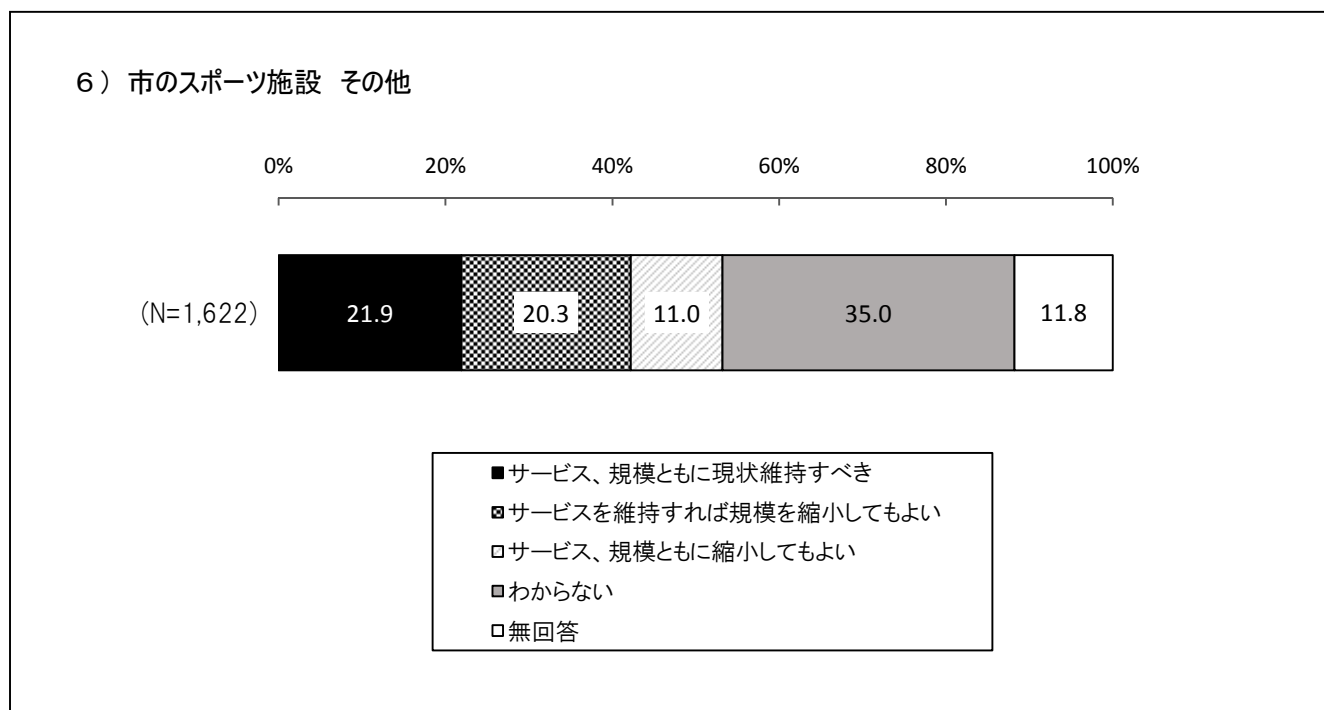
性別でみると「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で29.9%、女性で34.7%と、女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。一方、男性では「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」と「サービス、規模ともに縮小をしてもよい」を合わせると4割となる。

年代別でみると、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めるが、20～50代では「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」も3割程度と高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





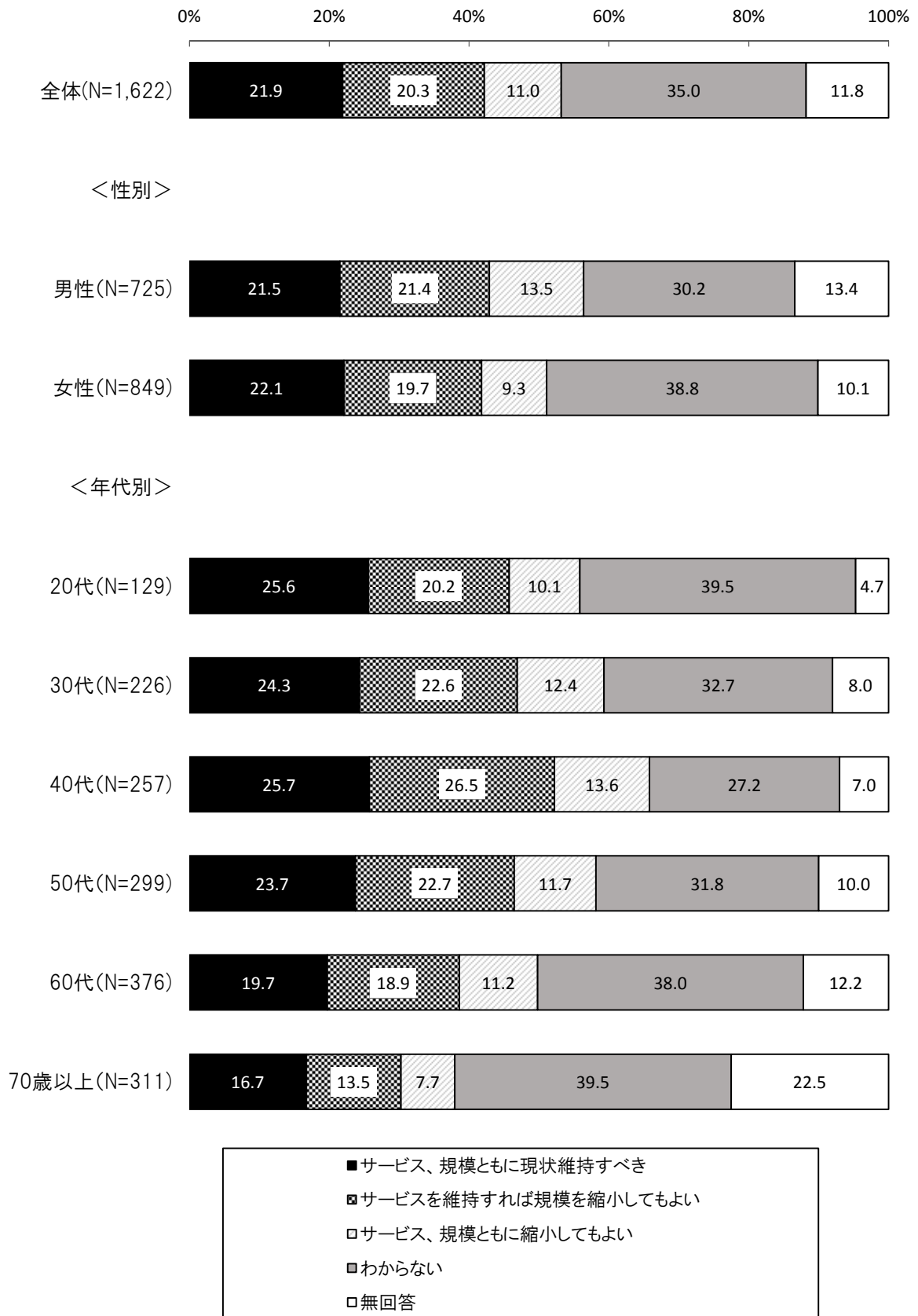
「市のスポーツ施設 その他」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が21.9%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が20.3%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が11.0%となっており、「サービス、規模ともに現状維持すべき」と「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が拮抗している。

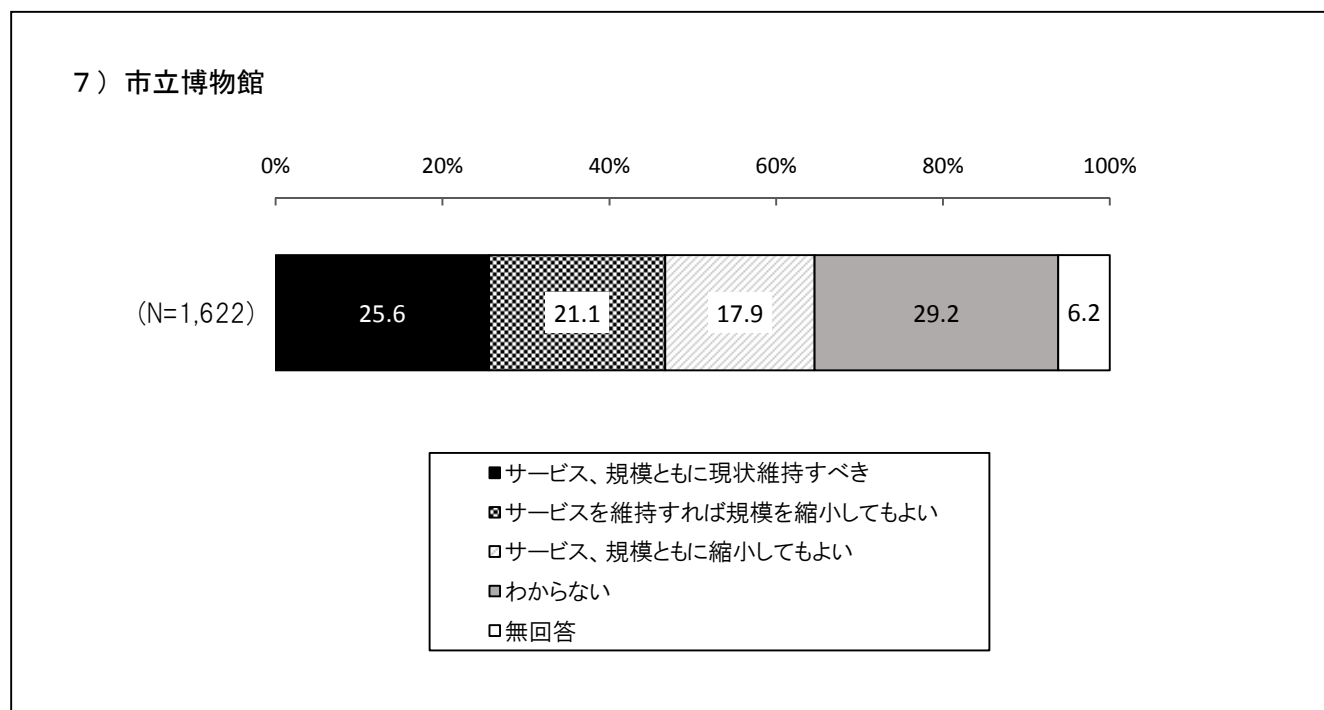
男女間では大きな差はみられない。

年代別でみると、40代においては「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が26.5%と、「サービス、規模ともに現状維持すべき」の25.7%をやや上回っている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





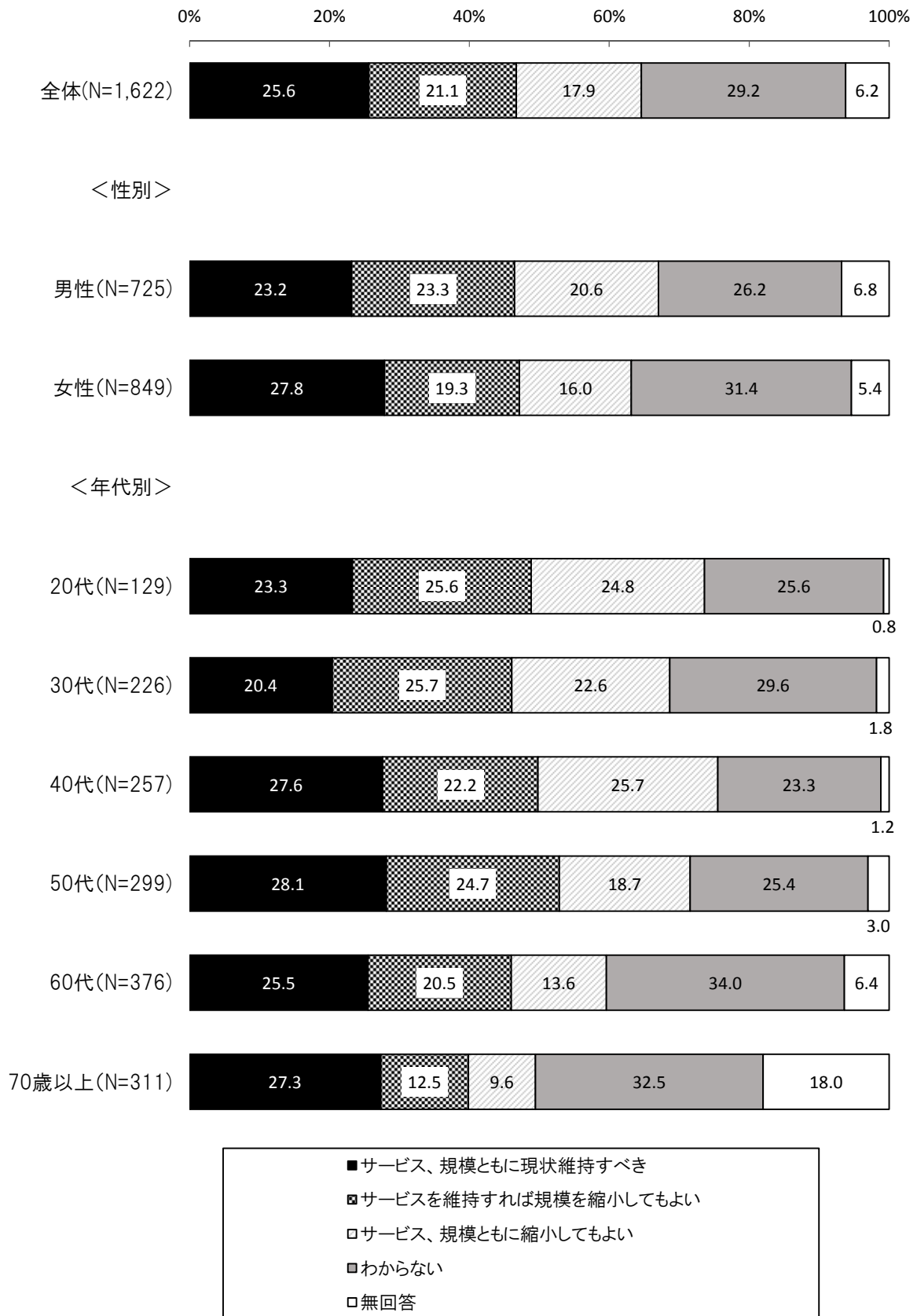
「市立博物館」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が25.6%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が21.1%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が17.9%となっている。

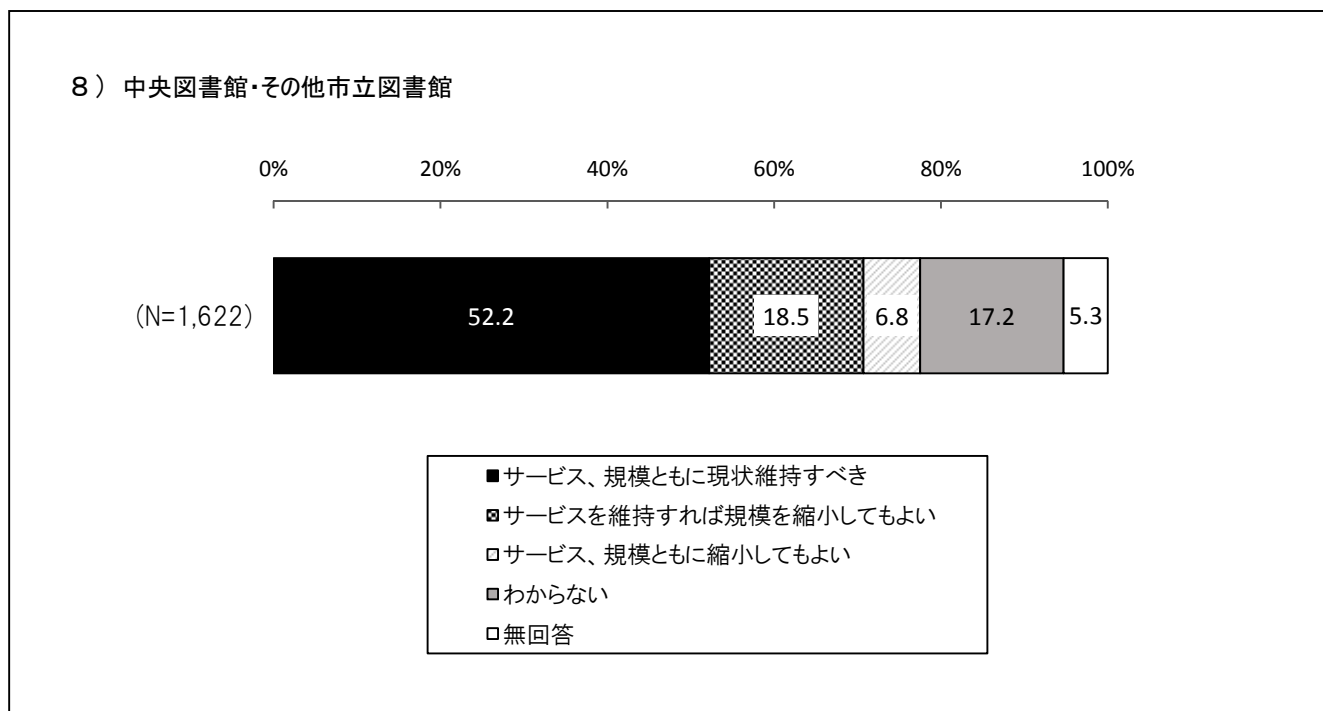
性別で見ると「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で23.2%、女性で27.8%と、女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。

年代別で見ると、40代以上においては「サービス、規模ともに現状維持すべき」が「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」や「サービス、規模ともに縮小してもよい」を上回っているが、30代以下では、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が低い割合になっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





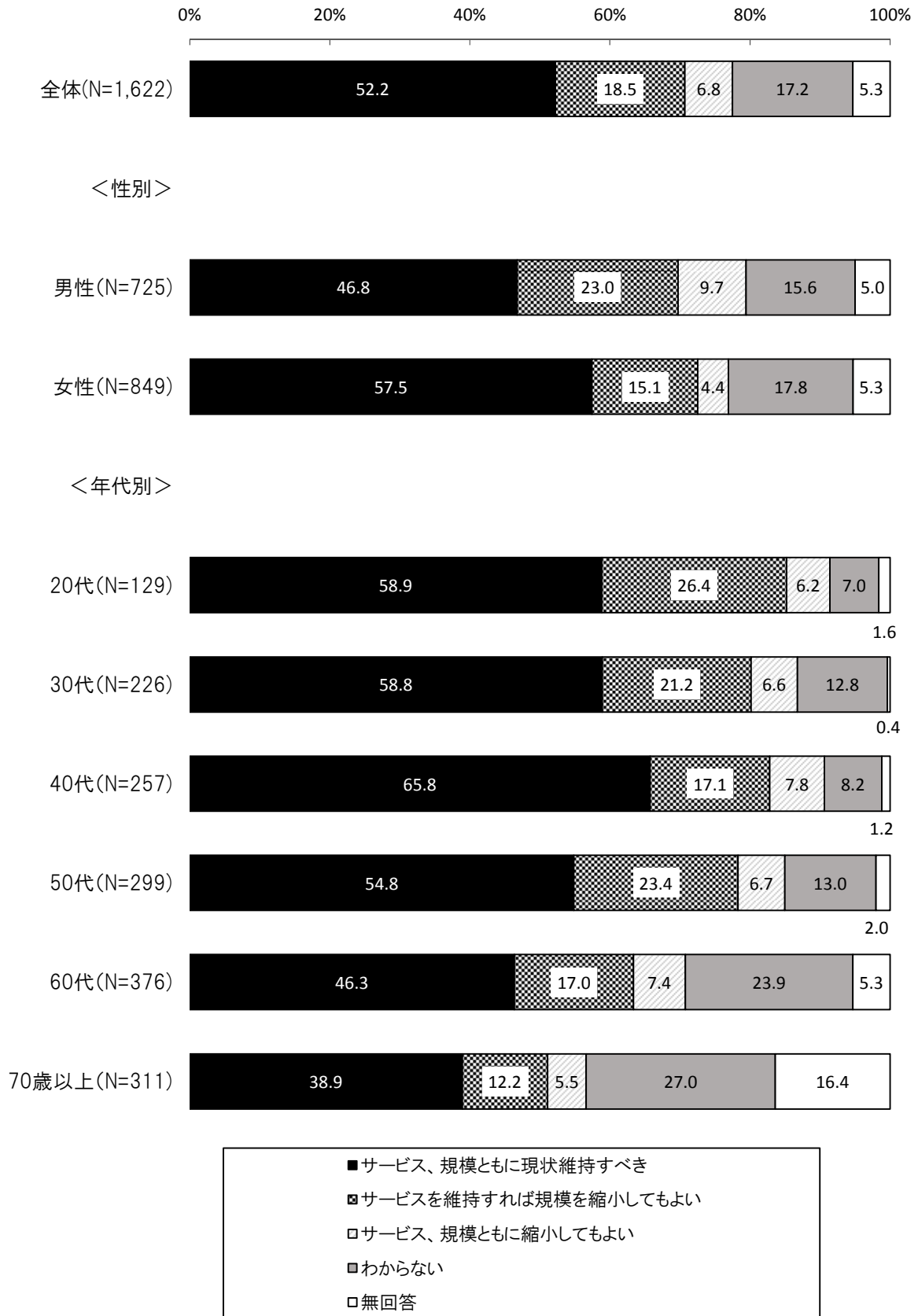
「中央図書館・その他の市立図書館」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が52.2%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が18.5%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が6.8%となっている。

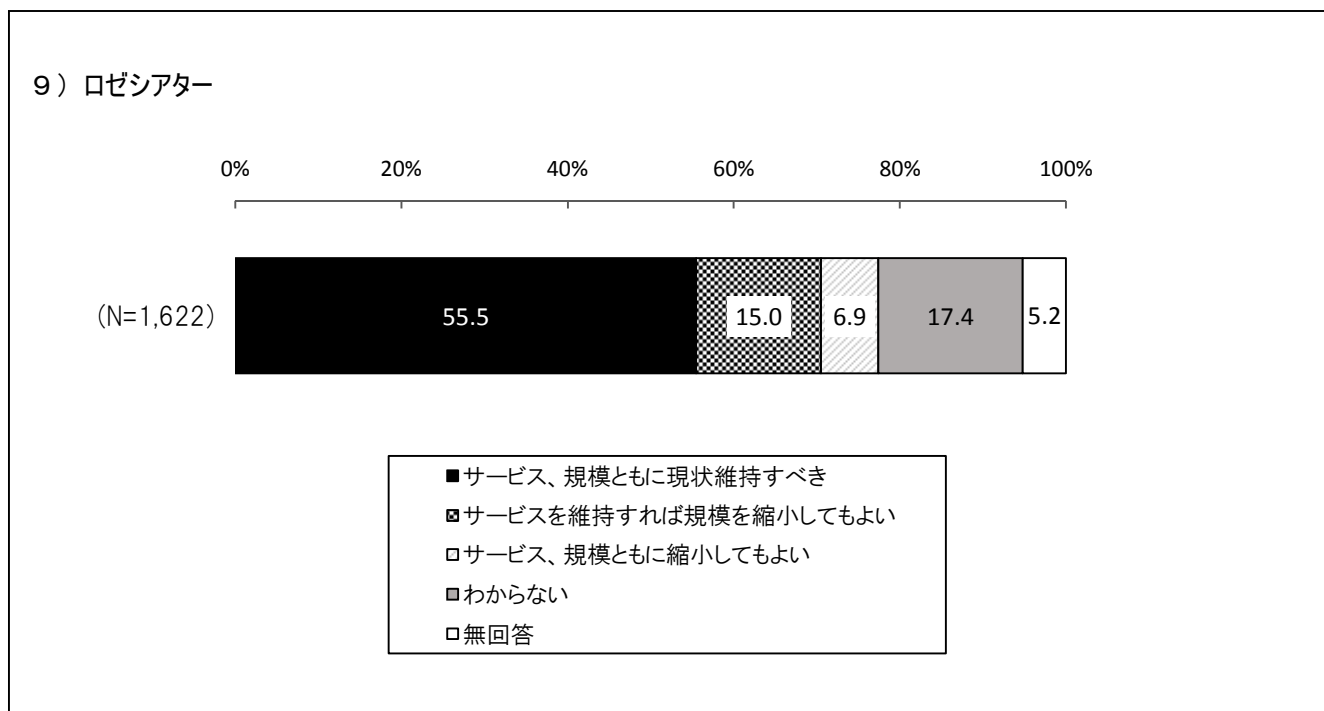
性別で見ると「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で46.8%、女性で57.5%と、女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。

年代別では、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





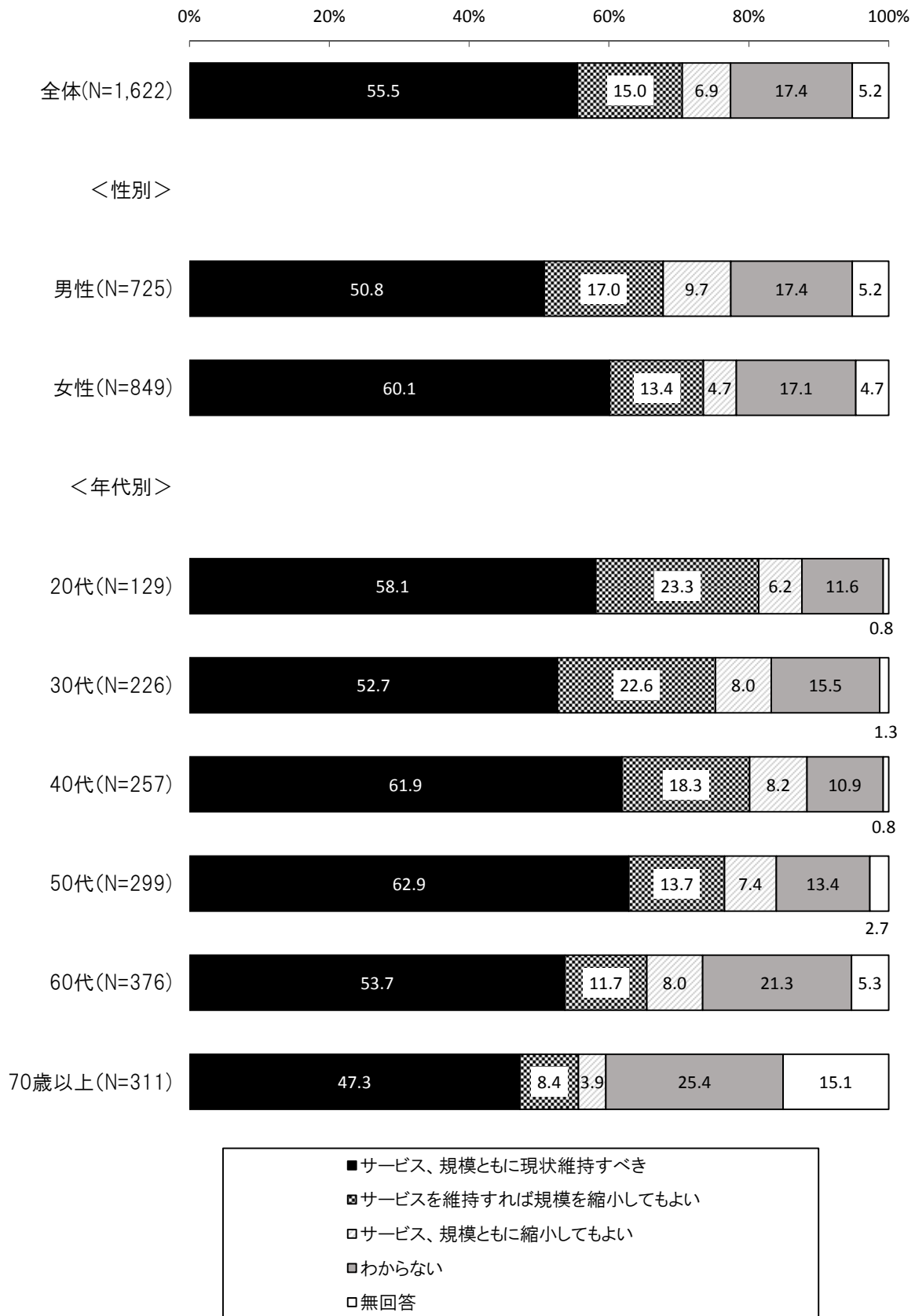
「ロゼシアター」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が 55.5%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が 15.0%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が 6.9%となっている。

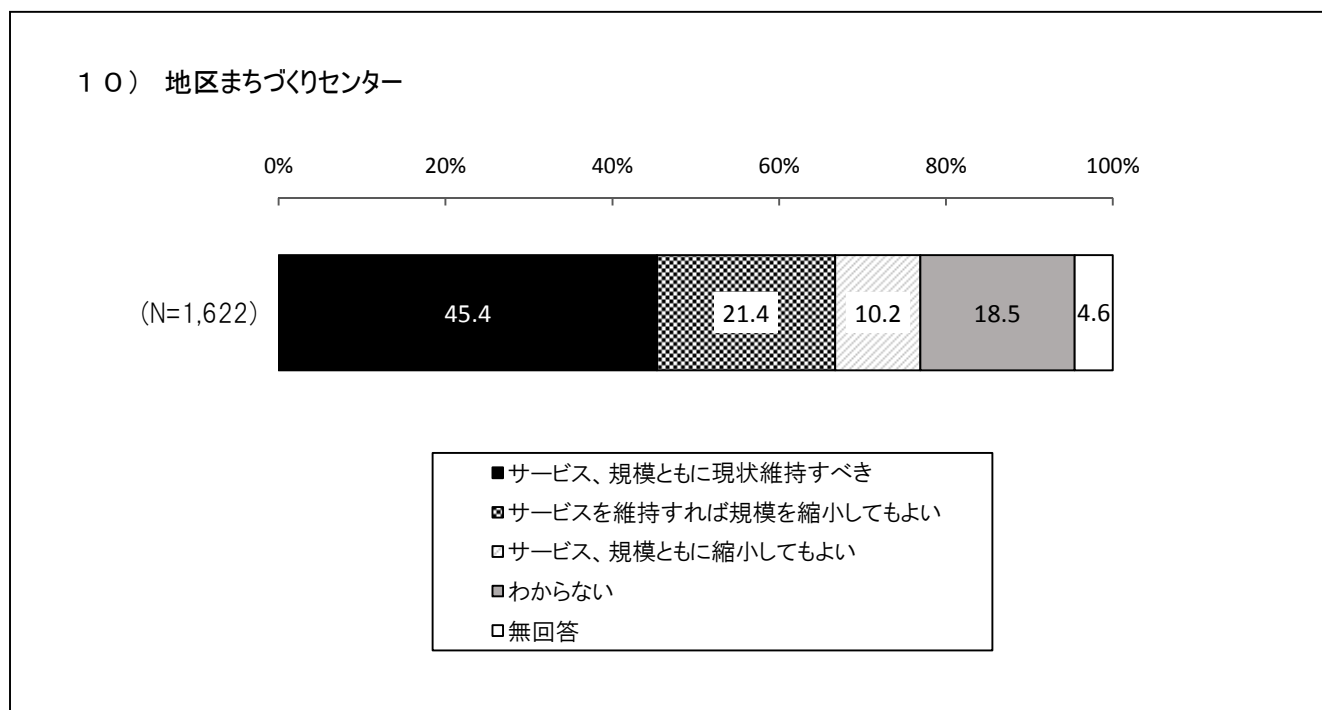
性別で見ると「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で 50.8%、女性で 60.1%と、女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。

年代別では、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





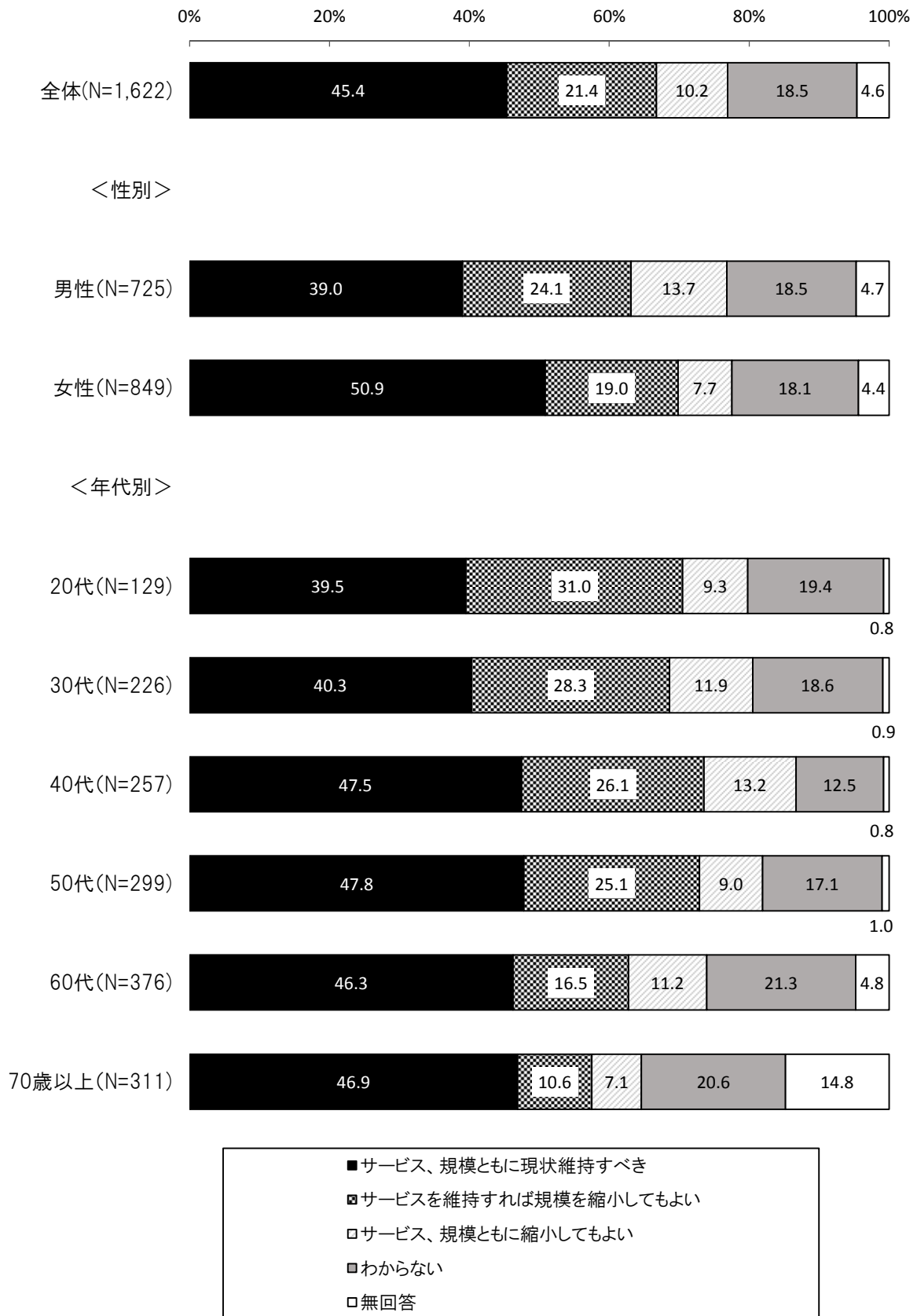
「地区まちづくりセンター」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が45.4%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が21.4%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が10.2%となっている。

性別で見ると「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で39.0%、女性で50.9%と、女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。

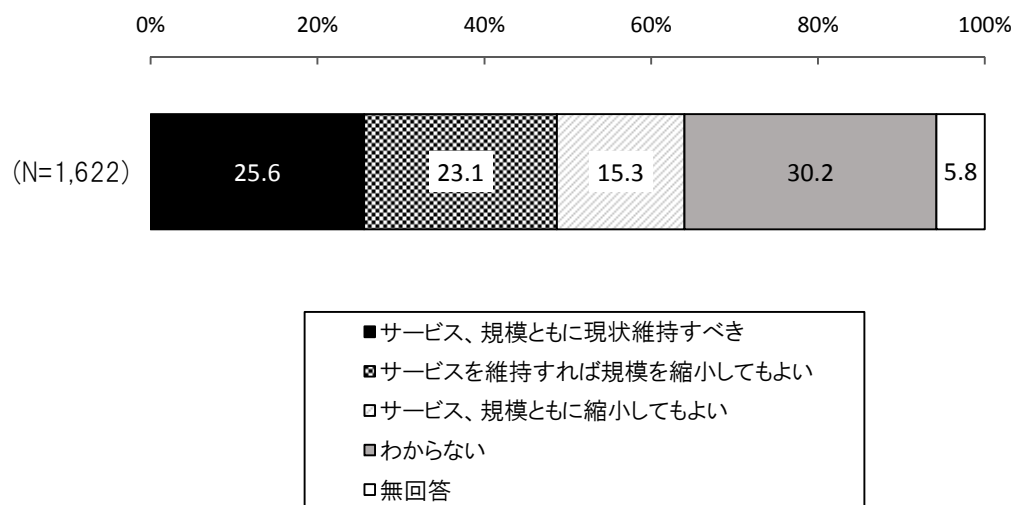
年代別では、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めているものの、20～50代では「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」も3割程度と高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



11) 交流プラザ



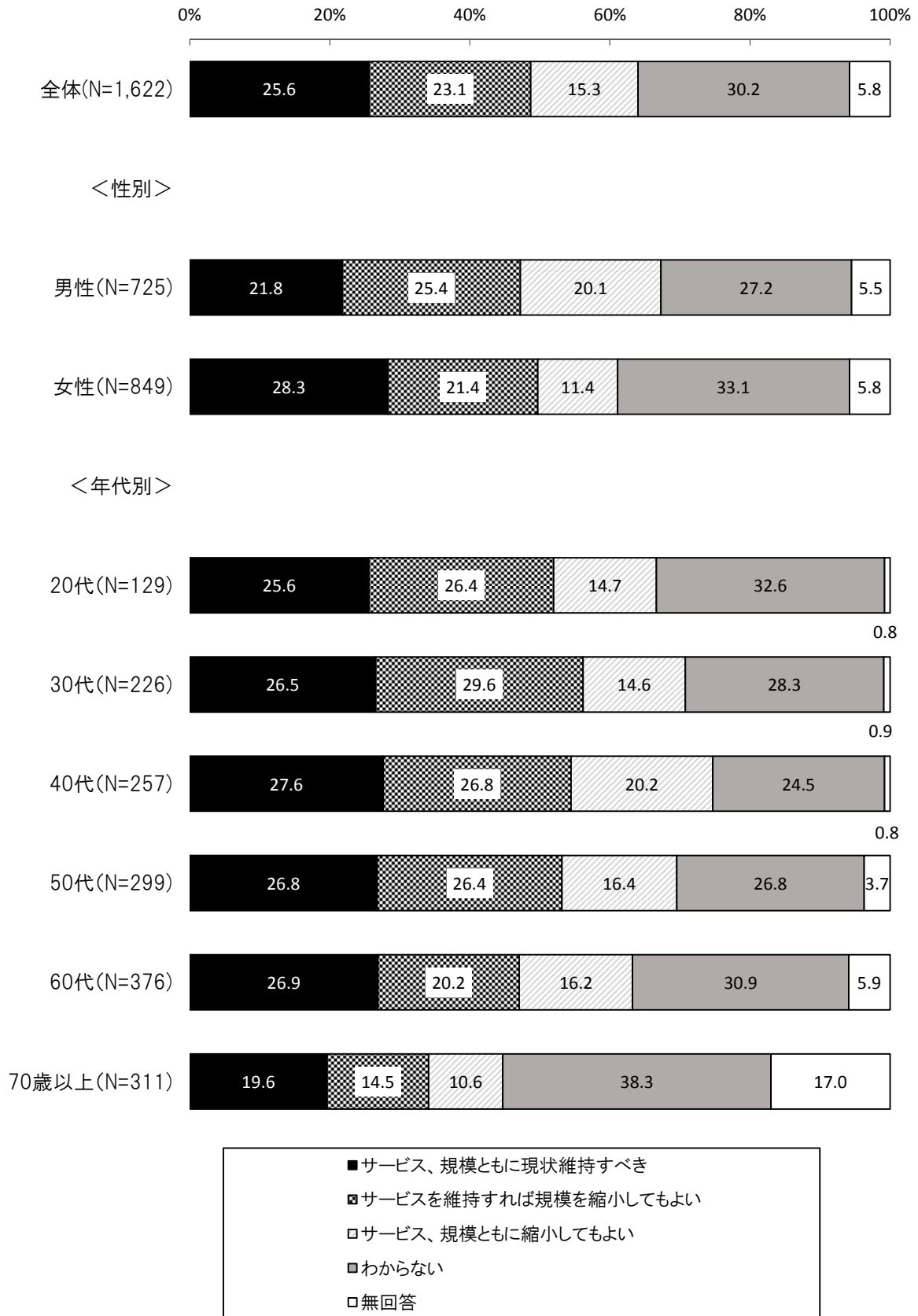
「交流プラザ」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が25.6%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が23.1%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が15.3%となっており、「サービス、規模ともに現状維持すべき」と「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が拮抗している。

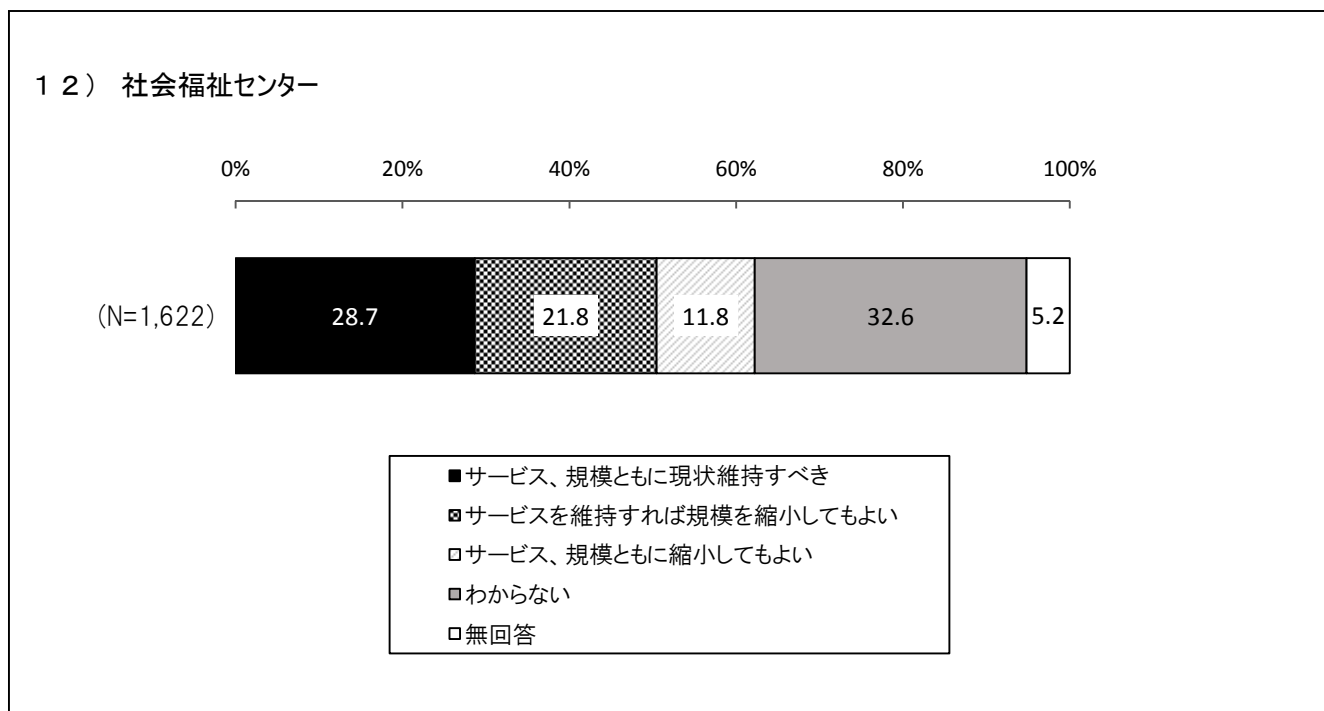
性別で見ると、男性においては「サービス、規模ともに現状維持すべき」が21.8%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が25.4%と後者がやや上回っている。女性では「サービス、規模ともに現状維持すべき」が28.3%と、現状維持を希望する割合が高くなっている。

年代別では、20～50代では「サービス、規模ともに現状維持すべき」と「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」がほぼ拮抗している。

IV 調査結果

【性別・年代別】



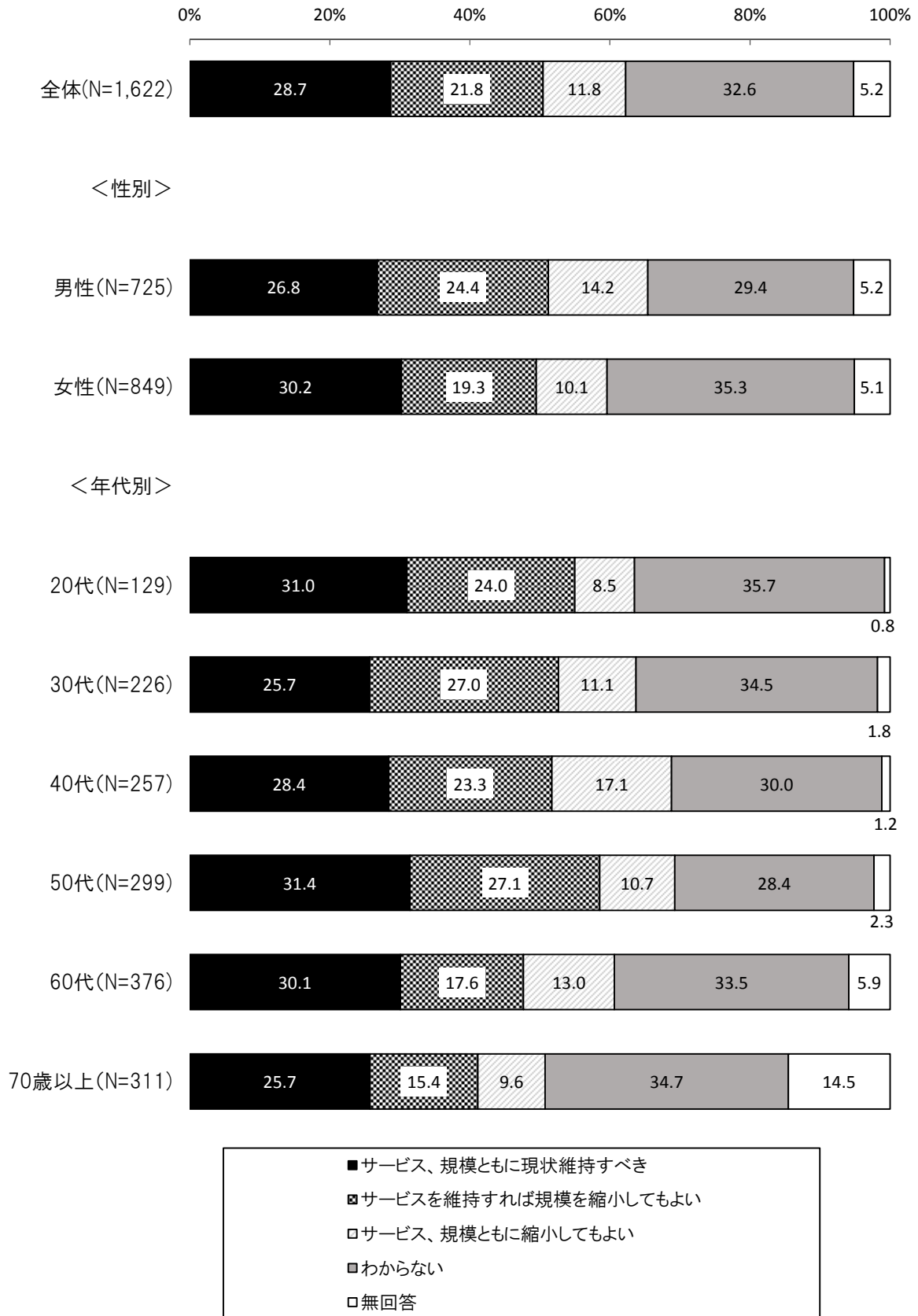


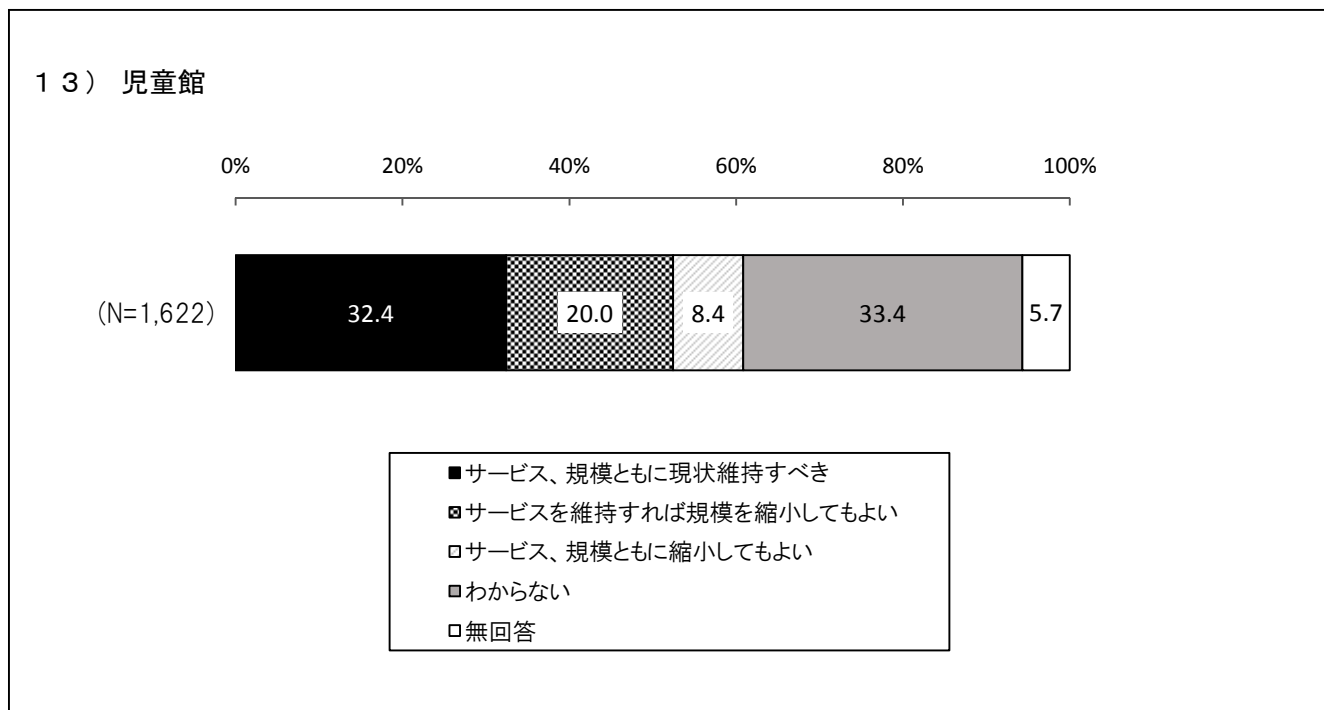
「社会福祉センター」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が28.7%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が21.8%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が11.8%となっている。

男女間及び年代間で大きな差はみられない。

IV 調査結果

【性別・年代別】





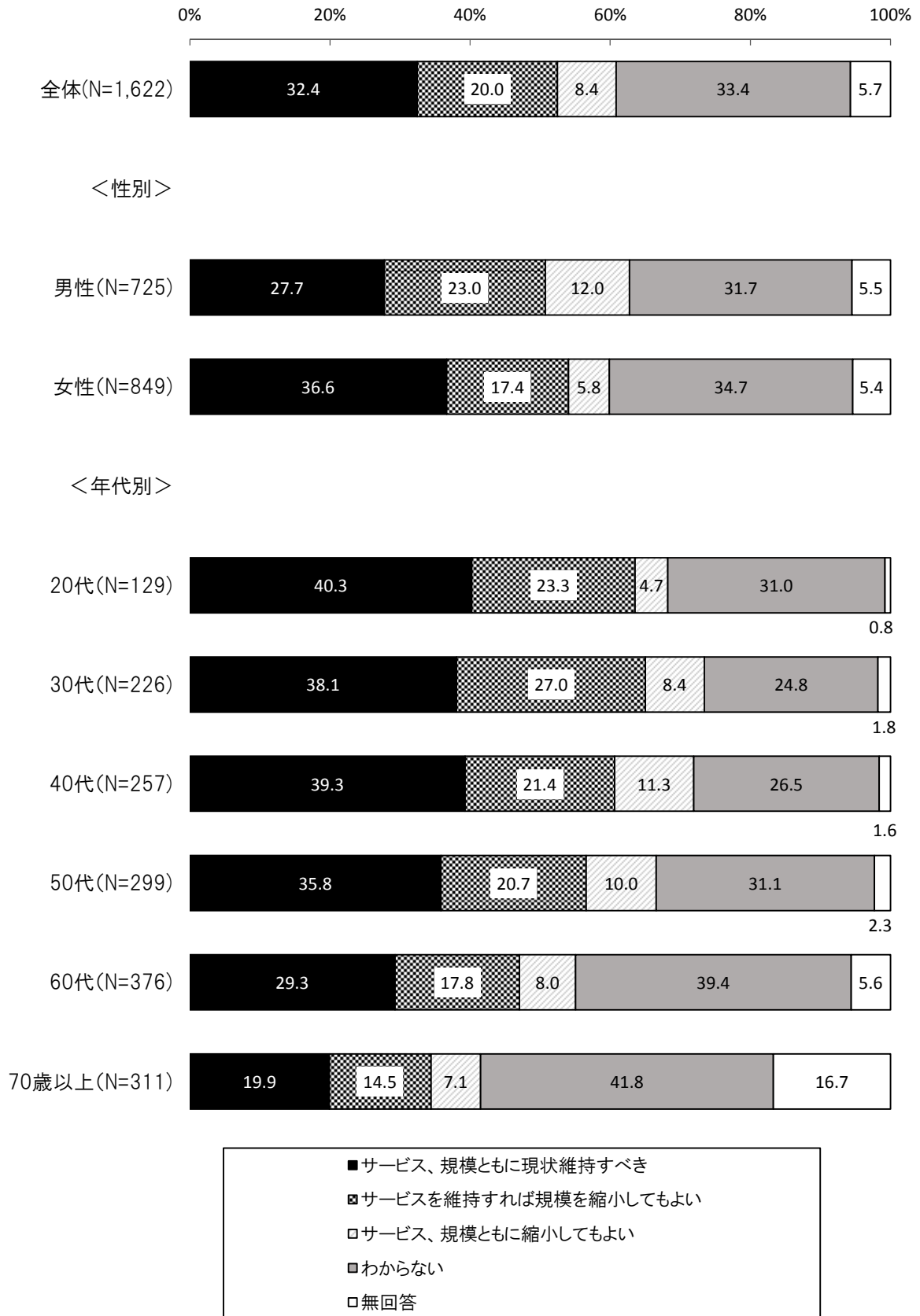
「児童館」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が32.4%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が20.0%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が8.4%となっている。

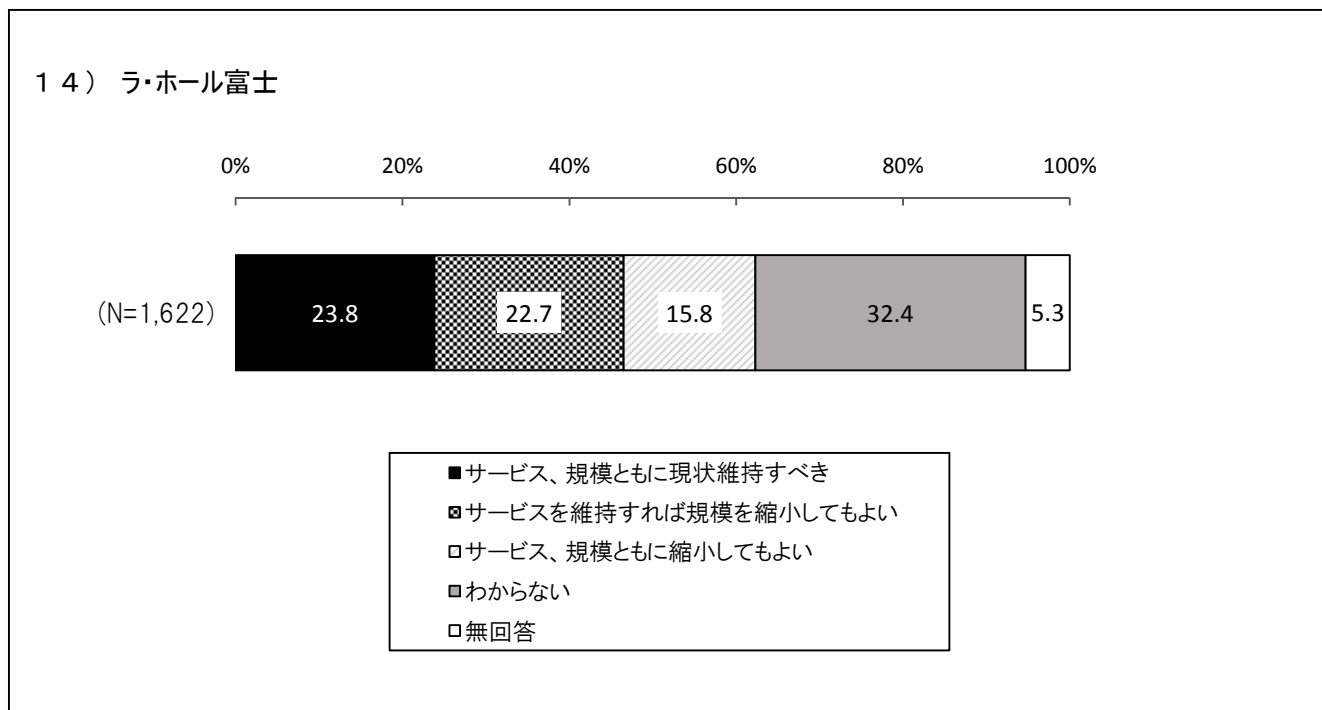
性別で見ると、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で27.7%、女性で36.6%と、女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。

年代別では、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





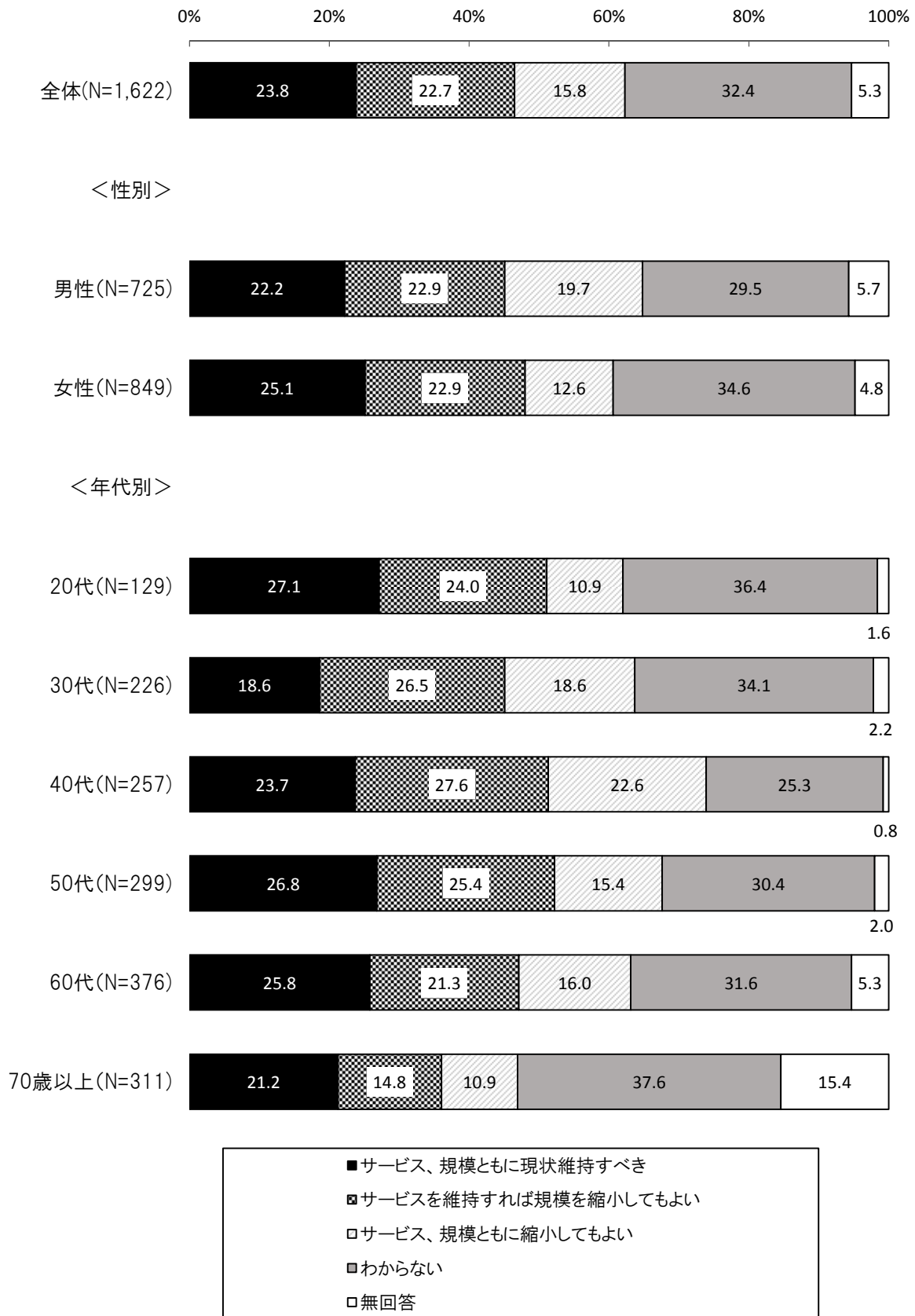
「ラ・ホール富士」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が23.8%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が22.7%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が15.8%で、「サービス、規模ともに現状維持すべき」と「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が拮抗している。

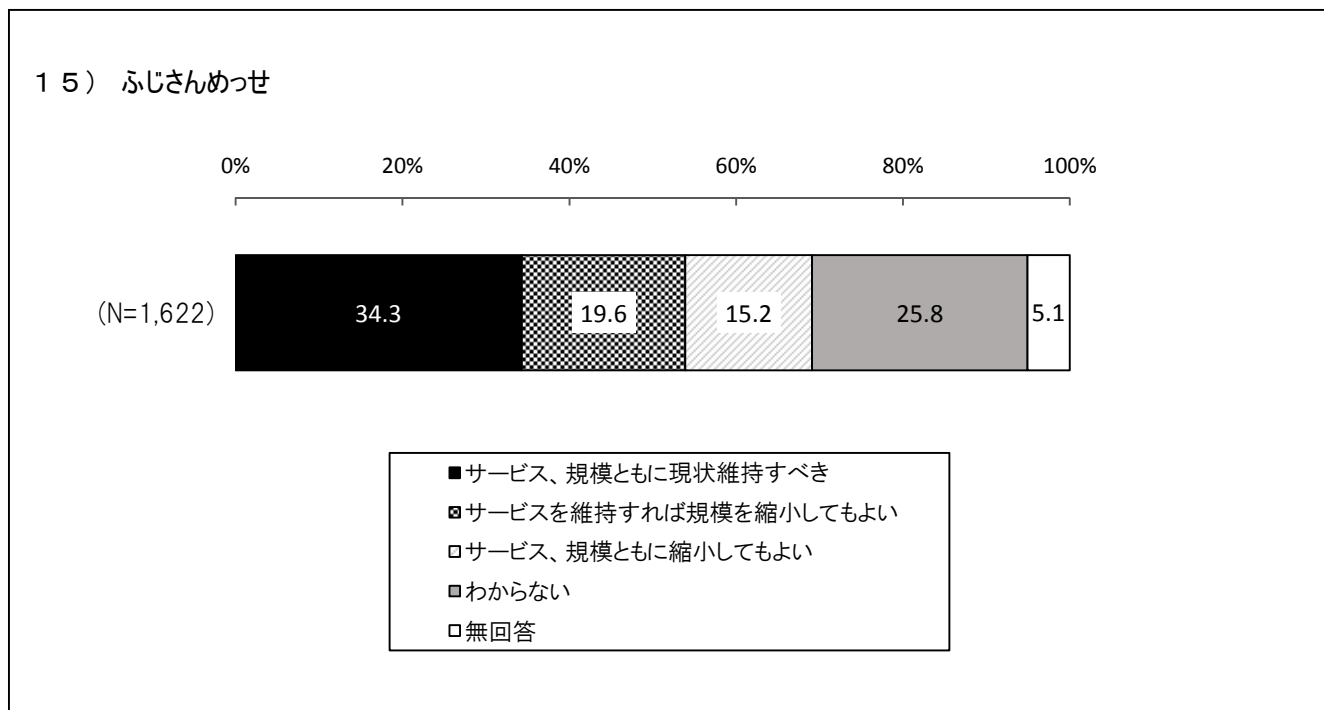
男女間で大きな差はみられない。

年代別では、30代及び40代では「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が「サービス、規模ともに現状維持すべき」をやや上回っている。

IV 調査結果

【性別・年代別】





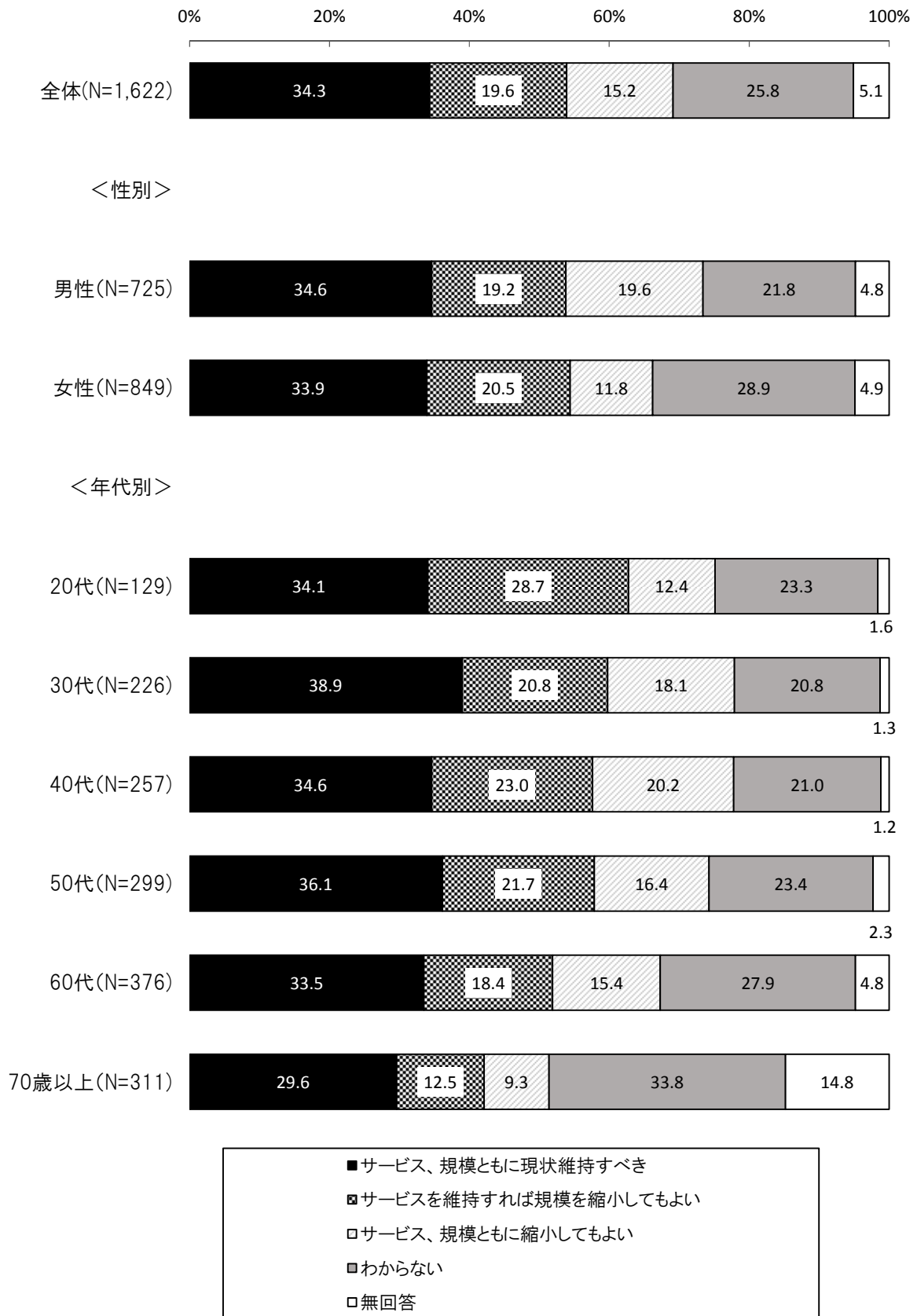
「ふじさんめっせ」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が34.3%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が19.6%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が15.2%となっている。

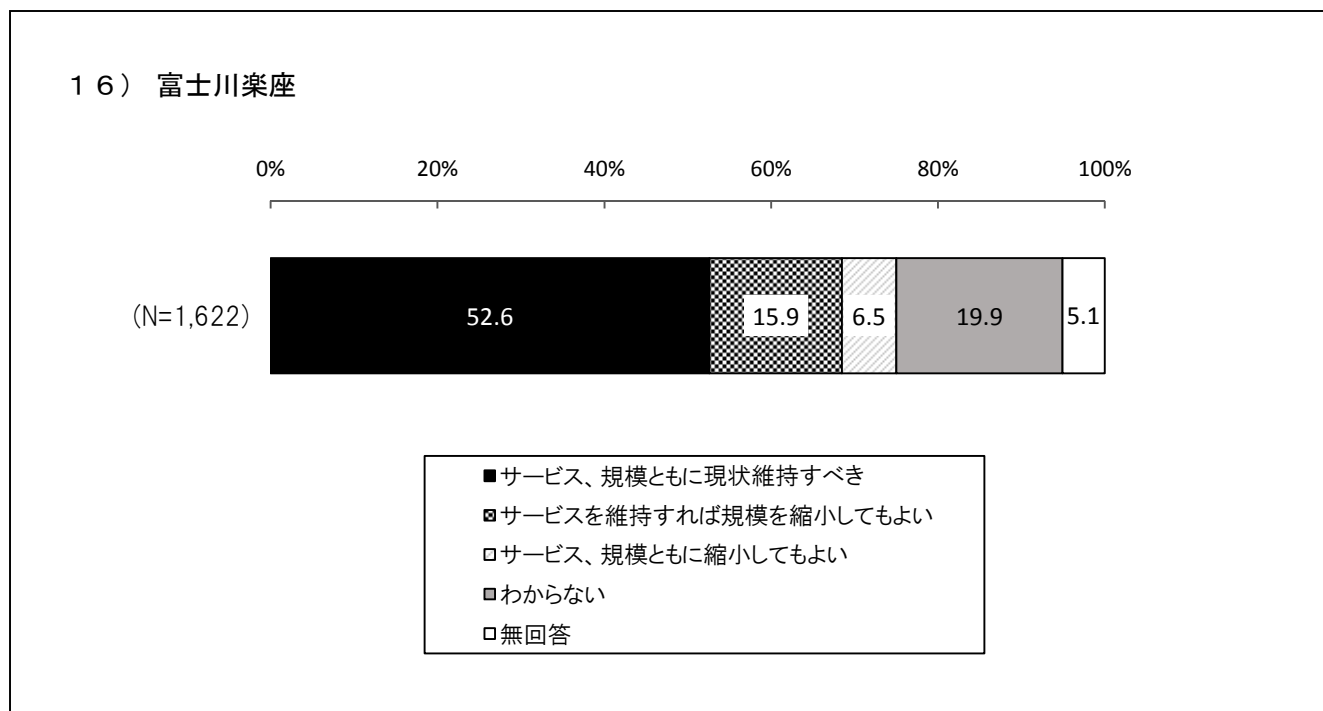
性別で見ると、男性において「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が19.2%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が19.6%と合わせて約4割が縮小に賛同している。

年代別では、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



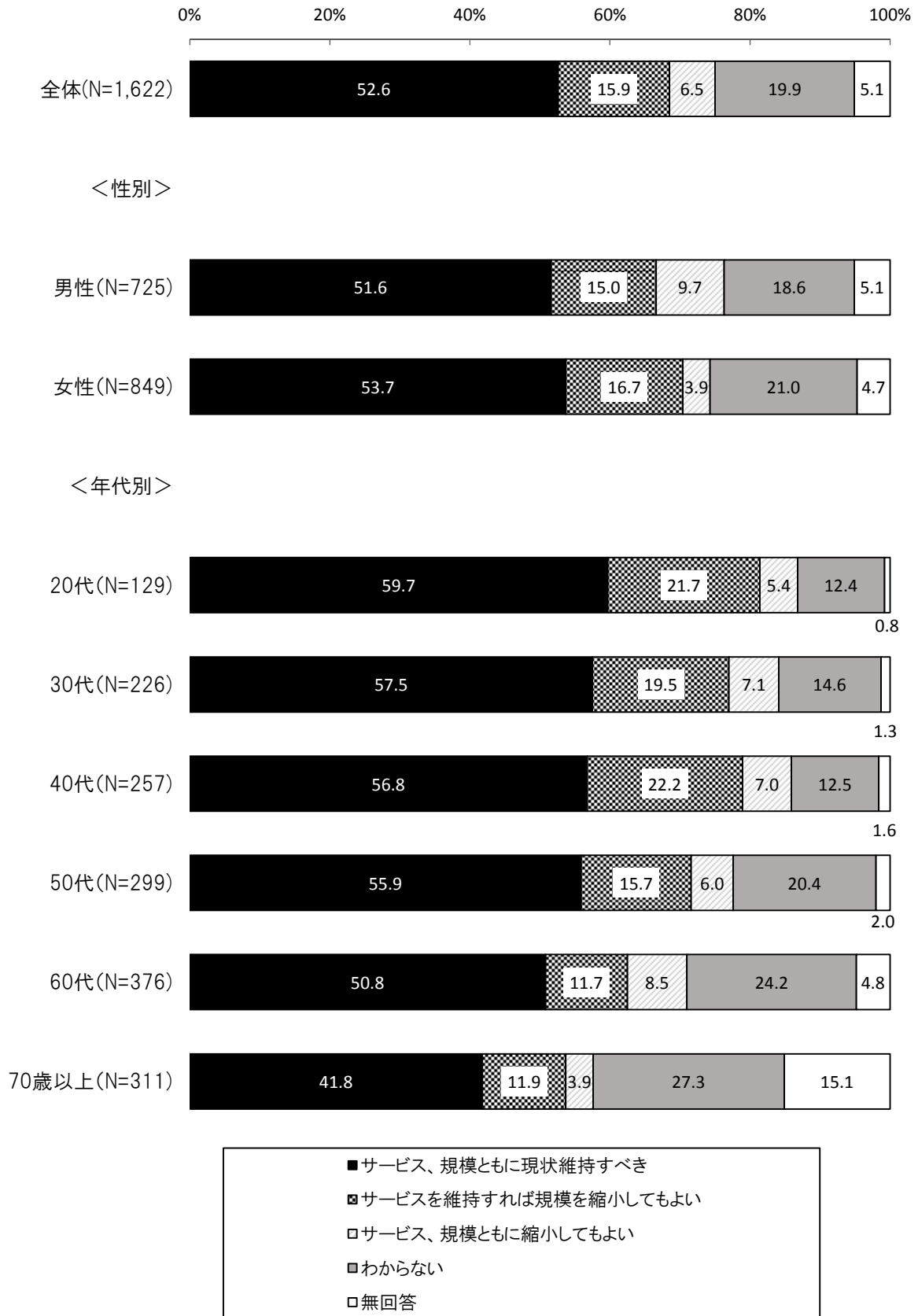


「富士川楽座」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が52.6%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が15.9%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が6.5%となっている。

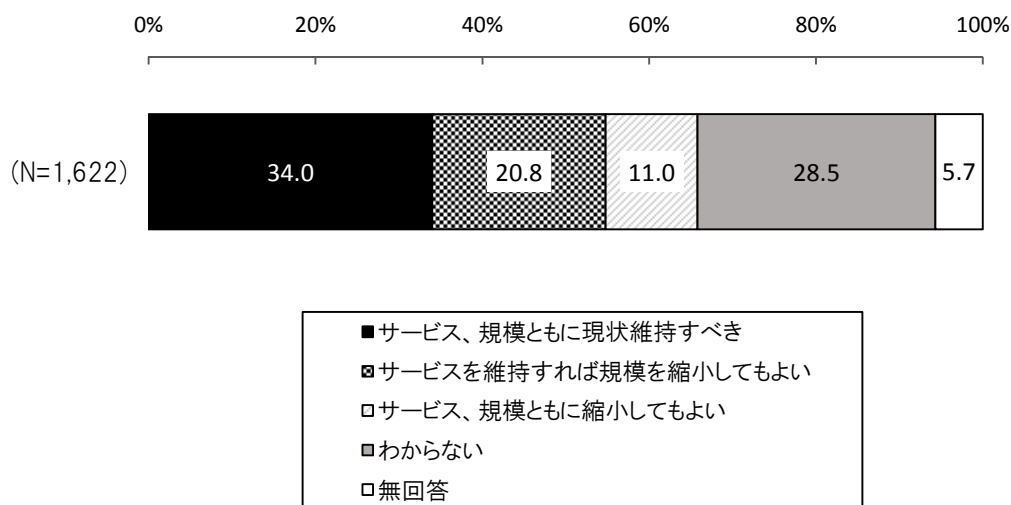
男女間、年代間で大きな差はみられない。

IV 調査結果

【性別・年代別】



17) フィランセ



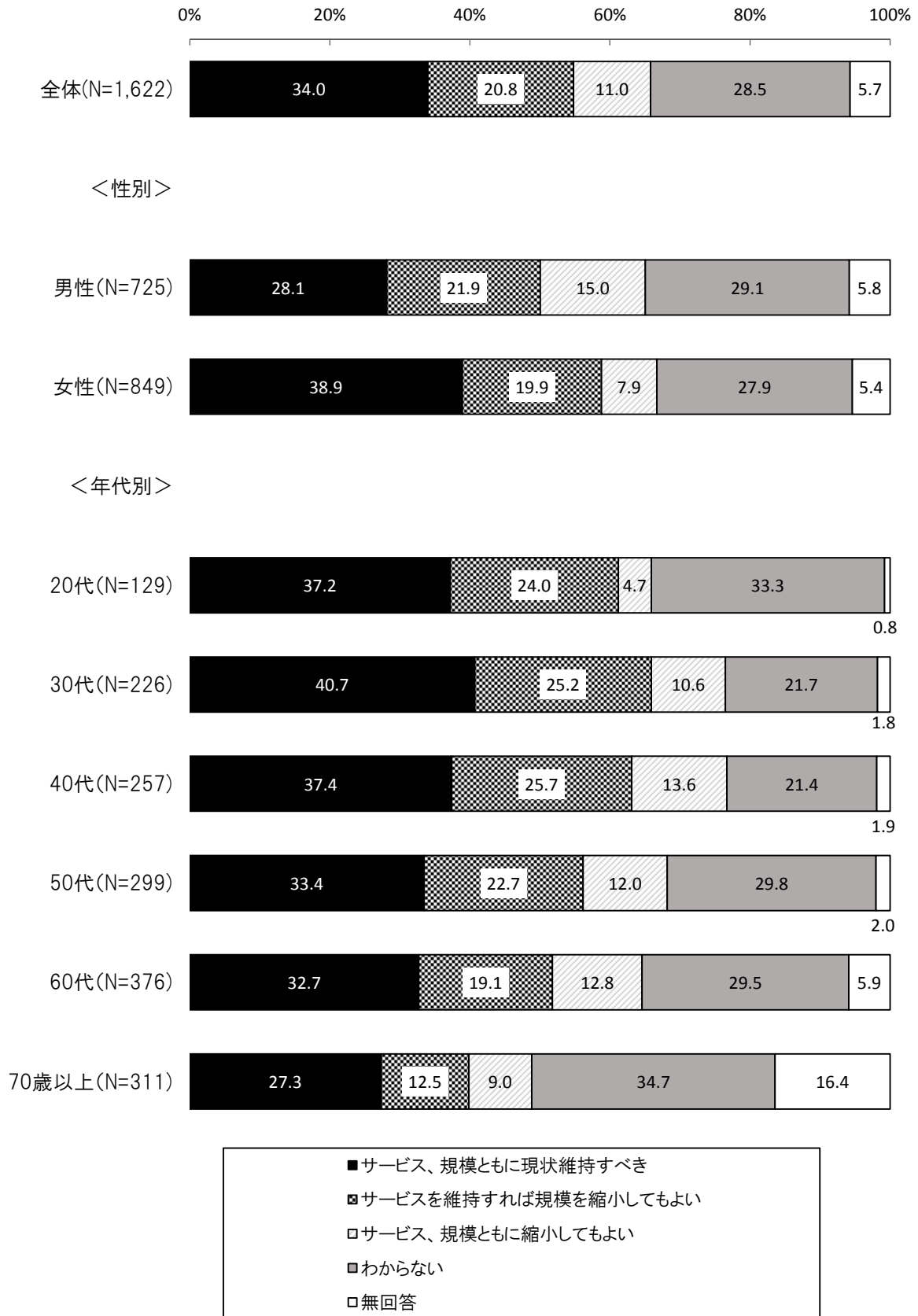
「フィランセ」の必要性について尋ねたところ、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が34.0%、「サービスを維持すれば規模を縮小してもよい」が20.8%、「サービス、規模ともに縮小してもよい」が11.0%となっている。

性別で見ると、「サービス、規模ともに現状維持すべき」が男性で28.1%、女性で38.9%と女性のほうが現状維持を希望する割合が高くなっている。

年代別では、いずれの年代も「サービス、規模ともに現状維持すべき」が多数を占めている。

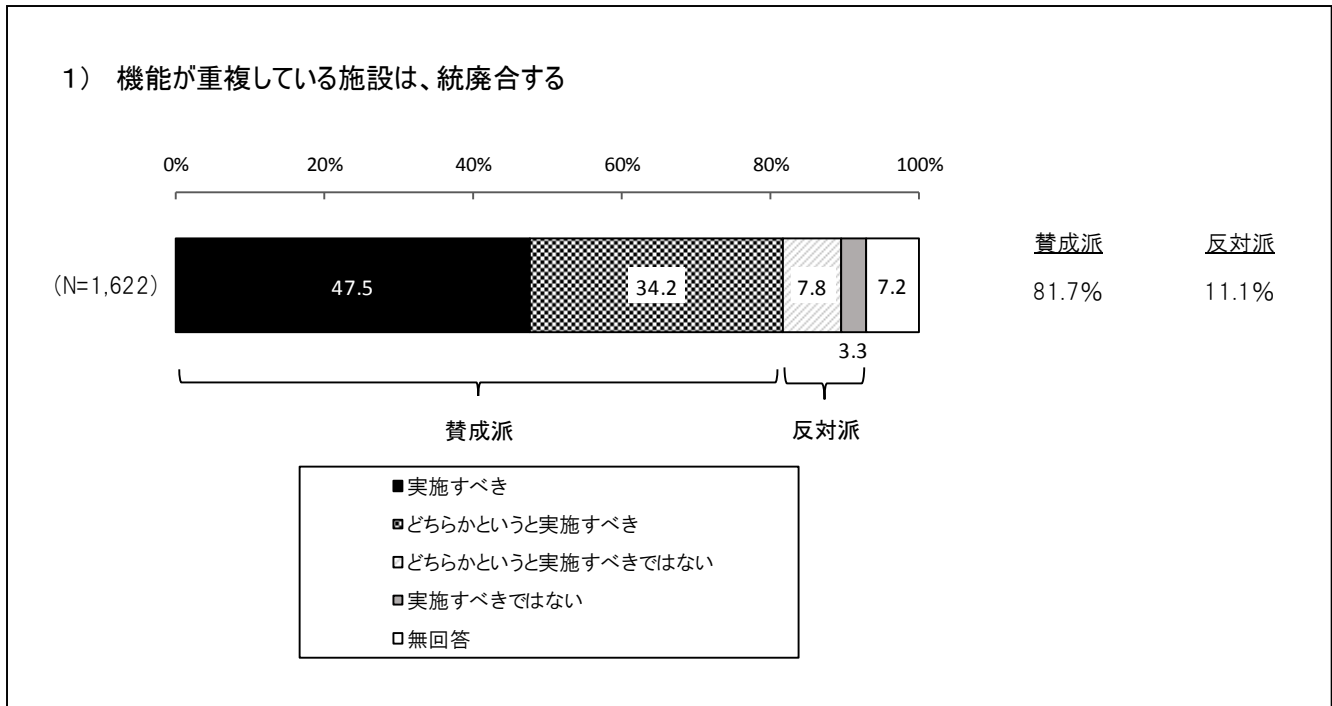
IV 調査結果

【性別・年代別】



(4) 市の公共施設のサービスを継続的に行うために必要な方策について

問5 公共施設において提供されているサービスで、将来も必要となるものを継続的に行っていくためには、次のような方策が考えられます。次にあげるそれぞれの方策について、どのように思いますか。



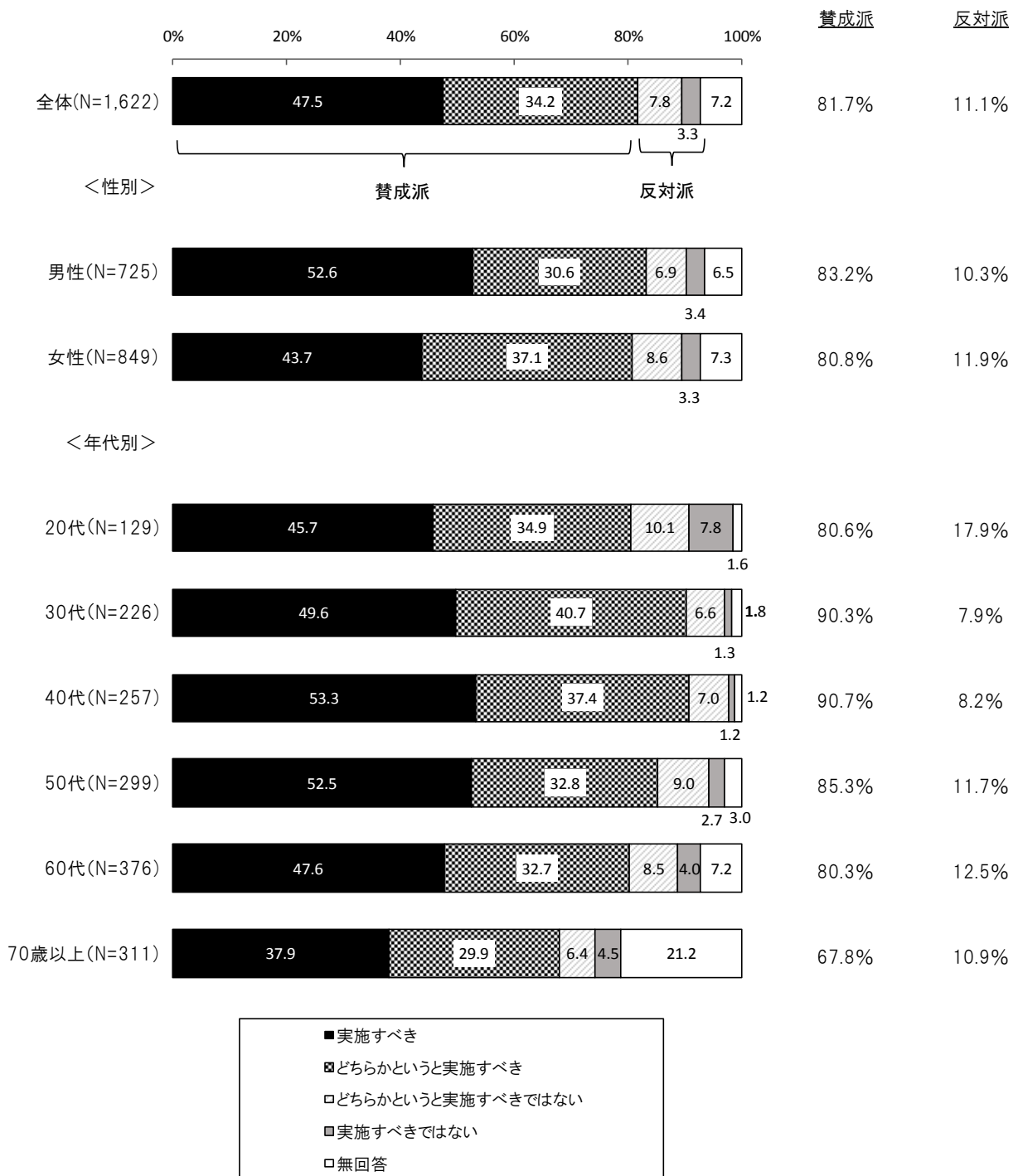
公共施設に関する今後の方策案のうち「機能が重複している施設は、統廃合する」についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が47.5%、「どちらかというを実施すべき」が34.2%で、これら“賛成派”は81.7%で多数を占めている。一方、「どちらかというを実施すべきではない」が7.8%、「実施すべきではない」が3.3%で“反対派”が11.1%となっている。

男女間で大きな差はみられない。

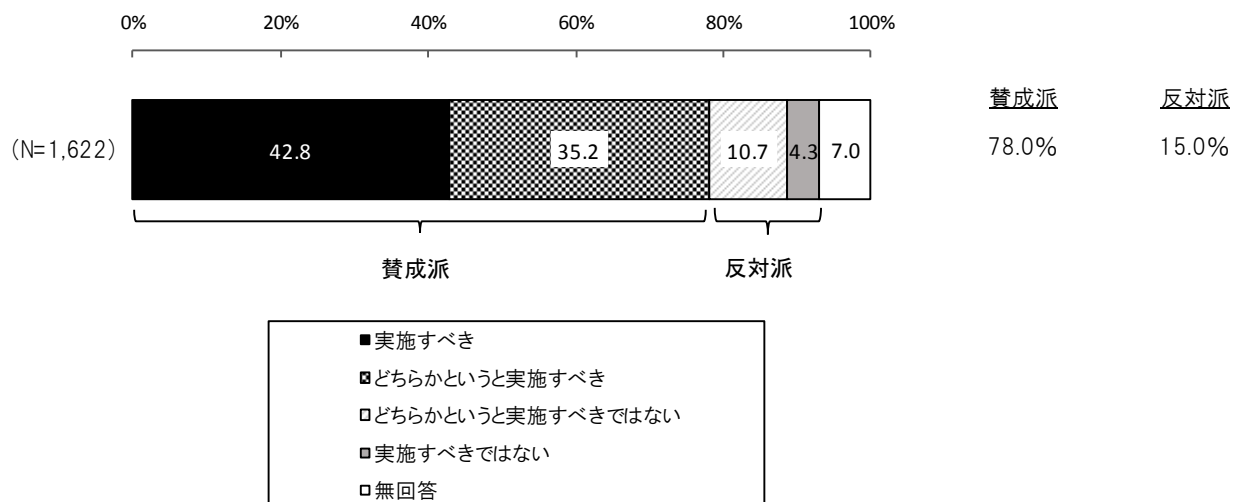
年代別でも、いずれの年代も“賛成派”が圧倒的多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



2) 一つの施設に周辺施設の機能を集約し、不要になった施設を廃止する



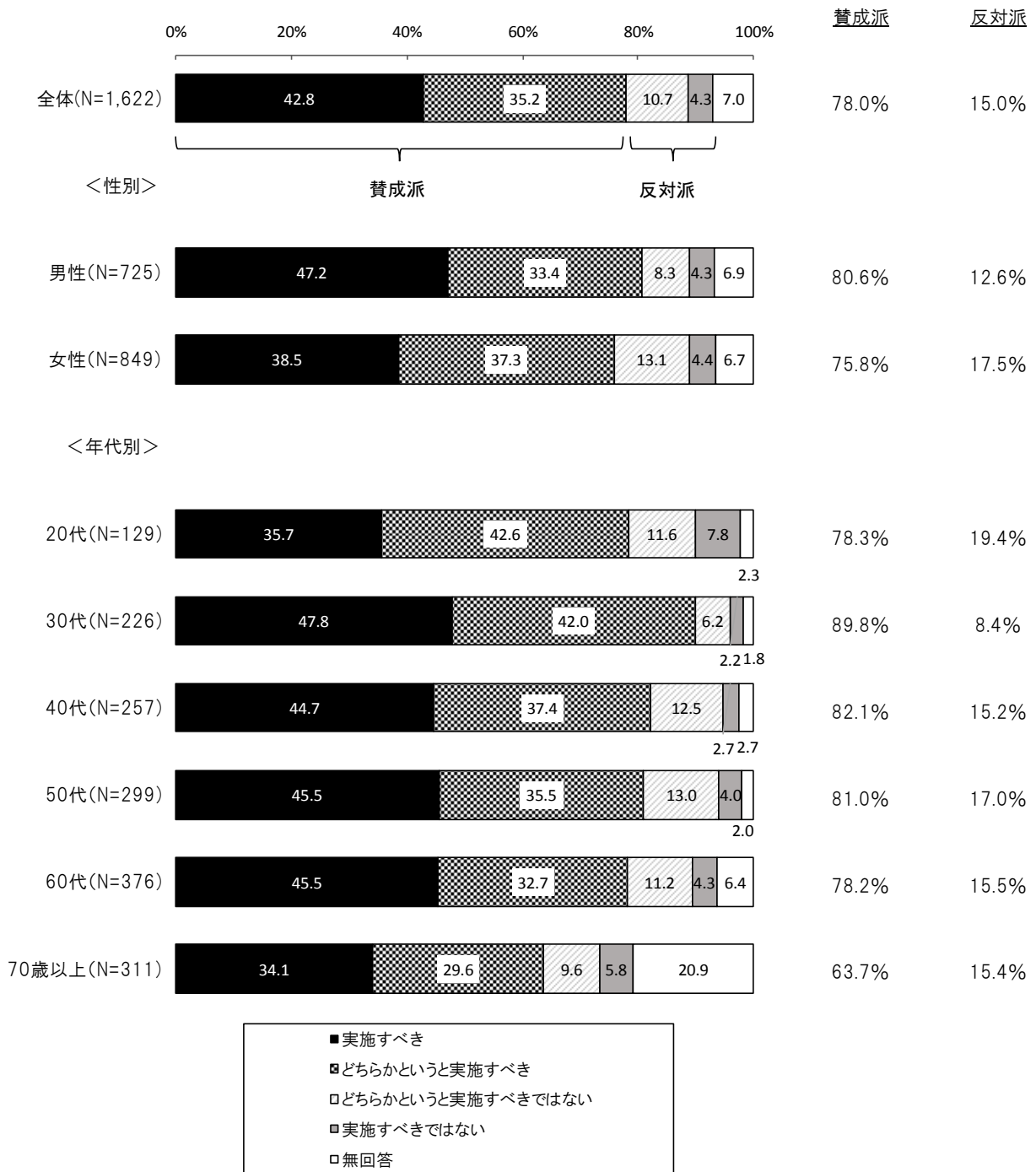
「一つの施設に周辺施設の機能を集約し、不要になった施設を廃止する」という方策案についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が42.8%、「どちらかというど実施すべき」が35.2%で、これら“賛成派”は78.0%で多数を占めている。一方、「どちらかというど実施すべきではない」が10.7%、「実施すべきではない」が4.3%で“反対派”が15.0%となっている。

男女間で大きな差はみられない。

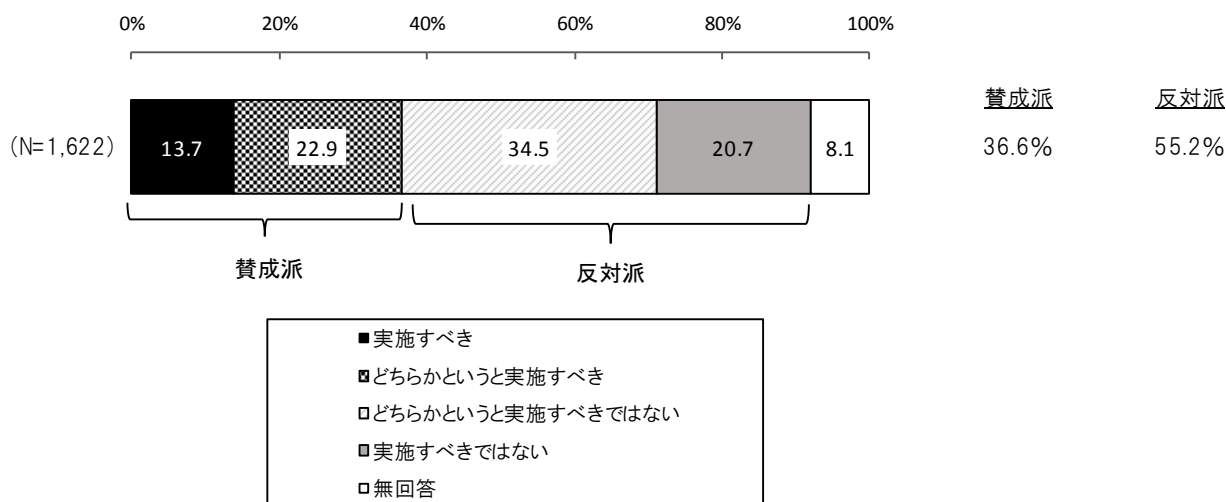
年代別でも、いずれの年代も“賛成派”が圧倒的多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



3) 近隣の自治体と施設を共同で設置する



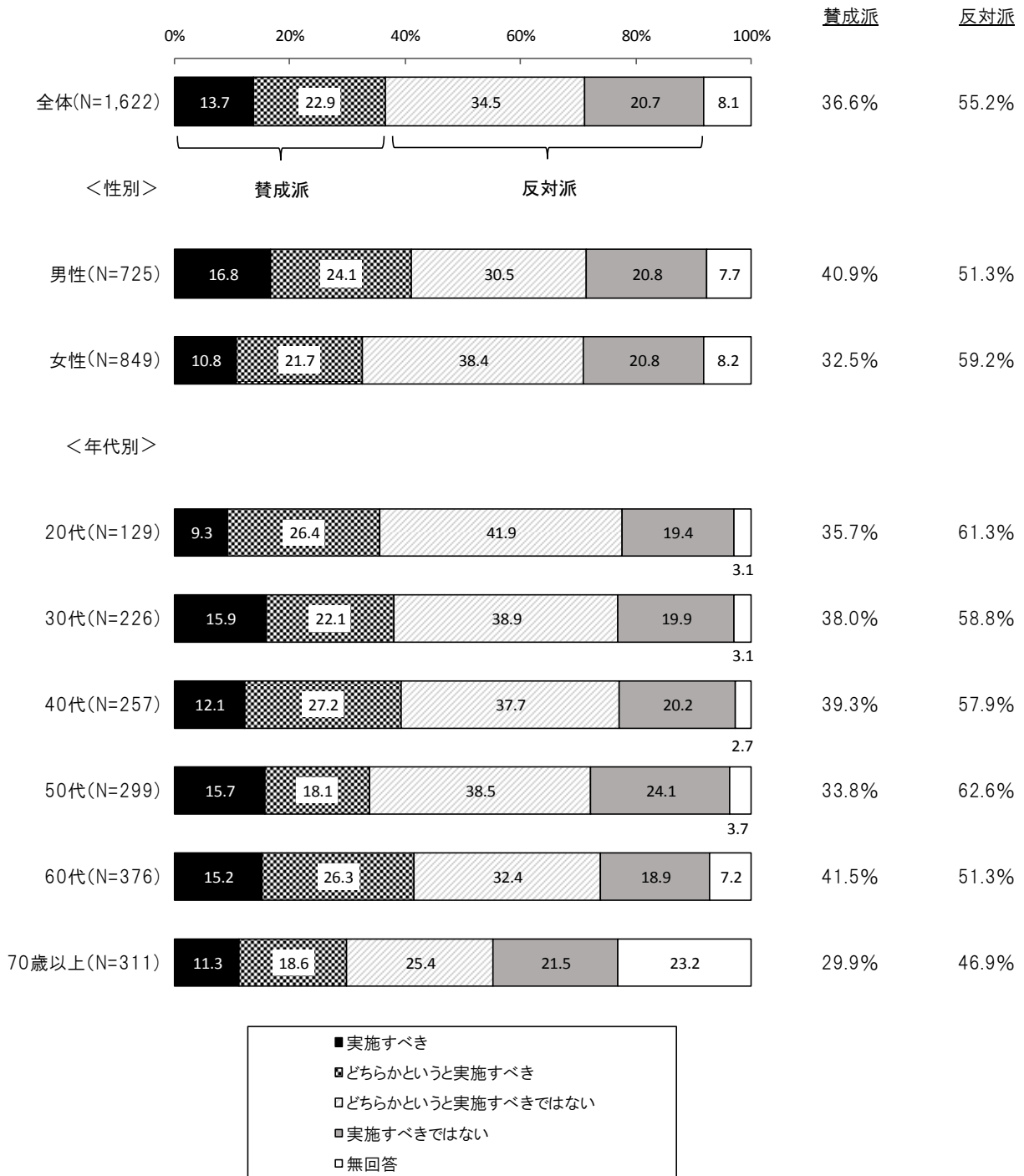
「近隣の自治体と施設を共同で設置する」という方策案についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が13.7%、「どちらかというを実施すべき」が22.9%で、これら“賛成派”は36.6%となっている。一方、「どちらかというを実施すべきではない」が34.5%、「実施すべきではない」が20.7%で“反対派”が55.2%と、“賛成派”を上回っている。

性別で見ると、男性、女性とも5割以上が“反対派”となっている。

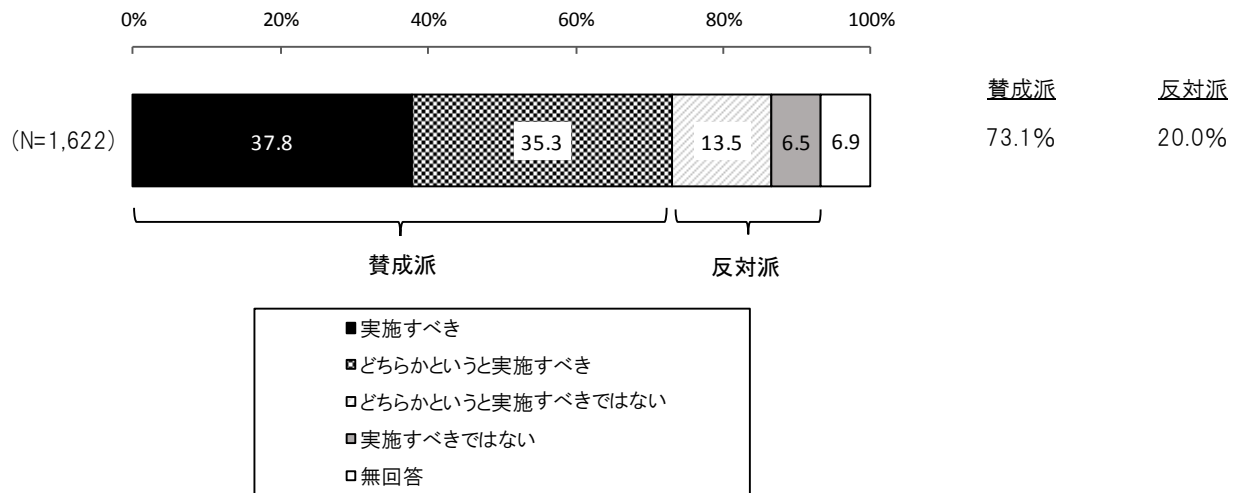
年代別で見ても、いずれの年代も“反対派”が多数を占めている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



4) 民間で運営できる施設は、民間に譲渡する



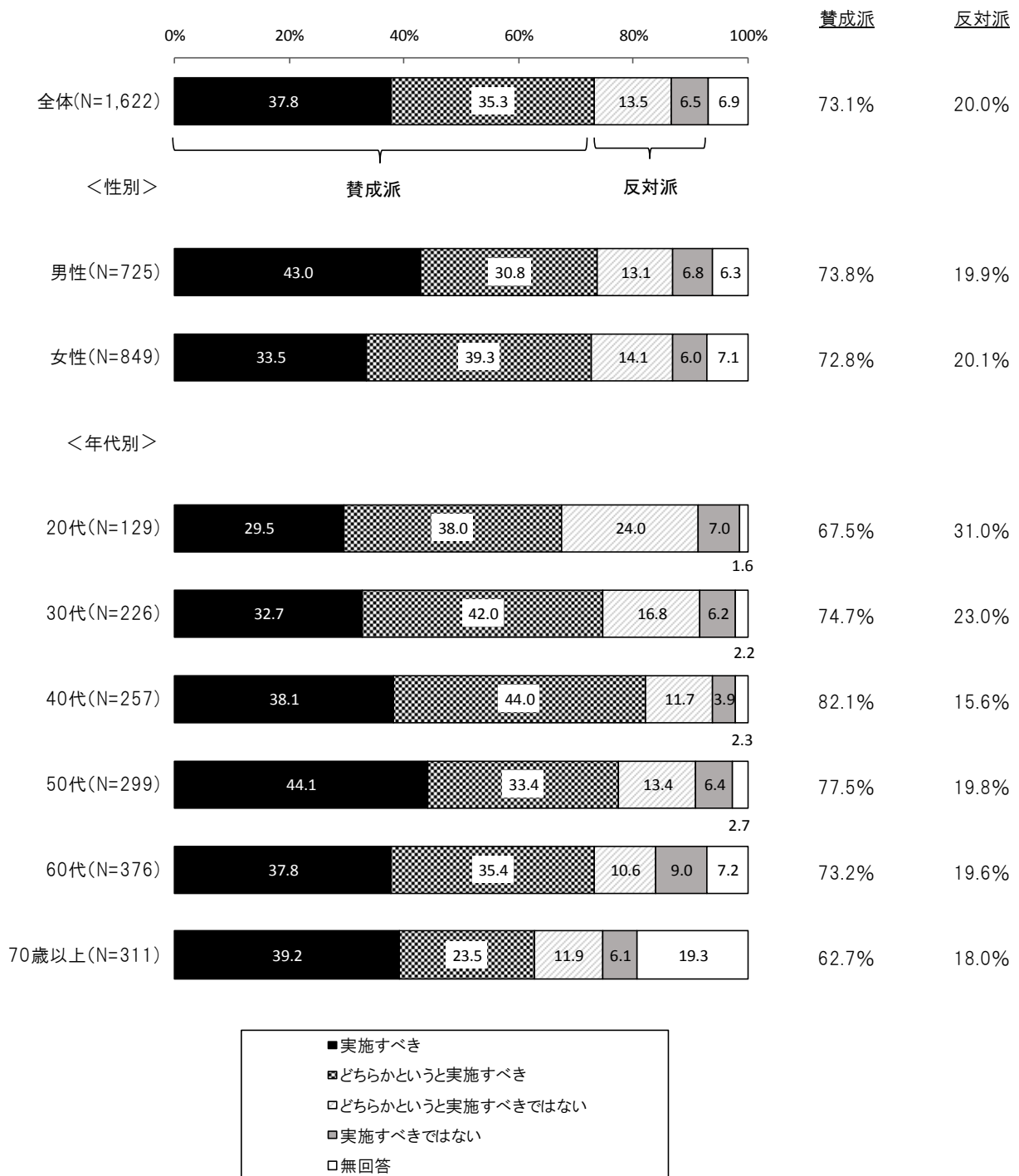
「民間で運営できる施設は、民間に譲渡する」という方策案についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が37.8%、「どちらかというを実施すべき」が35.3%で、これら“賛成派”は73.1%と多数を占めている。一方、「どちらかというを実施すべきではない」が13.5%、「実施すべきではない」が6.5%で“反対派”が20.0%となっている。

男女間では大きな差はみられない。

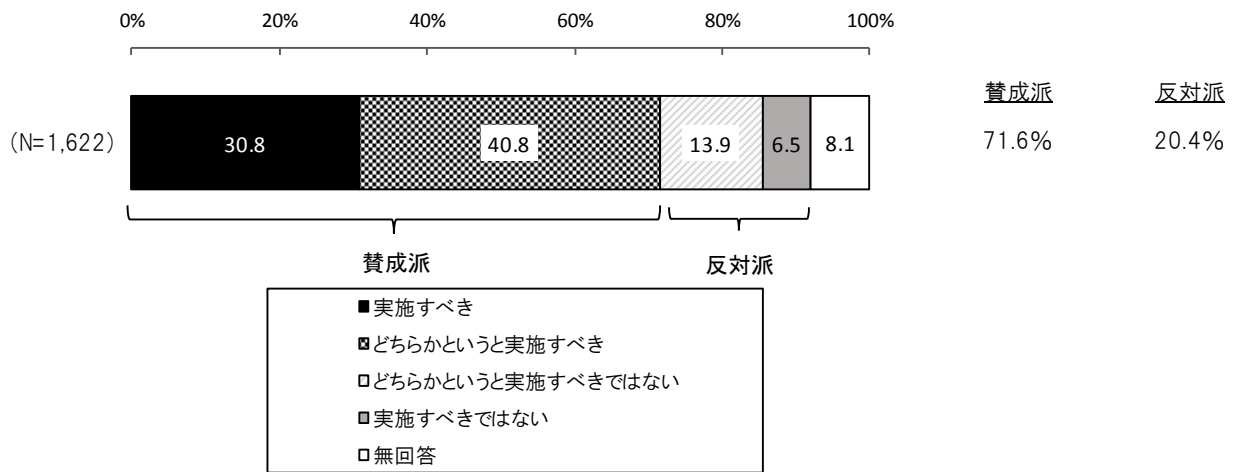
年代別でも、いずれの年代も“賛成派”が多数を占めているが、20代では“反対派”が3割と他の年代と比べて高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



5) 現在の施設を改修し、できるだけ長い期間使用する

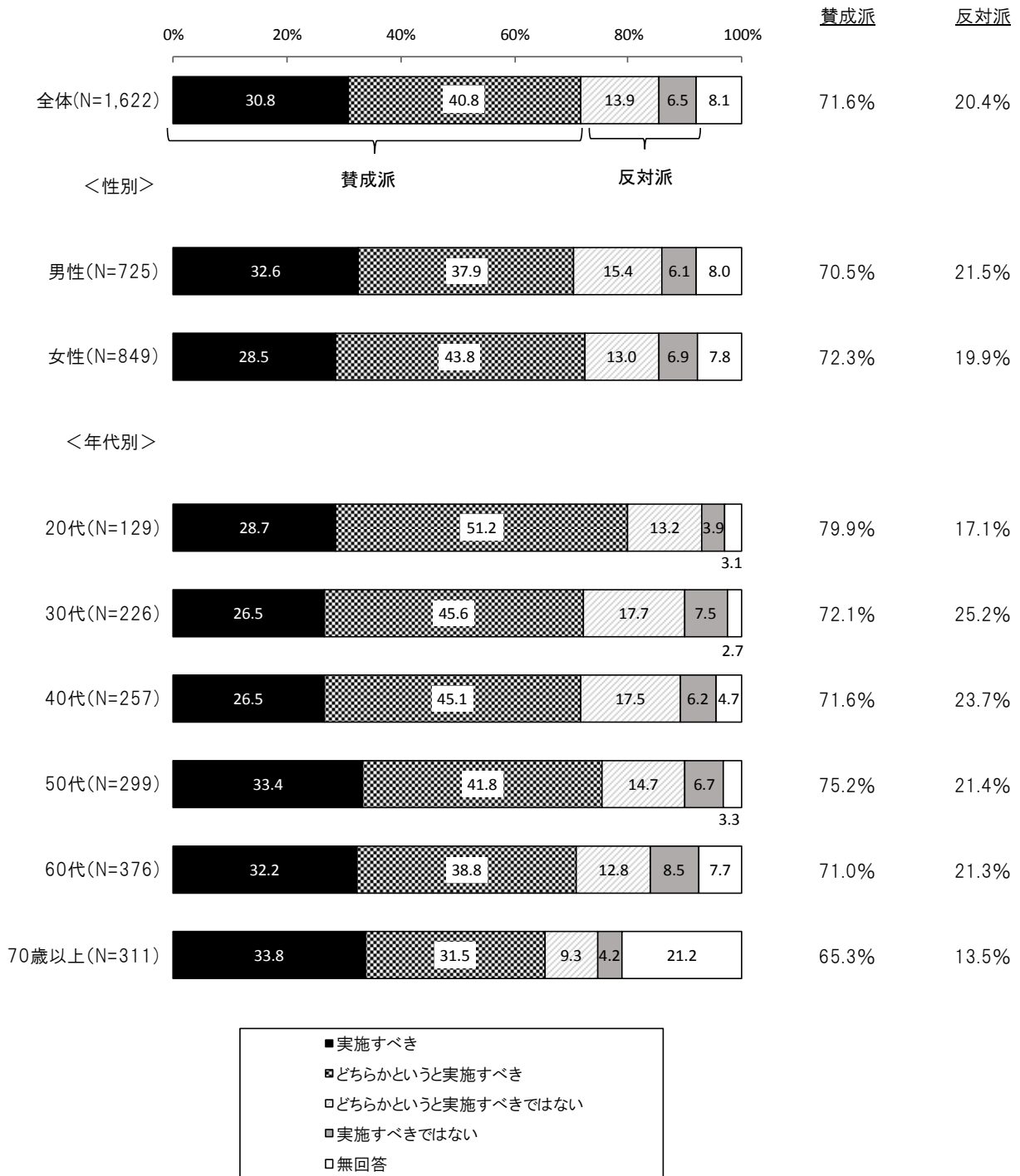


「現在の施設を改修し、できるだけ長い期間使用する」という方策案についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が30.8%、「どちらかというを実施すべき」が40.8%で、これら“賛成派”は71.6%と多数を占めている。一方、「どちらかというを実施すべきではない」が13.9%、「実施すべきではない」が6.5%で“反対派”が20.4%となっている。

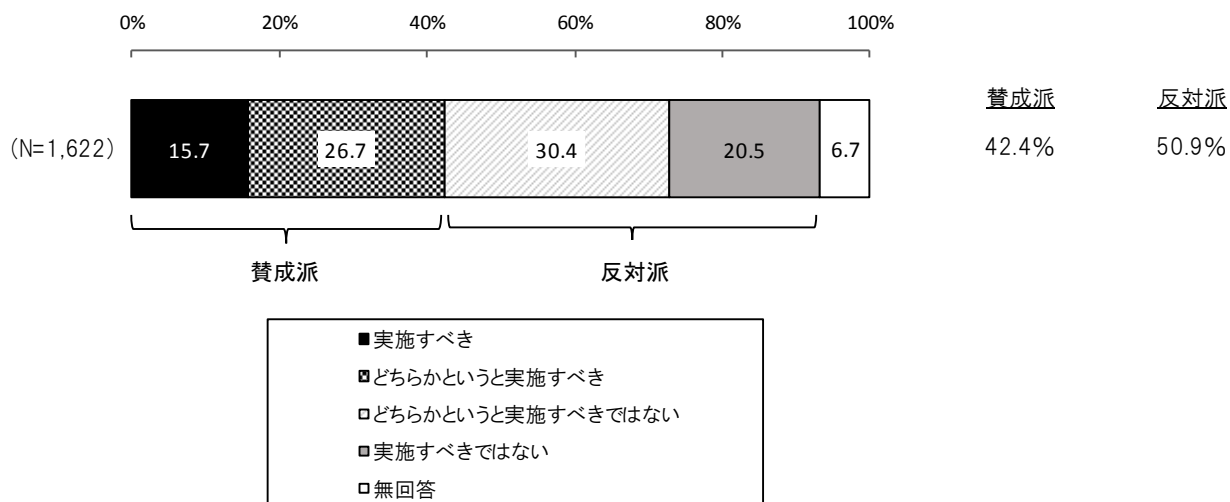
男女間、年代間では大きな差はみられない。

IV 調査結果

【性別・年代別】



6) 施設の利用者に施設の維持管理に見合う金額を負担してもらうため、利用料を値上げする



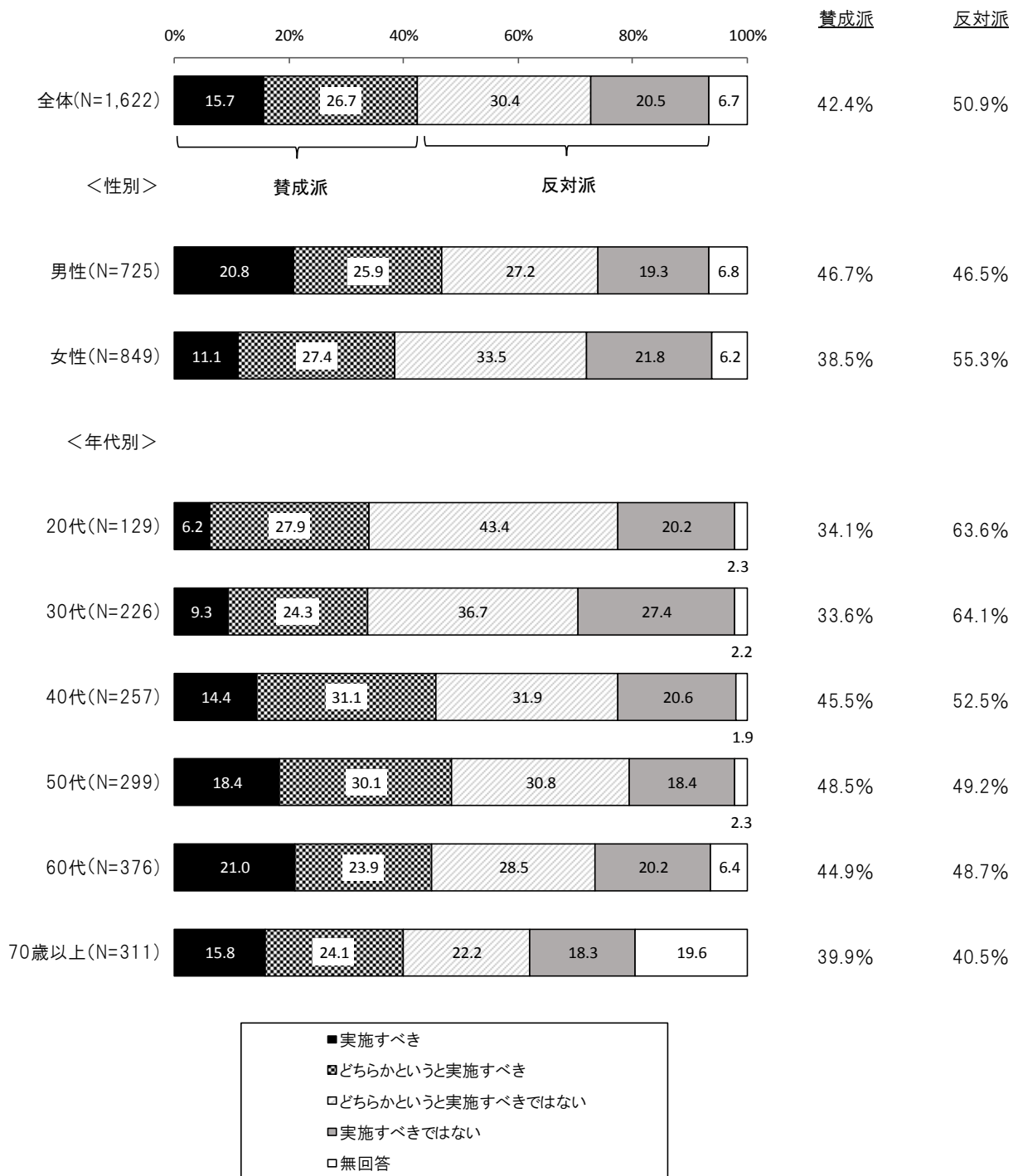
「施設の利用者に施設の維持管理に見合う金額を負担してもらうため、利用料を値上げする」という方策案についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が15.7%、「どちらかというを実施すべき」が26.7%で、これら“賛成派”は42.4%となっている。一方、「どちらかというを実施すべきではない」が30.4%、「実施すべきではない」が20.5%で“反対派”が50.9%となっており、“反対派”が“賛成派”をやや上回っている。

性別でみると、男性では“賛成派”が46.7%、“反対派”が46.5%と拮抗しているが、女性では“賛成派”が38.5%、“反対派”が55.3%で“反対派”が多数となっている。

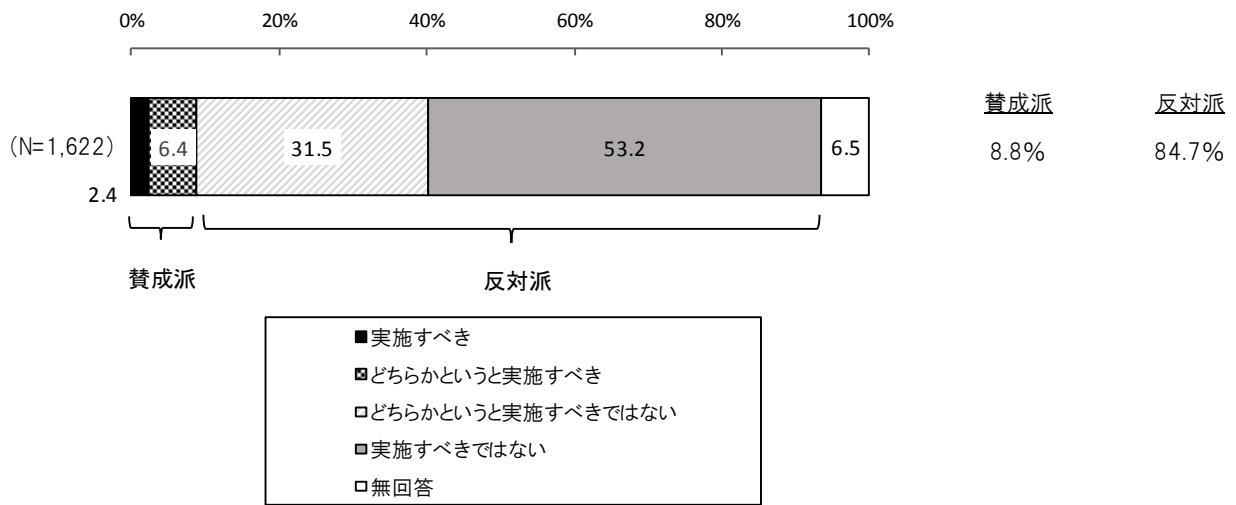
年代別でみると、20～40代で“反対派”が5～6割と高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



7) 市民全体で施設の維持管理に見合う金額を負担するため、増税を行う



「市民全体で施設の維持管理に見合う金額を負担するため、増税を行う」という方策案についての意見を尋ねたところ、「実施すべき」が2.4%、「どちらかというを実施すべき」が6.4%で、これら“賛成派”は8.8%となっている。一方、「どちらかというを実施すべきではない」が31.5%、「実施すべきではない」が53.2%で“反対派”が84.7%と圧倒的多数となっている。

男女間及び年代間で大きな差はみられない。

IV 調査結果

【性別・年代別】

